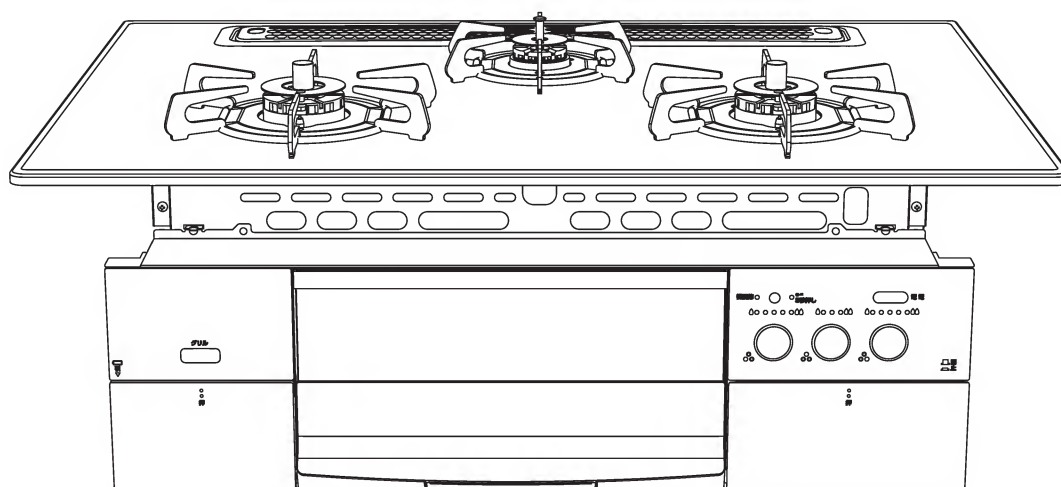
家庭用

	60cm幅	75cm幅
代表品名コード	C3WL1PWAABSTE	C3WL2PWAABSTE
型式名	C3WL1PWA	C3WL2PWA

ビルトインコンロ

取扱説明書 保証書付

このたびは、ハーマンのガスビルトインコンロをお買い上げいただき、
まことにありがとうございます。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください

○この取扱説明書は、いつでも利用できる場所に大切に保管してください。
○この取扱説明書の74ページが保証書になっています。お買い上げ日、販売店名、保証内容などをよく確認し、大切に保管してください。
○来客者などが機器を使用するときは、その前に必ず取扱説明書の内容を説明してください。
○この機器は家庭用ですので、業務用のような使いかたをされますと、著しく寿命が短くなります。
○この機器は国内専用です。海外では使用できません。
○本書を紛失された場合や、ご不明な点があればお買い上げの販売店または、弊社(裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

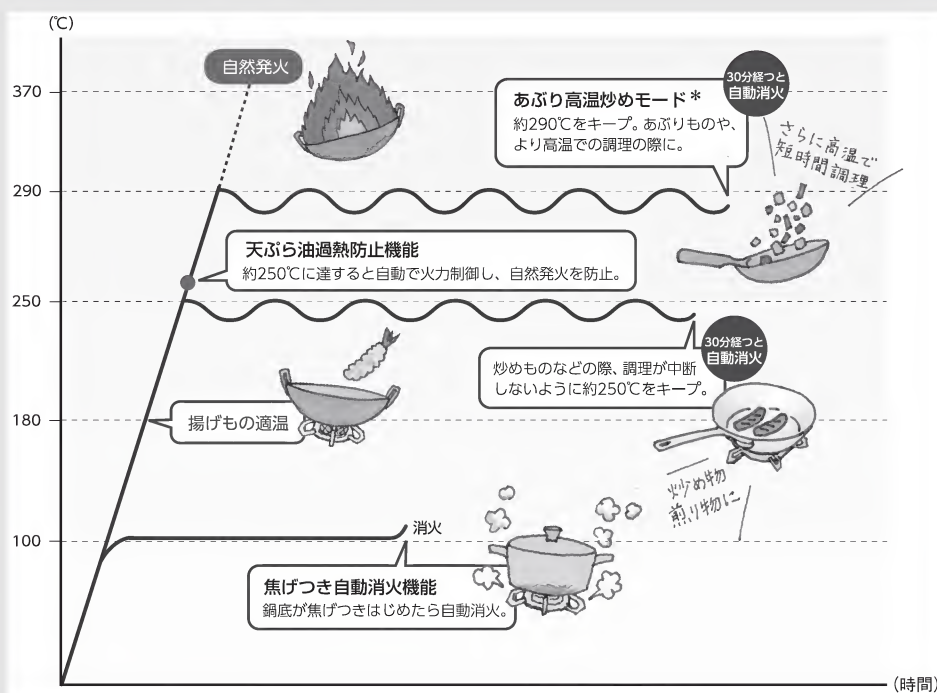
Tア07

Siセンサーコンロについて

Si 全口センサー搭載
センサーコンロ

安心(Safety)・便利(Support)・笑顔(Smile)を約束する、
賢い(Intelligent)センサーを搭載した、進化したコンロです。

・万一の消し忘れ・・・ ・天ぷら油の過熱・・・	**◎未然に防止します！**
・なべ底が高温になっても・・・	**◎自動的に弱火になります！**
・煮ものなどでの焦げつき・・・	**◎初期段階で自動消火します！**

●温度センサーのはたらき

＊あぶり高温炒めモードとは

・通常時より高い温度まで調理できる機能です。
　あぶり高温炒めモードを使用しても、異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。
※あぶり高温炒めモードを使用すると、天ぷら油過熱防止機能、焦げつき自動消火機能は作動しません。

とくに多いご質問です

・電源が入らない
・電源ランプが点滅している

乾電池が消耗しているためです。乾電池を交換してください。

乾電池を交換する（電源ランプ点滅）めやすは約1年です。

☞21

・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいているためです。

自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。

☞19

・あぶり高温炒めモードを使用しているのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする

安心・安全機能がはたらいているためです。

温度センサーや鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。
また、約60分間（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間）連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

☞39

もくじ

安全なご利用のために

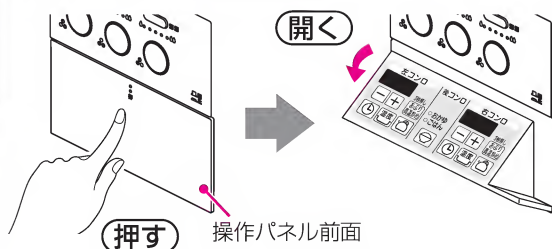
毎日の使いかた

長くご利用いただくために

各部のなまえ

※操作部に保護シートが貼ってある場合があります。ご使用の際には、取り外してください。

操作部の開けかた

（例）コンロ操作部の場合

お知らせ

電源について

・電源ボタンを押すことにより、機器の電源を入れたり切ったりすることができます。
　アルカリ乾電池（単1形：2本）を使用しています。

電源オートパワーオフ機能

・コンロやグリルを使用していないときは、約3分後に電源が自動的に切れます。

※電源オートパワーオフ機能の設定時間は変更することができます。（55ページ）

アルミトッププレート（アルマイト加工）

グリル排気口カバー

サイドカバー

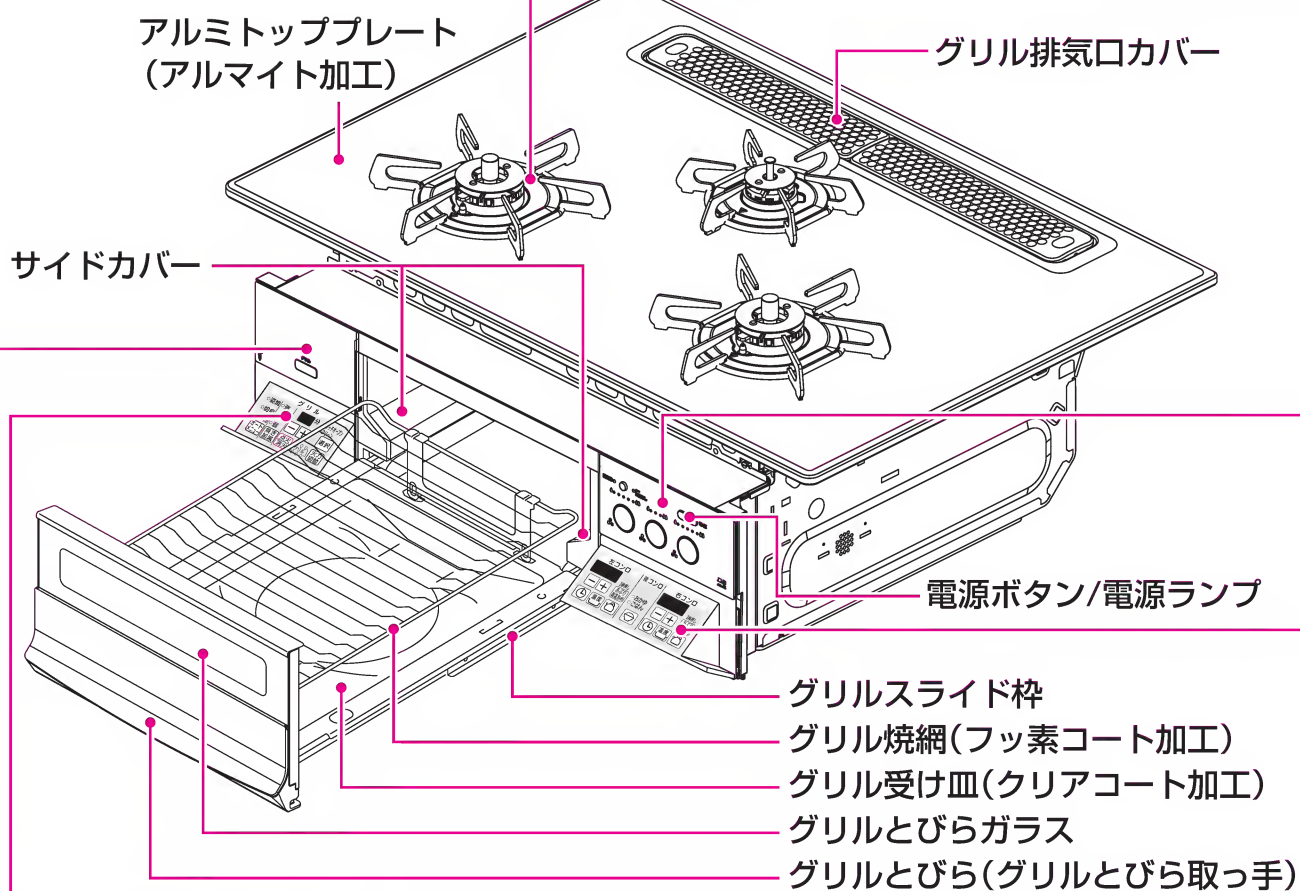
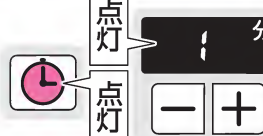
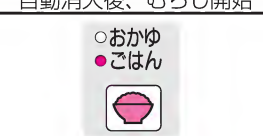
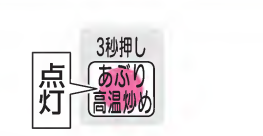
電源ボタン/電源ランプ

グリルスライド枠

グリル焼網（フッ素コート加工）

グリル受け皿（クリアコート加工）

グリルとびらガラス

グリルとびら（グリルとびら取っ手）

電池収納部

※左パネル上面が電池ケースのふたになっています。

グリル操作部（シート）

コンロ調理部

※取り付け方法については、『お手入れ』(57ページ)を参照してください。

＊左右コンロの『H』マークは、ガス種・仕様により、異なります。

※品名コードの末尾が○○STE(STED)のごとくとバーナーキャップカバーは、ホーロー仕様です。
※品名コードの末尾が○○STES(STESD)のごとくとバーナーキャップカバーは、ステンレス仕様です。

コンロ操作部(パネル)

コンロ操作部(シート)

アルミトッププレートを長くお使いいただくためのご注意

ご使用の際の注意

- トッププレート上で、硬いものを落下させたり、鋭利なものでこすったりしないでください。
- トッププレートに急激な衝撃を与えたり、鍋などをごとくに強く押し付けた状態で、動かさないでください。

トッププレートがへこんだり、変形、キズ、はく離の原因になります。

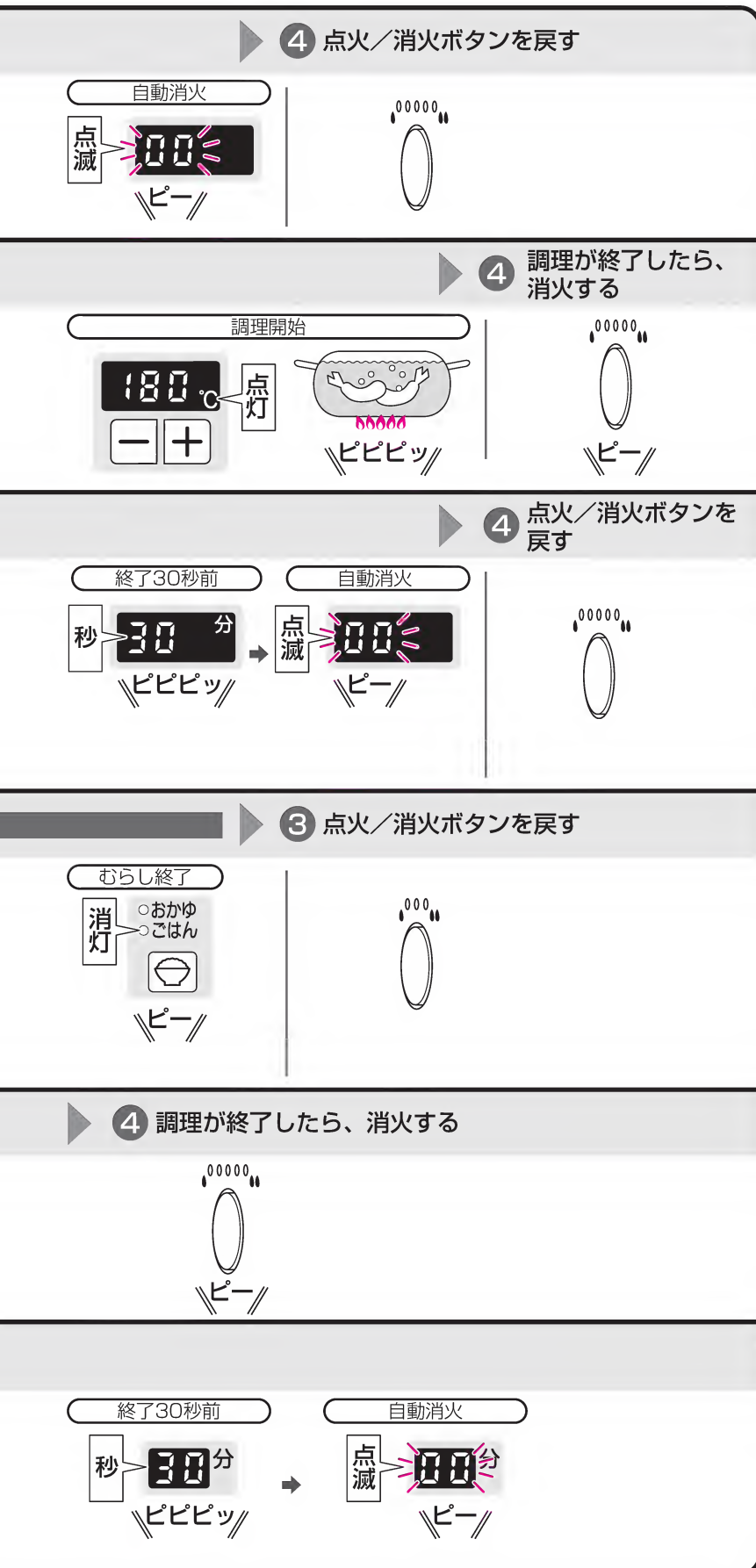
お手入れの際の注意

- お手入れには、金属たわし、中性洗剤以外の洗剤(漂白剤、食器洗い乾燥機用の洗剤など)、クレンザーは使用しないでください。
- トッププレートについた煮こぼれや油汚れは、その都度、お手入れしてください。
- トッププレートに、酢などの酸性のものや、重曹などのアルカリ性のものが付着した場合は、台所用中性洗剤を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

キズ、変色、シミ、はく離、トッププレートの腐食の原因になります。

※ごとく・バーナーリングカバーを取り付けている場所に、光沢、跡、すりキズなどが付くことがありますが、ご使用上問題ありません。

かんたん操作ガイド

電源を入れる
点灯
電源
『ピッ』と音がするまで押す
ピッ
(約0.3秒)
操作部を開ける
(例)コンロ操作部の場合
押す
開く
操作パネル前面
コンロ操作部
タイマーで煮る、ゆでる
(左右コンロ)
コンロを使う準備 25
29
1 点火する
2 火力調節する
3 タイマー設定する
弱く
強く
炎があふれない程度に調節する
点灯
分
終了30秒前
秒
ピピピッ
コンロ操作部
揚げる、焼く
(左右コンロ)
コンロを使う準備 25
31
1 点火する
2 火力調節する
3 温度を設定する
火力は中火以上で、炎があふれない程度に調節する
温度
点滅
コンロ操作部
お湯をわかす
(左右コンロ)
コンロを使う準備 25
33
1 点火する
2 火力調節する
3 湯わかしを設定する
ふっとうしたら、保温(5分)開始
保温時間を設定できます(33ページ)
ピピピッ
コンロ操作部
ごはんを炊く
(後コンロ)
コンロを使う準備 25
37
(下準備 35)
1 点火する
2 炊飯を設定する
ごはんの場合
自動消火後、むらし開始
終了2分前
○おかゆ
●ごはん
ピピピッ
おかゆもできます(37ページ)
コンロ操作部
あぶる、炒める
(左右コンロ)
コンロを使う準備 25
39
1 点火する
2 火力調節する
3 あぶり高温炒めを設定する
調理開始
3秒押し
あぶり高温炒め
グリル操作部
オートグリルで
魚を焼く
グリルを使う準備 41
45
1 魚に合わせメニュー設定
2 焼き加減を設定する
3 点火する
○姿焼
●切身
○干物
オートメニュー
○強
●標準
○弱
焼き加減
点火消火
※調理時間を予測
※残り時間を表示
(例)9分の場合

④ 点火／消火ボタンを戻す

自動消火

点滅 00

ピー

④ 調理が終了したら、消火する

調理開始

180℃ 点灯

ピピピッ

ピー

④ 点火／消火ボタンを戻す

終了30秒前

秒 30分

ピピピッ

自動消火

点滅 00

ピー

③ 点火／消火ボタンを戻す

むらし終了

消灯 ○おかゆ ○ごはん

ピー

④ 調理が終了したら、消火する

ピー

終了30秒前

秒 30分

ピピピッ

自動消火

点滅 00分

ピー

⚠警告

温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない

温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できません。

- 天ぷら油過熱防止機能が正しくはたらかず、調理油の量に関係なく調理油が**発火し、火災の原因になります。**
- 焦げつき自動消火機能が正しくはたらかない場合があります。

お知らせ

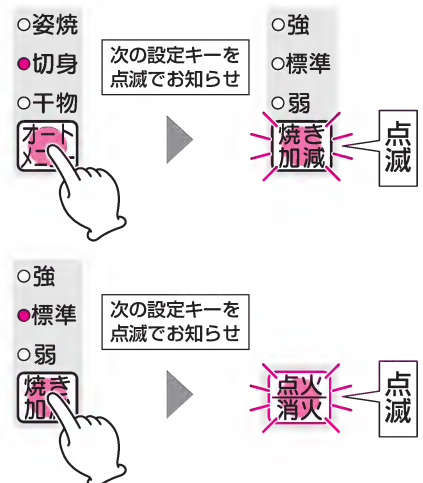
電源を入れたり、点火操作をすると、操作部の点滅によるサイン機能を搭載しています。

Welcomeサイン機能

- 電源を入れると、操作できる操作部の設定キーが全て点滅して、お知らせします。

NEXTサイン機能

- 次に操作するキーを点滅でお知らせし、操作性を向上させるナビゲーション機能です。

例）オートグリルモードの場合

※NEXTサイン機能を解除、または設定する場合は、各種設定の変更を参照してください。（55ページ）

安全に正しく使用していただくために必ずお読みください

使用される方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。
いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容を理解して正しく使用してください。

■危害・損害の程度による内容の区分

⚠危険	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険または、火災が切迫して生じることが想定される内容です。
⚠警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性または、火災が想定される内容です。
⚠注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみが発生する可能性が想定される内容です。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容です。

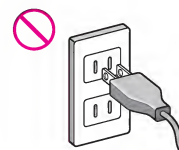
■注意・禁止内容の絵表示

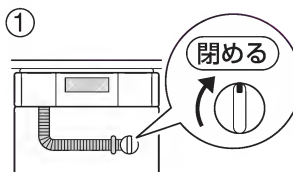
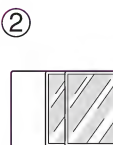
必ず守る	換気する	禁止	火気禁止
分解禁止	接触禁止		

⚠危険 ガス漏れの際には

ガス漏れ時は、絶対に

- **火をつけない**
- **電気器具（換気扇など）のスイッチの入・切をしない**
- **電源プラグの抜き差しをしない**
- **周辺で電話を使用しない**

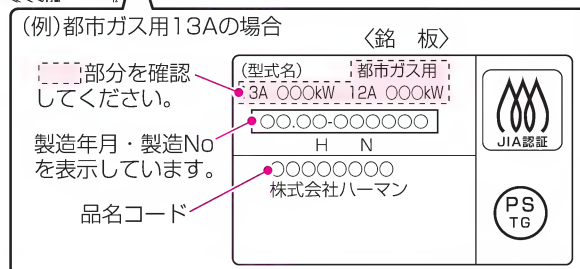
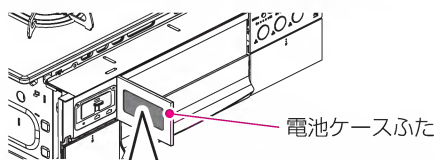
火や火花で引火し、**火災の原因になります。**

ガス漏れに気づいたときは、すぐに使用をやめる

①火を消し、ガス栓を閉める。
②窓や戸を開け、ガスを外に出す。
③お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者（供給業者）に連絡する。

⚠警告 使用するガスについて

- **銘板に表示しているガス(ガスグループ)で使用する**
- **転居時は、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを確認する**

表示以外のガスで使用すると、**不完全燃焼による一酸化炭素中毒や爆発着火によるやけど、機器が故障する原因になります。**

供給ガスがわからない場合は、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)にお問い合わせください。

（電池ケースふたの開けかたは、21ページを参照してください。）

⚠警告 火災予防のために

機器を設置の際は

- **機器の設置(取り付け、取り外し)・移転および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)に依頼する**

ガス配管接続には専門の資格・技術が必要です。

- **可燃性の部分から十分離して設置する**

当該地区の市・町・村の条例で定められています。必ず守ってください。

- **距離を確保できない場合は、別売の防熱板を取り付ける**

防熱板を取り付けなかった場合、**火災の原因になります。**

※離隔距離については18ページを参照してください。
防熱板の購入は、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)にお問い合わせください。

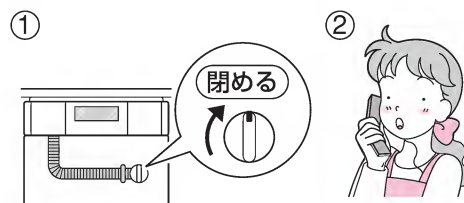
- **機器周囲の改装(吊り戸棚を付けるなど)については、お買い上げの販売店に相談する**

ご自分で改装されると、設置基準上問題がある場合があり、**火災の原因になります。**

機器をご使用の際は

- **使用中に異常燃焼、異常音、臭気などを感じたときや、地震、火災などの緊急の場合は、すぐに使用をやめる**

①火を消し、ガス栓を閉める。
②お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)に連絡する。

火災や一酸化炭素中毒のおそれがあります。

- **使用後は消火を確認する**

火災や思わぬ事故の原因になります。

※就寝や外出時は、ガス栓も閉めてください。

必ずお守りください（安全上の注意）
禁　止

- 火をつけたまま離れない
- 火をつけたまま就寝や外出をしない

調理中のものが焦げたり燃えたりするなど、**火災の原因になります。**
※とくに天ぷらや揚げもの調理、グリルを使用しているときは注意してください。
　電話や来客の場合は、一旦火を消してください。

禁　止

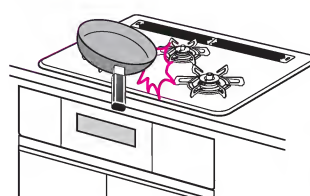
- 引火のおそれのあるもの（スプレー、ガソリン、ベンジンなど）は機器の近くで使用しない

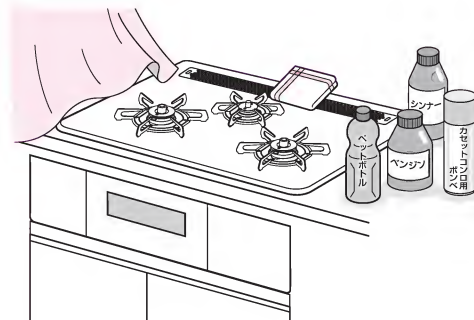
火災の原因になります。

禁　止

- トッププレートに衝撃や荷重を加えない
- 上にのらない

トッププレートの変形やキズ、破損につながります。また、異常過熱や火災の原因になります。

禁　止

- 燃えやすいものや引火のおそれのあるものを機器の近くに置かない
  - 燃えやすいもの
    ペットボトル、プラスチック類、ふきん、タオル、カーテン、調理油、新聞紙、ビニールシートなど
  - 引火のおそれのあるもの
    スプレー缶、カセットコンロ用ボンベなど

火災の原因や、熱でスプレー缶の圧力が上がり、**スプレー缶が爆発する原因になります。**

コンロ部をご使用の際は

禁　止

- あぶり高温炒めモードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない

天ぷら油過熱防止機能が作動せず、調理油が**発火し、火災の原因になります。**

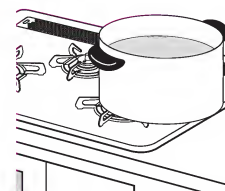
禁　止

- 耐熱ガラス容器や土鍋など、熱が伝わりにくい容器で油料理しない

天ぷら油過熱防止機能が正しくはたらかず、調理油が**発火し、火災の原因になります。**

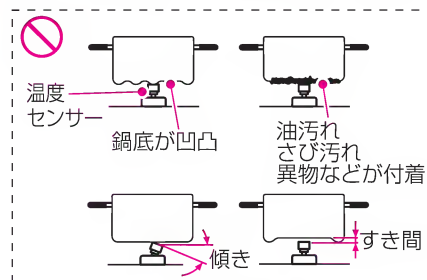
禁　止

- 鍋などが、トッププレートからはみ出した状態では使用しない

火災や機器焼損の原因になります。

・**温度センサーの上面と鍋底やフライパンの底などが密着していないときは使用しない**

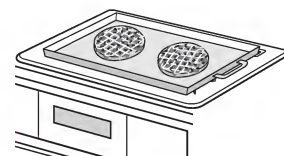
温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できません。

・天ぷら油過熱防止機能が正しくはたらかず、調理油の量に関係なく調理油が**発火し、火災の原因になります。**

・焦げつき自動消火機能が正しくはたらかない場合があります。

・**アルミはく製しる受け、省エネごとくなどの指定以外の補助具は使わない**

一酸化炭素中毒のおそれや機器の異常過熱により、塗装の変色・はく離・機器焼損・変形の原因になります。

・**コンロをおおうような、大きな鉄板や鍋は使わない**

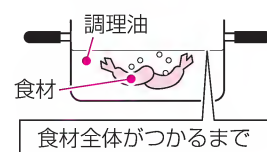
トッププレートの変色や変形および火災や不完全燃焼の原因になります。

・**焼網は使用しない**

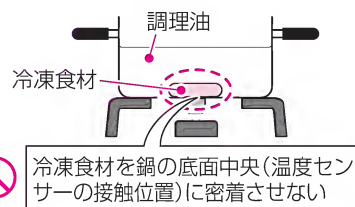
トッププレートに落ちた油などが**発火したり、機器の異常過熱により塗装の変色・はく離・機器焼損・変形の原因になります。**また、**トッププレートの変色や変形の原因になります。**

揚げもの調理の際は

・**揚げものは食材全体が十分につかるまで調理油（必ず200mL以上）を入れて行う**

調理油の量が少なかったり、減ってきたりすると、**発火するおそれがあります。**

とくに、フライパンなどの底が広い鍋で揚げものをする際は、食材全体が調理油に十分につかっていないと、**発火するおそれがあります。**

・**冷凍食材を鍋の底面中央に密着させた状態で揚げものをしない**

鍋の底面中央（温度センサーの接触位置）に冷凍食材が密着した状態で揚げもの調理をすると、温度センサーが鍋底の温度を正しく検知しないため、**発火するおそれがあります。**食材は中央部を避けて置いてください。

・**複数回使った調理油で揚げものをしない**

何回も使用して茶褐色に変色した調理油、にごった調理油、揚げカスなどが沈んだまま残っている調理油は使用しないでください。**発火が起こりやすくなる場合があります。**

・**揚げすぎない**

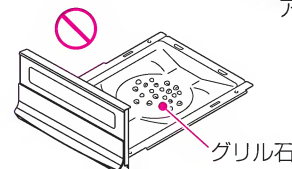
豆腐などの水分の多いものや、衣つきのコロッケなどの破裂しやすいものは、とくに注意してください。揚げすぎると油が飛び散り、**発火や、やけどのおそれがあります。**

必ずお守りください（安全上の注意）

グリル部をご使用の際は

・**脂が多く出る料理には、グリル焼網の上や下にアルミはくを敷かない**
アルミはくの上にたまった脂が**発火し、火災や機器損傷の原因になります。**
※鶏肉や脂がのったさんまなどは、脂が多く出ます。

鶏肉
アルミはく

・**グリル受け皿にグリル石やグリルシートなどを入れない**
たまった脂が**発火し、火災や機器損傷の原因になります。**

・**グリル使用前はグリル庫内を点検する**
グリル庫内に食品くず、脂くず、布などがあると、使用中に**発火し、火災や機器損傷の原因になります。**

・**グリル使用後および連続使用するときは、グリル受け皿やサイドカバーにたまった脂、グリル焼網についた食材は、ご使用の都度取り除く**
たまった脂などが**発火し、火災や機器損傷の原因になります。**

・**グリル排気口の上に、ふきんやタオルなどをのせたり、ふさがない**
・**グリル排気口の周りには、ものを置かない**
火災や不完全燃焼の原因になります。

点検・お手入れの際は

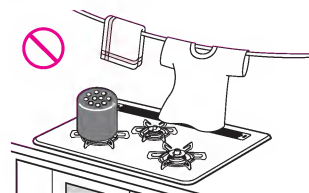
・**絶対に改造・分解は行わない**
改造・分解をすると、**一酸化炭素中毒などによる死亡事故のおそれがあります。**
また、**火災の原因になります。**

⚠注意　火災予防のために

機器をご使用の際は

・**使用するバーナーの点火／消火ボタンを確認して操作する**
間違って操作すると、別のバーナーが点火して、**火災や思わぬ事故の原因になります。**

・**点火したときは、バーナーが着火したことを確認する**
着火していないと、漏れたガスに引火し、**火災や一酸化炭素中毒、思わぬ事故の原因になります。**

・**調理以外の用途には使用しない**
練炭の火起こしや衣類（ふきんなど）の乾燥などに使用しないでください。**過熱・異常燃焼による機器焼損**や、衣類などが落下して**火災の原因になります。**

グリル部をご使用の際は

・**魚などの焼きすぎに注意する**
魚などが燃え、グリル排気口から炎が出ることがあり、**火災の原因になります。**

・**異なる調理物(焼き上げの早い調理物、遅い調理物)を、同時に焼くときは注意する**
焦げたり、**発火するおそれがあります。**

・**鶏肉やサンマなどの脂の多い食材を焼くと、飛び散った脂に引火して、瞬間的にグリル排気口から炎が出る場合があるので注意する**
やけどや火災などの原因になります。

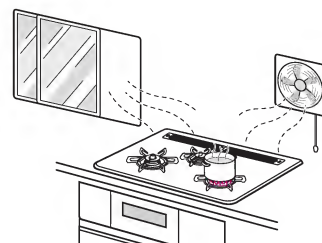
・**調理物が発火した場合は、すぐに使用をやめる**
① 点火/消火キーを押し、消火する。
② 炎が消えるまでグリルとびらを開けない。
③ 消火後、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)に連絡する。
手順に従わなかった場合は、**火災の原因になります。**

⚠注意 ガス事故防止のために

機器を設置の際は

・**冷暖房装置の吹き出し口の近くや、強い風が吹き込む場所には設置していないことを確認する**
火が途中で消えたり、不完全燃焼の原因になります。

機器をご使用の際は

・**必ず換気をする**
窓を開けたり換気扇を回すなど、換気を行ってください。
換気を行わずに、他の燃焼機器と同時に使用した場合など、
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の原因になります。
※自然排気式給湯器やふろがまを使用している場合は、換気扇を回さず、窓を開けて換気をしてください。換気扇を回すと排気ガスが逆流して**一酸化炭素中毒の原因になります。**

お手入れの際は

・**バーナーキャップを水洗いしたあとは、よく水気を切る**
水分が残ったまま取り付けると、**点火不良や不完全燃焼の原因になります。**

必ずお守りください（安全上の注意）

⚠注意 やけどやけがの予防のために

機器をご使用の際は

- **点火操作をしても点火しない場合は、点火／消火ボタンを「消火の状態」にし、周囲のガスがなくなってから再度点火する**
  すぐに点火すると、周囲のガスに引火して衣服が燃えるなど、**やけどの原因になります。**

- **コンロ使用中は、コンロの奥へ手を伸ばしたり、身体の一部や衣服が炎に触れないように注意する**
  やけどや衣服に炎が移ったりするおそれがあります。

- **使用中や使用直後は操作部以外は触らない**
  機器本体とその周辺および調理用具が熱くなっており、**やけどの原因になります。**
  ※グリルのみを使用してもグリルバーナーの炎や排気の熱により、トッププレートは熱くなります。また、ビルトインオーブンを設置している場合、コンロやグリルを使用していなくてもオーブンを使用すると、トッププレートや排気口カバーが熱くなります。1カ所のみのコンロを使用している場合でも、使用していないコンロ側のトッププレートも熱伝導で熱くなる場合があります。

- **点火操作時や使用中は、バーナーとグリル排気口付近に顔や手などを近づけない**
- **グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない**
  炎や熱で顔や手などに、**やけどをするおそれがあります。**
  ※とくにコンロ調理中は、安心・安全機能が作動し、自動的に強火と弱火を切り替える場合があり、炎の大きさの変化によって、**やけどをするおそれがあります。**

コンロ部をご使用の際は

- **やかんや鍋などの大きさに合わせて火力を調節する**
  火力が強いとはみ出した炎によりやかんや鍋の取っ手などが加熱され、**やけどや取っ手などの焼損の原因になります。**

- **片手鍋や底がへこんだ鍋や丸い鍋、底がすべりやすい鍋、径の小さい鍋などは、不安定な状態で使用しない**
  不安定な状態で使用すると、鍋が傾いて調理物が体にかかるなどして**やけどの原因になります。**
  ・片手鍋やフライパンなど、重心が片寄った鍋は不安定な状態にならないよう、取っ手をごとくのツメ方向に合わせる、取っ手を持って使用する、取っ手などを機器の前面からはみ出さないよう横に向けて置くなど、安定した状態で使用してください。
  ・中華鍋などの底の丸い鍋は、取っ手を持ちながら使用してください。

- **みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜる**
  強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがって**やけどをする原因になります。**（とくにだし入り豆みそ（赤みそなど）のときは注意してください。）

突沸現象について

突沸現象とは、突然にふっとうする現象です。
水、牛乳、豆乳、酒、みそ汁、コーヒーなどの液体を温めるときに、ささいなきっかけ（容器をゆする、塩、砂糖などを入れる）で生じます。直火でこれらを温めるときにも起きることがあります。
この現象が調理中に起きると、鍋がはねあがったり、高温の液体が飛び散るため、**やけどやけがをするおそれがあります。**これらの予防法として次の点にご注意ください。

- **カレー、ミートソースなどのとろみのある料理やみそ汁などの汁ものの温めは弱火でかき混ぜながら加熱する。（強火で急に加熱しない。）**
- **熱々の汁ものに、塩、砂糖などの調味料を入れる場合は、少し冷ましてから行う。**
- **鍋の大きさにあった火力で加熱する。**

グリル部をご使用の際は

・**使用直後の魚の出し入れは、グリルとびらやグリル受け皿、グリル焼網を機器から取り外さずに行う**
グリルとびらガラスやグリル焼網などが熱くなっており、**やけどの原因になります。**

・**グリルとびらおよびグリルとびら取っ手に重いものをのせたり強い力を加えない**
グリルとびらが外れ、**けがの原因になります。**

・**グリル受け皿を持ち運びするときは、冷えてから持ち運ぶ**
使用中や使用直後は、グリル受け皿やグリル受け皿にたまった脂が高温になっており、**やけどの原因になります。**また、グリル受け皿にたまった脂などがこぼれないように注意してください。

・**グリルとびらガラスに衝撃を加えたり(グリルとびらの落下も含む)キズをつけたりしない**
・**使用中や使用直後に水をかけない**
グリルとびらガラスが割れて、**やけどやけがの原因になります。**

・**グリル使用中や使用直後は、グリルとびら取っ手以外は触らない**
・**グリル受け皿を持つときは、ぬれぶきんなどで持たない**
やけどの原因になります。

・**グリル受け皿に水を入れて使用しない**
この機器はグリル受け皿に水を入れる必要がないタイプです。水を入れないでください。
グリル機能が正しくはたらかなかったり、**調理物が燃えるなどの原因になります。**また、お湯がこぼれて**やけどの原因にもなります。**

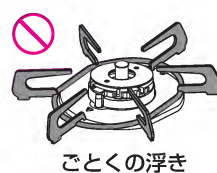
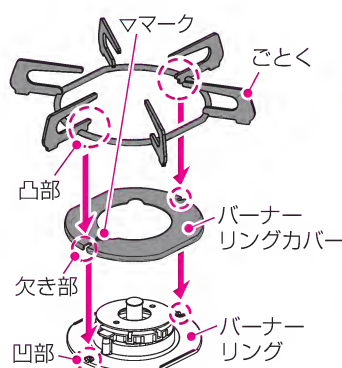
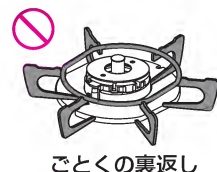
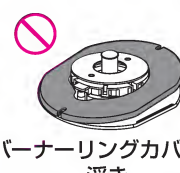
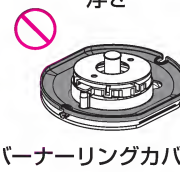
・**グリルを使用するときは、グリル排気口に手や顔などを近づけない**
・**鍋の取っ手などがグリル排気口にかからないようにする**
高温の排気が出て、**やけどや鍋の取っ手などの焼損の原因になります。**

・**グリルとびらを開けたままグリルを使用しない**
グリルとびらに魚などをはさみこむなど、グリルとびらが開いた状態では使用しないでください。また、ひんぱんに開けたり閉めたりしないでください。
機器上部の変色や、ワークトップを焦がしたり、**やけどのおそれがあります。**

お手入れの際は

・**機器が十分冷えてから、手袋をして行う**
やけどや機器の突起物などでけがをする原因になります。

・**トッププレートは取り外さない**
裏面でけがをする原因になります。

・**ごとくとバーナーリングカバーは、正しく取り付ける(57ページ)**
誤った取り付けかた(浮き、裏返しなど)で使用すると、**鍋の転倒によるやけど・点火不良・不完全燃焼・変形の原因になります。**
また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートに**キズがつくおそれがあります。**

⚠注意 機器損傷の予防のために

機器をご使用の際は

禁止

・トップレートに直接高温の鍋などをのせない
トッププレートの変色や損傷の原因になります。

禁止

・ごとくを外して直接コンロに鍋を置いて使用しない
不完全燃焼や機器焼損の原因になります。

禁止

・グリルとびら、コンロ操作部、グリル操作部、電池収納部などに、重いものをのせたり強い力を加えない
機器損傷の原因になります。

禁止

・石焼きいもつぼなどの空焼きをする調理用具は使用しない
異常過熱による機器損傷の原因になります。

必ず守る

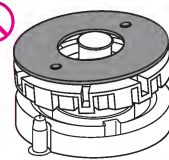
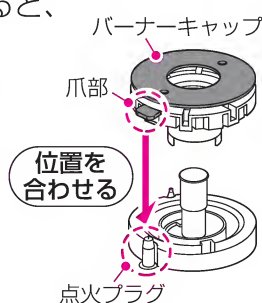
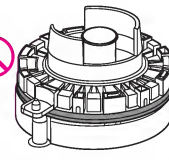
・エアコン、扇風機の風などがコンロの炎にあたらないように配慮して使用する
風があたると温度センサーが鍋底の温度を正しく検知できず、火が途中で消えたり機器損傷の原因になります。

禁止

・アルミトッププレートは、衝撃や高温に弱いので、固いものでぶつけたり、鉄板・土鍋などで異常過熱しない
キズ・はく離の原因となります。
また、ごとく・バーナーリングカバーを取り付けている場所に、光沢、跡、すりキズなどが付くことがありますが、ご使用上問題ありません。

お手入れの際は

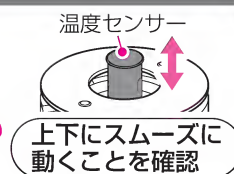
必ず守る

・バーナーキャップは正しく取り付ける（57ページ）
誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、
・点火しない場合があります。
・炎のふぞろいや逆火で不完全燃焼・一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。
・機器の中に炎がもぐりこんで、焼損する原因になります。
・機器寿命が短くなるおそれがあります。

⚠注意 お子さまに対する注意

禁止

・小さなお子さまだけで使用させない
思わぬ事故の原因になります。
お子さまが触れても点火しないよう、ロック機能を設定することができます。（26ページ）

⚠注意 温度センサーの正常な動作のために

・**こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する**
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が**発火する場合があります。**
また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、**やけどの原因にもなります。**密着しない場合、点検・修理を依頼してください。

・**強いショックを加えない**
・**キズをつけない**
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が**発火する場合があります。**

⚠注意 ダッチオーブンについて（付属品もしくは別売品）

・**ダッチオーブン使用直後に水をかけて急に冷やさない**
ダッチオーブンの熱で水が蒸発して飛び散り、**やけどの原因になります。**

・**オーブン調理後、ダッチオーブンを食卓にのせる際は、必ず鍋敷きを敷く**
ダッチオーブンの熱で**食卓が焦げる原因になります。**

・**ダッチオーブンを持ち運びする際は、鍋つかみを使用する**
使用中、使用直後は、ダッチオーブンが高温になっているため、**やけどの原因になります。**

⚠注意 調理プレートについて（別売品）

・**続けて使用するときは、その都度調理プレートにたまった食品くずや脂などを取り除く**
たまった脂が燃えて、**火災のおそれや機器損傷の原因になります。**

・**予熱終了後に食材をのせるときは、調理プレートが高温のため、触れないよう気をつける**
やけどの原因になります。

・**調理終了後、調理プレートが高温の状態で水などに入れて急冷しない**
調理プレートの変形の原因になります。

・**調理プレートは、グリル使用中および使用直後は高温になるため、取り出すときは必ず付属のホルダーを使用する**
やけどの原因になります。

・**予熱終了後などで、グリルとびらを開けるときは必ず一旦消火する**
グリル過熱防止センサー（19ページ）がはたらき、**消火する場合があります。**

・**グリル以外では使用はしない**
塗装がはがれたり、破損の原因になります。

・**油もの料理や、焼き魚に調理プレートは使用しない**
火災の原因になります。

お願い

機器について

・この製品は家庭用です。業務用のような使いかたをすると、機器の寿命が著しく短くなります。
この場合の修理は保証期間内でも有料となります。
・長期間使用しない場合は・・・
 ・ガス栓を閉めてください。
 ・各部の汚れを取り除き、ほこりや異物が入らないようにビニールなどをかけてください。
 再使用時は、完全に取り外してください。
 ・乾電池を電池ケースより抜いてください。乾電池の液漏れにより、**機器をいためる原因になります。**
・機器を廃棄する場合は、乾電池を取り外し、専門の業者に処理を依頼してください。

機器のご使用について

・消火後、しばらくの間はトッププレートが熱くなっている場合があるため注意してください。
・使用中もときどき、正常に燃焼していることを確認してください。
・トッププレートのごとく・バーナーリングカバーを取り付けている場所に、光沢、跡、すりキズなどが付くことがありますが、ご使用上問題ありません。
・トッププレート上で、鍋などをすべらせたりしないでください。
トッププレートや鍋が損傷する原因になります。
・トッププレート上で、硬いものを落下させたり、鋭利なものでこすったりしないでください。
トッププレートがへこんだり、変形、キズ、はく離の原因になります。
・機器の下にオーブンを設置して使用している場合、オーブンのとびらを半開きのままで使用しないでください。
やけどや過熱による変形などの原因になります。
・トッププレート上で、IHジャー炊飯器、卓上型IHクッキングヒーターなど電磁誘導加熱の調理機器を使わないでください。磁力線により、**機器が故障する原因になります。**

コンロのご使用について

・鍋の重さは温度センサーの密着を確実にするため300g以上（調理物の重さを含む）にしてください。
とくに片手鍋などは、不安定になりやすいので注意してください。
・弱火のときは炎が見えにくい場合があります。消し忘れに注意してください。
・調理中に鍋をのせかえるときは、一旦火を消してからのせかえてください。
火を消さずに作業をすると、**やけどの原因になります。**
・コンロを弱火で使用している場合は、機器下のキャビネットとびらや、グリルとびらをゆっくり開閉してください。
キャビネットとびらや、グリルとびらの開閉により発生した風で、**コンロの火が消える場合があります。**
・強火で長時間使用すると、まれに鍋とごとくがくっつくことがあります。鍋を動かすときは注意してください。
・煮こぼれしたときは、その都度お手入れを行ってください。
バーナーに煮こぼれがかかったまま放置すると、炎口がつまり機器内部で燃えることにより、**機器焼損の原因になります。**機器の内部に煮汁が浸入すると、**故障の原因になります。**
・ごとくに取り付けてあるゴム足を無理に外そうとしないでください。
・ごとくのゴム足が外れていないか確認してください。外れている場合は、58ページ（お知らせ）を参照してください。

グリルのご使用について

・連続で使用する場合は一旦火を消し、再度点火してください。グリル庫内が高温になっていると、グリル過熱防止センサー（19ページ）がはたらいて、**焼き上がる前に消火する場合があります。**
・魚などの焼き加減を見るときなど、グリル受け皿を約1分以上引き出したままにする場合は、一旦火を消してください。グリル過熱防止センサー（19ページ）がはたらいて、**消火する場合があります。**
・冷凍の食材は、しっかりと解凍し、冷蔵の食材は、常温でしばらく置いてください。
しっかりと解凍したり、常温にしておかないと、時間がかかり、安全機能がはたらくことがあります。
また、焼きあがりがよくない場合や、生焼け状態になる場合があります。

お手入れについて

・機器や機器周辺（キッチンの天板など）に水をかけたり、水を流しての掃除はしないでください。
また、ぬれぶきんやスポンジたわしを使用する場合もよくしぼり、水分を切ってから使用してください。
機器内部に水が浸入し、**故障の原因になります。**

周囲の防火措置（機器の設置）

機器の設置・移転および付帯工事は、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)に依頼し、安全な位置に正しく設置してください。

周囲の離隔距離

機器を設置する周囲の壁などが、防火上安全な場所かまたは、防火上有効な間隔を確保することができる場所に設置してください。

⚠警告

必ず守る

周囲の障害物、可燃物との離隔距離が確保されていることを確認する
離隔距離が少ないと、**火災の原因になります。**

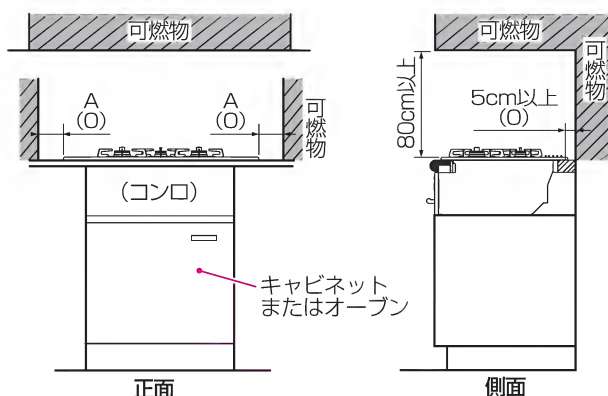
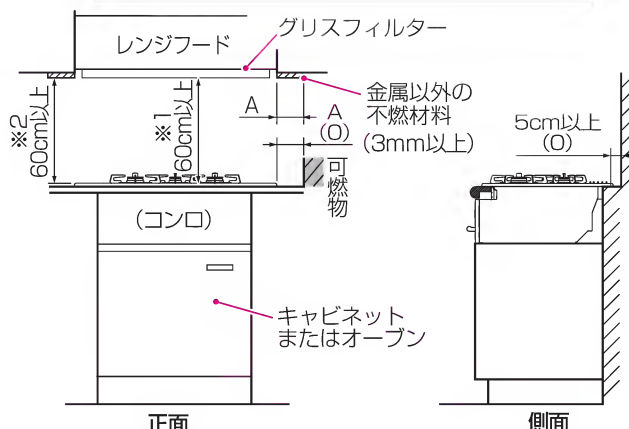
※機器の周囲の可燃物(可燃材料、難燃材料または、準不燃材による仕上げをした建物の部分も含む)とは、トッププレート上部に貼り付けの防火性能評定シールに基づき下図の離隔距離を確保してください。

機器の周囲が可燃物の場合

可燃物
A (0)
A (0)
可燃物
(コンロ)
キャビネットまたはオーブン
正面

可燃物
80cm以上
5cm以上 (0)
可燃物
側面

レンジフードおよび不燃材の場合

レンジフード
グリスフィルター
※2 60cm以上
※1 60cm以上
A
A (0)
金属以外の不燃材料(3mm以上)
可燃物
(コンロ)
キャビネットまたはオーブン
正面

5cm以上 (0)
側面

A寸法：《60cm幅タイプ》15cm以上　《75cm幅タイプ》7.5cm以上

※(　)内は、周囲の壁を不燃材料で有効に仕上げた部分もしくは、防熱板を取り付けたときの寸法です。
※1 レンジフードファン以外の場合は80cm以上。
※2 不燃材料がない場合は80cm以上。

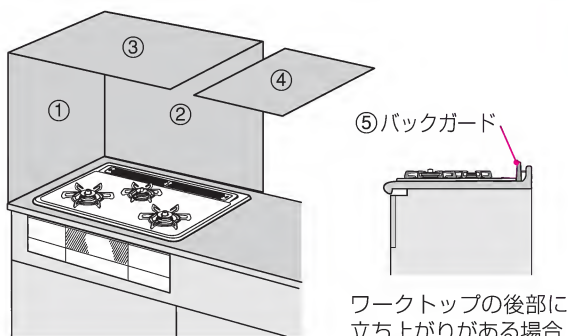
防熱板(別売品)について

離隔距離がとれない場合や、仕上げの構造がわからない場合は、必ず防熱板による防火措置を行ってください。
防熱板のお求めは、お買い上げの販売店または、弊社(裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

⚠警告

必ず守る

防熱板は、必ず指定のものを使用する
防熱板に同こんされている「取付説明書」に従って正しく取り付ける。
防熱板を取り付けないと、**火災の原因になります。**

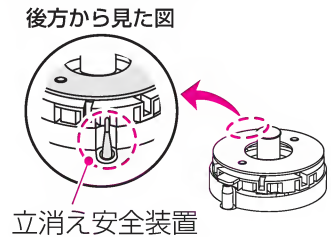
・防熱板は60cm幅タイプは4種類、75cm幅タイプは5種類用意しています。
・用途に適した防熱板を選んでいただき、正しく取り付けてください。
※取り付け方法は防熱板に同こんされている「取付説明書」をご覧ください。

※イラストはイメージです。

	コード番号	高さ(mm)	幅(mm)	備　考
①	DP0128	590	535	共用
②	LP0130	590	600	60cm幅タイプ用
	LP0131		750	75cm幅タイプ用
③	DP0129	550	900	共用
④	LP0117	550	150	75cm幅タイプ用
⑤	DP0101	90	600	60cm幅タイプ用
	DP0104		750	75cm幅タイプ用

安心・安全機能

◎風や煮こぼれで火が消えた場合、自動的にガスを止めます。

立消え安全装置 （コンロ）（グリル）

※火が消えてから数秒後にガスを完全に止めます。
※再度点火するときは、窓や戸を開けて換気をし、ガスのにおいが完全になくなってから点火してください。

◎万一消し忘れても、一定時間で自動消火します。

コンロ消し忘れ消火機能 （コンロ）

点火後、約120分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）連続使用すると自動消火します。
※左右コンロはあぶり高温炒めモード使用時、約60分（高温で自動火力調節している状態の場合は約30分）連続使用すると自動消火します。
※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間は、変更することができます。（55ページ）

グリル消し忘れ消火機能 （グリル）

連続使用可能時間は約18分です。点火後、最長で約18分間連続使用すると自動消火します。
ダッチオーブンモード使用時は約30分です。点火後、最長で約30分間連続使用すると自動消火します。

◎天ぷら油の過熱を未然に防止します。

天ぷら油過熱防止機能 （コンロ）

油温が約250℃になると自動で強火と弱火を繰り返し、過熱による発火を防ぎます。自動火力調節している状態が約30分続くと自動消火します。約250℃以上になる場合は、約30分を経過する前に自動消火します。
※鍋の種類や油の量によって自動消火時の油の温度は異なります。
※あぶり高温炒めモードを使用している間は、この機能ははたらきません。

⚠注意

天ぷら油過熱防止機能がはたらいたときは、鍋や油の温度が相当高くなっているため注意する
やけどやけがの原因になります。

◎煮ものなどの焦げつきを初期段階で自動消火します。

焦げつき自動消火機能 （コンロ）

焦げつきの程度は、鍋の材質・火力・調理物によって異なります。
※あぶり高温炒めモードを使用している間は、この機能ははたらきません。
※弱火から強火に切り替えたときに温度センサーがはたらいて自動消火することがあります。再度点火すると正常に作動します。

◎グリル庫内が過熱すると自動消火します。

グリル過熱防止センサー （グリル）

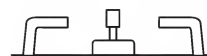
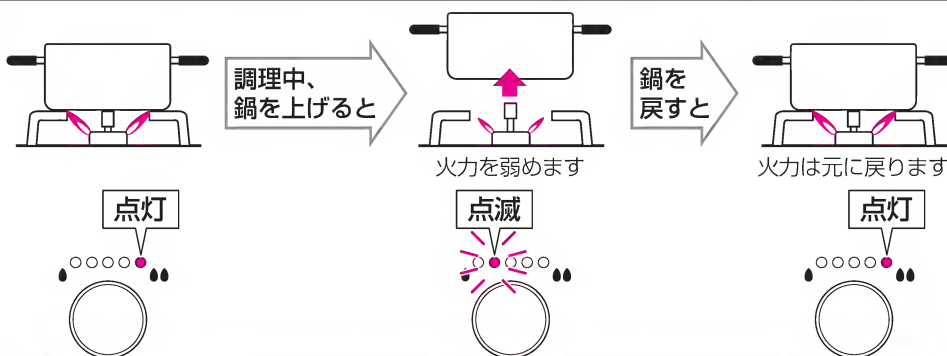
グリル庫内やグリル受け皿の温度が異常に高い場合や、連続焼きや空焼きなどで高温になると、自動的に火力を弱めたり、自動消火します。

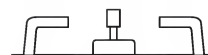
⚠注意

グリル過熱防止センサーがはたらいたときは、グリルとびらガラスやグリル受け皿などの温度が相当高くなっているため注意する
やけどやけがの原因になります。

◎そで口への引火を未然に防ぎます。

鍋なし検知機能　コンロ（左右コンロのみ）

鍋を置かなかったり、調理途中に鍋を上げたりした場合は、鍋なし検知機能がはたらきます。
※あぶり高温炒めモードを使用している間は、この機能ははたらきません。

鍋なし検知タイマーについて

・鍋なし検知タイマーとは、点火後に鍋などを上げた状態が約1分続くと、安全のため、ブザー音『ピーピーピー』と火力表示ランプ（左端）が点滅でお知らせし、自動消火します。
※あぶり高温炒めモードを使用している間は、この機能ははたらきません。

鍋なし検知センサーチェックについて

・鍋なし検知センサーチェックとは、鍋などを上げない状態が長時間続くことで、鍋なし検知センサーに異常がないか確認するため、自動でチェックを行います。

センサーチェックが開始すると

・消火中でも、鍋の有無を常時監視し、火力表示ランプ（左端）が点滅します。

点滅

火力表示ランプ点滅で、センサーチェックの開始をお知らせ

さらに長時間、鍋などを置いたままにすると

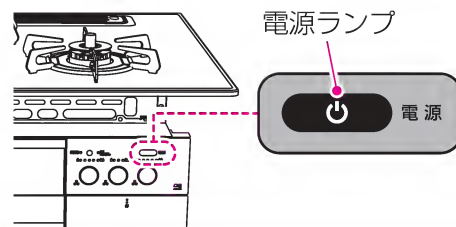
・点火操作しても点火しません。5秒毎にブザー音『ピー』でお知らせします。
さらに約5分、鍋などが上げられなければ、ブザー音『ピー（約10秒繰り返し）』でお知らせし、火力表示ランプ（左端）とタイマー表示部『23⇔01または02』が10回点滅します。

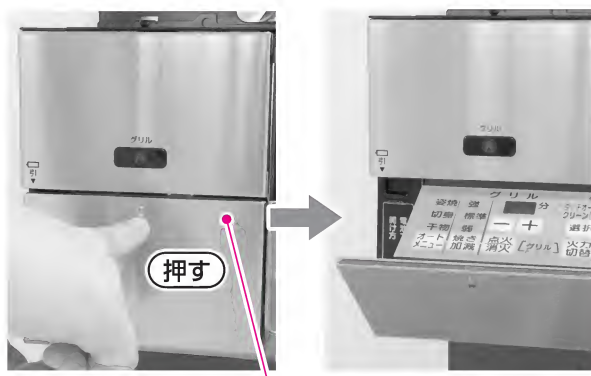
センサーチェックを解除するには

センサーチェックが開始したら、鍋などを一旦上げてください。

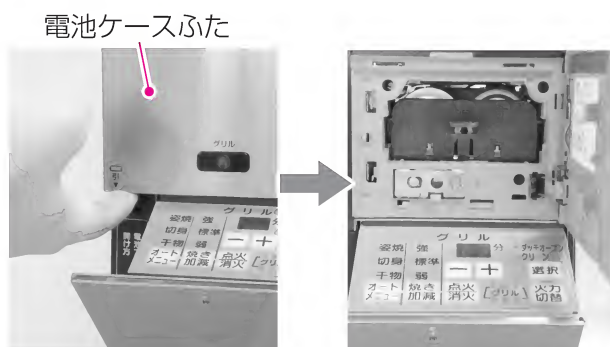
・センサーが正常であれば、火力表示ランプの点滅、または5秒毎のブザー音『ピー』報知が止まり、センサーチェックが解除されます。
※鍋を上げた状態にしても、5秒毎のブザー音『ピー』報知と、火力表示ランプの点滅が継続した場合は、点検が必要です。お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。

乾電池を交換する

・乾電池の交換時期が近づくと電源ランプが点滅し、最初の点火操作時は、ブザー音『ピー』でお知らせします。
乾電池の容量がなくなると点火できなくなりますので、新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)と交換してください。

❶ グリル操作部を開ける

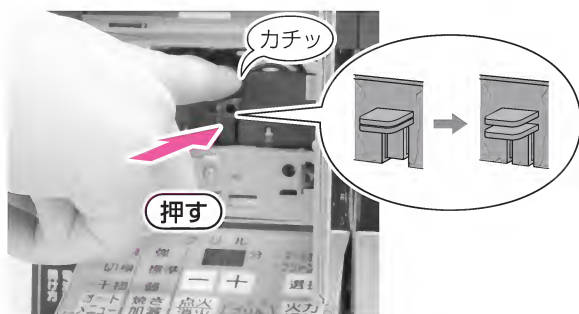
○グリル操作部(左パネル下面)を押し、グリル操作部を開ける。

グリル操作部
(左パネル下面)

❷ 電池ケースふたを開ける

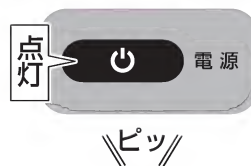
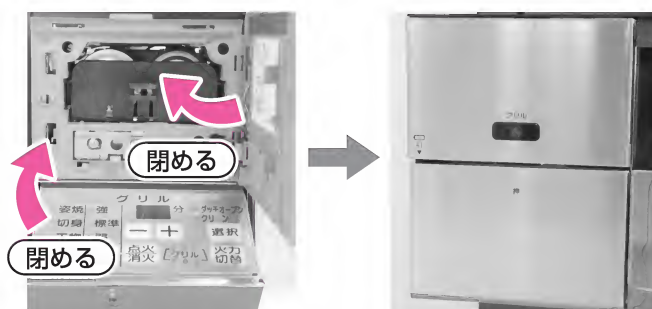
○電池ケースふたの左下側に指を引っ掛け、電池ケースふたを開ける。

電池ケースふた

※電池ケースふたは約90°まで開きます。それ以上は無理に開かないでください。また、無理な力を加えないでください。
電池ケースふたが、**破損する原因になります。**

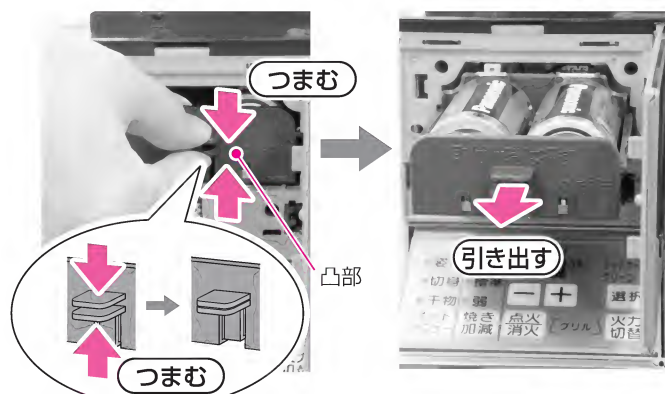
❺ 電池ケースを押し込む

○カチッと音がするまで、しっかり奥まで押し込んでください。

※電池ケースを奥まで押し込んでいない状態で、電池ケースふたを閉めないでください。
電池ケースふたが、**破損する原因になります。**

❻ 電池ケースふたとグリル操作部を閉める

○電池ケースふたとグリル操作部を元どおりに閉めて、機器の電源が入るか確認する。

乾電池を交換するときは、必ず機器が冷えてから行ってください。

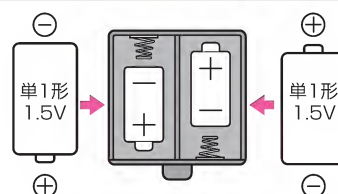
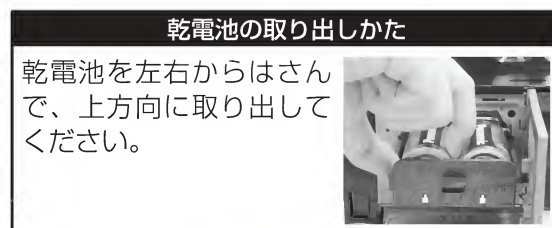
③ 電池ケースを引き出す

○電池ケース前面にある上下の凸部をつまみ、電池ケースを引き出してください。

※電池ケースは、乾電池の落下を防止するため、乾電池が取り出せる位置で止まります。
※電池ケースを引き出すときは、ゆっくり引き出してください。
強く引き出すと、**破損の原因になります。**

④ 乾電池を交換する

○単1形アルカリ乾電池(2個)の⊕ ⊖を確かめ、乾電池を交換してください。

乾電池の取り出しかた

乾電池を左右からはさんで、上方向に取り出してください。

※乾電池の組み込む方向を間違えないようにしてください。また、新しい乾電池と古い乾電池または、種類の違う乾電池を混ぜて使用しないでください。乾電池の寿命が短くなります。

⚠注意

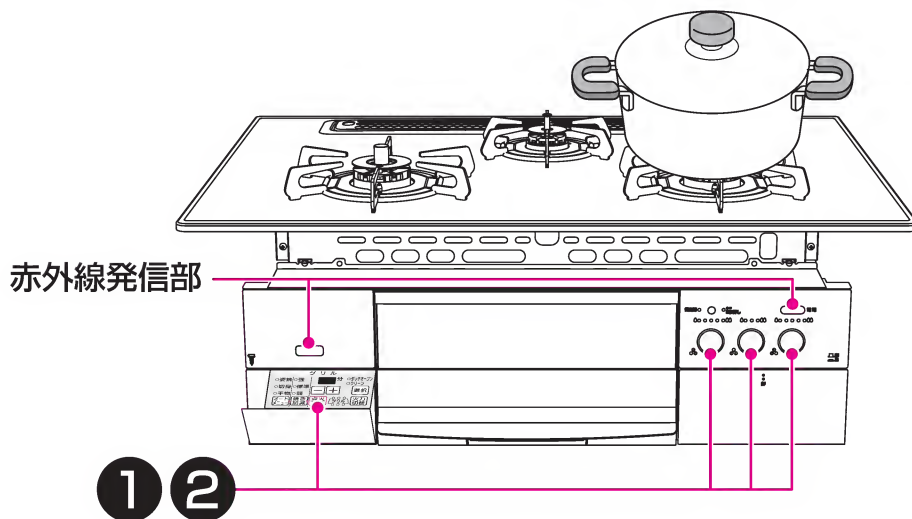
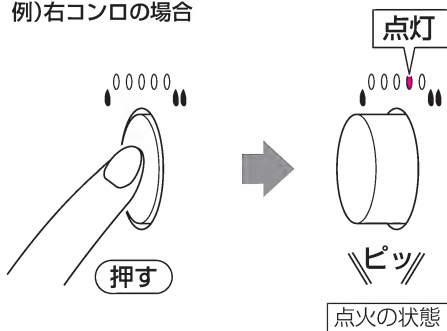
乾電池は充電・分解・加熱したり、火の中に投入しない
乾電池が破裂し、手や服などを汚すだけでなく、**目などに入ると大変危険です。**

乾電池に関するお願い

- 乾電池の組み込む方向を間違えないようにしてください。
- 乾電池が正しく組み込まれていなかったり、乾電池の容量が全くなくなった場合、電源ランプは点滅しません。
- 乾電池は必ず2個とも同種類の新品のアルカリ乾電池を使用してください。
  アルカリ乾電池(単1形:2個)を使用した場合、乾電池を交換する(電源ランプ点滅)めやすは約1年です。
- アルカリ乾電池(単1形:2個)でも、使用状況・使用時間・乾電池製造メーカー・新しい乾電池と古い乾電池または、種類の違う乾電池を混ぜて使用した場合、交換時期が1年以内と短くなる場合があります。
  また、マンガン乾電池を使用した場合は、交換時期が極端に短くなります。
- 未使用の乾電池でも「使用推奨期限(月、年)」を過ぎている場合は、自然放電により短時間で電源ランプが点滅する場合があります。また、付属のアルカリ乾電池(単1形:2個)は、工場出荷時期により寿命が短くなっている場合があります。
- 電池ケースに水や異物が入った場合、ふき取ってきれいにしてください。**電池機能不良の原因となります。**
- 単2形、単3形乾電池を単1形サイズにする電池スペーサーは、電池ケースの ⊖ 端子が接触せず、使用できない場合があります。また、使用できた場合でも、交換時期が極端に短くなります。

レンジフード連動機能

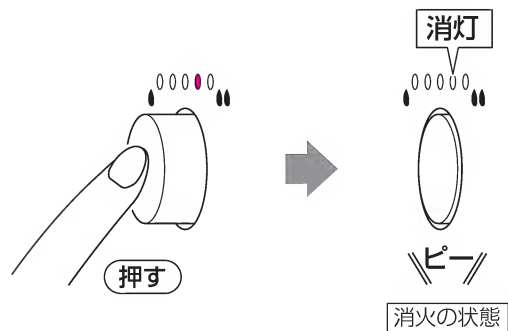
・対応しているレンジフードとの組み合わせが必要です。

❶ 点火する

○点火／消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。

※"標準"または"中"の風量で動作します。
詳細はレンジフードの取扱説明書を参照してください。なお、すでに他のコンロやグリルを使用している場合は、使用時の風量を維持します。

※必ず点火操作後にレンジフードが運転していることを確認してください。

※「風量」と「照明」の操作は、レンジフード側の操作部で行ってください。

❷ 消火する

○点火／消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。

※必ず火が消えたことを確認してください。

※レンジフードは、消火操作から約3分後に自動停止または常時換気となります。（レンジフードのタイプにより、常時換気のない場合があります。詳細はレンジフードの取扱説明書を参照してください。）

※消火操作を行っても他のコンロやグリルを使用している場合、レンジフードは停止しません。

※コンロ使用時に自動消火(立消え安全装置作動、コンロ消し忘れ消火機能作動など)した場合、レンジフードは停止しません。
点火／消火ボタンを「消火の状態」にするか、レンジフード側の操作部で停止してください。
機器がオートパワーオフした場合は、レンジフードが自動的に停止する場合があります。

レンジフード連動機能とは

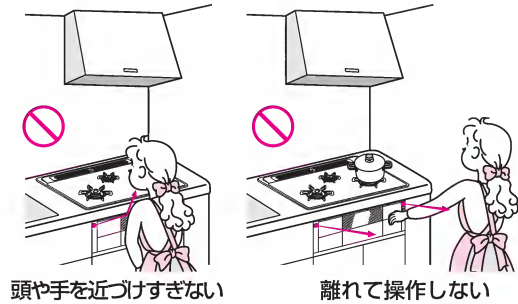
・機器の点火および消火操作により、機器から出される赤外線が機器を操作する人に反射し、レンジフード側で受信してレンジフードを自動的に運転および停止させるものです。

ご注意していただきたいこと

下記の場合は、動作しないおそれがあるので注意してください。

・赤外線発信部の近すぎる位置や離れて立っている。
・前かがみで操作し、手や顔で赤外線がさえぎられている。
・機器の横に立って操作している。
・テレビ・エアコンなどのリモコンを同時に操作している。
・機器の赤外線発信部やレンジフード側の赤外線受信部が汚れて、通信に弊害が生じている。
・赤外線の反射しにくい服(黒い服やビロード、毛糸の服など)を着て操作している。
・レンジフード側の赤外線受信部に太陽光が当たったり、受信部と照明が近すぎる。

頭や手を近づけすぎない　　離れて操作しない

※連動しにくい場合は、レンジフード側の操作部で操作してください。

レンジフード連動機能するときのお願い

・コンロまたはグリルの点火／消火はカウンターから約20～40cm離れ、機器の正面に立って操作してください。
・レンジフードに関する取扱注意および使いかたは、レンジフードの取扱説明書をよくお読みください。

レンジフード連動機能を解除、または設定する場合

・各種設定の変更を参照してください。(55ページ)

コンロを使う準備

鍋の選びかた

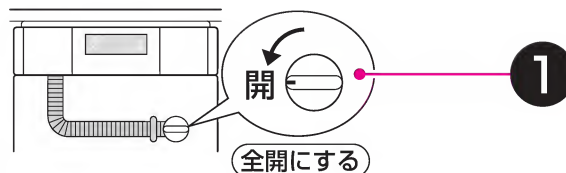
鍋などの種類	煮ものなど	炒めもの 揚げものなど (※6 油の量：200mL以上)	便利機能 揚げものモード ☞31 (油の量：500～1000mL)	便利機能 湯わかしモード ☞33 (水の量：500～2000mL)	便利機能 炊飯モード ☞35 (ごはん：1～5合 おかゆ：0.5～1合)
アルミ製の鍋・文化鍋	○	○	○	○ ※4	○ 深めのもの
ホーロー鍋・ステンレス製の鍋（厚手）（鍋底厚み2mm以上）	○	○	○	○ ※4	○ ※5 深めのもの
ステンレス製の鍋（薄手）（鍋底厚み2mm未満）	○ ※1	×	×	○ ※4	○ ※1 深めのもの
ステンレス製の無水鍋・ステンレス製の多層鍋	○ ※2	○	×	○ ※4	×
鉄製の鍋・中華鍋・フライパン	○	○	○ ※3	×	×
土鍋・圧力鍋・耐熱ガラス容器	○ ※2	×	×	×	×
やかん	―	―	―	○ ※4	―

○：適しています。　×：適していません。（温度を正しく検知しない場合があります。）

※1：焦げつきがきつくなります。
※2：途中消火したり、焦げつく場合があります。
　　左右コンロはあぶり高温炒めモード（39ページ）にすると途中消火せず使用できます。
　　ただし、焦げつき自動消火機能がはたらかないため注意してください。
※3：中華鍋は底の平らな鍋を使用してください。
※4：必ずふたをしてください。
※5：ホーロー鍋の場合、焦げつく場合があります。
※6：揚げものの場合の油の量を示します。

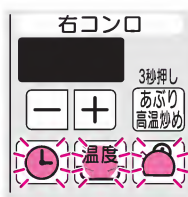
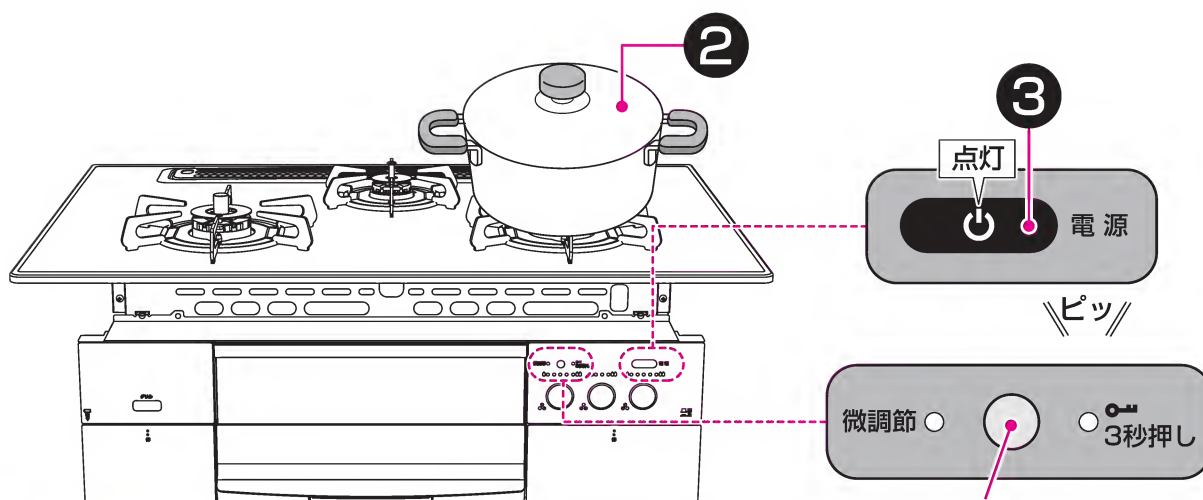
中華鍋を使うときのお願い

・鍋底と温度センサーが密着していることを確かめてから使用してください。
・中華鍋の種類によっては、鍋が安定せず、温度センサーが正しくはたらきません。
・必ず取っ手を持って調理してください。

❶ ガス栓を全開にする

❷ ごとく中央に鍋やフライパンなどを置く

・鍋などをごとくに置いていないと点火しません。(左右コンロのみ)
・点火前に温度センサーが鍋底に密着していることを確認してください。

❸ 電源ボタンを押す

・『ピッ』と音がするまで押す。(約0.3秒)

ロック機能について

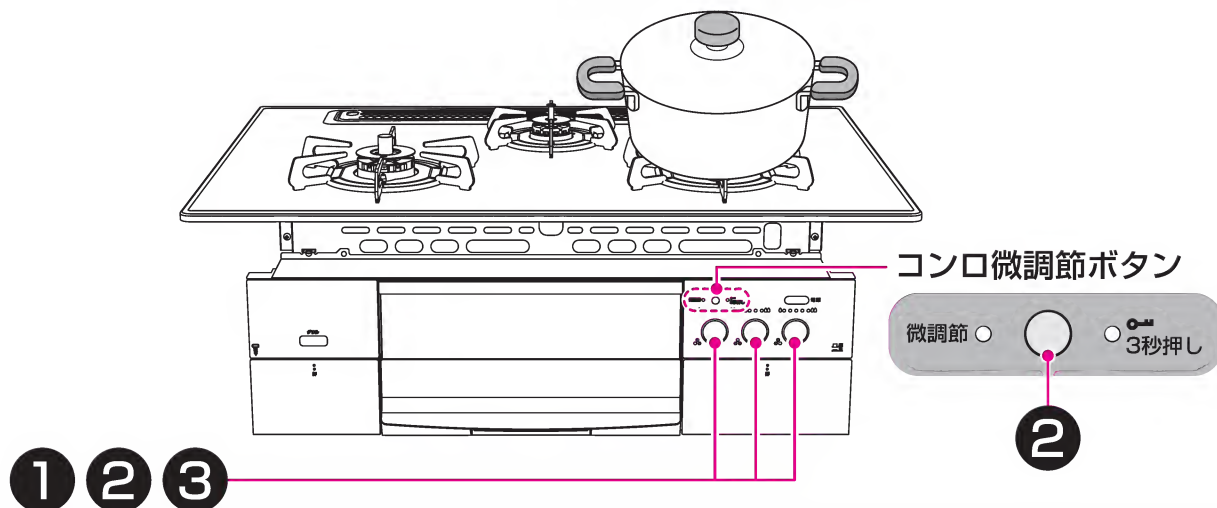
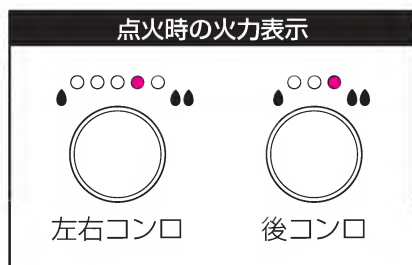
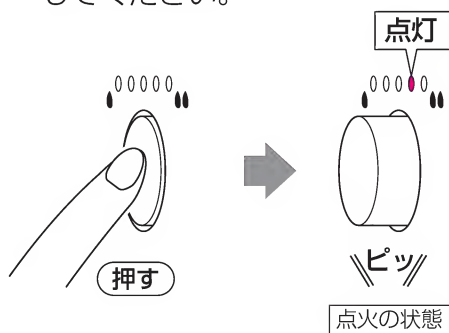
小さなお子さまのいたずらや誤作動を防止するために、操作をロックすることができます。

・電源が入っている状態で使用していないときに、ロック機能ボタンを**3秒以上押す**ことでロックの設定/解除ができます。
※ロック状態で電源を切っても(オートパワーオフしても)、ロックは解除されません。

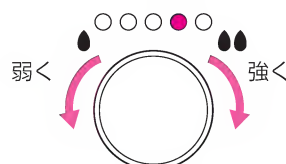
コンロの使いかた（基本操作）

『コンロを使う準備』(25ページ)
をよく読み、準備をする

ごとく中央に鍋などを置く

❶ 点火する

○点火／消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。

※左右コンロは安全のため、火力4で点火します。

❷ 火力調節する

○点火／消火ボタンを左右にゆっくりと回してください。

※点火後、約30分毎にブザー音『ピピピッ』で使用中であることをお知らせします。

○コンロ微調節ボタンを押し、火力調節すると、火力をさらにこまかく調節できます。

コンロ	通常	微調節
左・右	5段階	37段階
後	3段階	19段階

※すべてのコンロが火力微調節状態になります。
※再度、コンロ微調節ボタンを押すと、ブザー音『ピー』でお知らせし、ランプが消灯して、火力微調節状態は取り消されます。
※設定を解除しても消火しません。

調理をするときのコツ

炒めもの(野菜炒めなど)、焼きもの(目玉焼き、ハンバーグなど)をする場合は、1分程度予熱する。

※予熱時間が長すぎたり短すぎたりすると、安全機能がはたらき、弱火になったり消火する場合があります。

きんぴらごぼう・インスタント焼きそばなどは、あぶり高温炒めモードで調理する。(39ページ)

※水分が蒸発しても加熱を続ける料理の場合、焦げつき自動消火機能がはたらき、消火することがあります。

揚げものは揚げものモードで調理する。(31ページ)

※揚げものモードを使わずに多めの油を加熱すると、機器が煮もの調理と判断し、低い温度で自動消火することがあります。

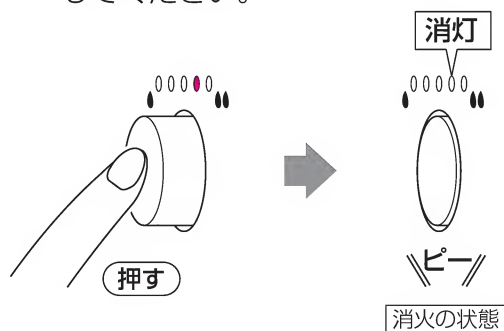
⚠注意

みそ汁やカレー、ミートソースなど、とろみのある料理を煮たり温めたりするときは、火力を弱めにして、よくかき混ぜる

強火で急に温めると、鍋底に沈んだみそやルーなどが突沸現象により突然噴き上がり、鍋がはねあがって**やけどをする原因になります。**(とくにだし入り豆みそ(赤みそなど)のときは注意してください。)

※突沸現象については、13ページを参照してください。

③ 消火する

○点火/消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。

※必ず火が消えたことを確認してください。

ご注意していただきたいこと

鍋などをごとくにのせた状態で、激しく動かさないでください。

トッププレートに**キズがつくおそれがあります。**

お知らせ

約120分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。

※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間を変更することができます。(55ページ)

タイマーモード（左右コンロ）

『コンロを使う準備』(25ページ)
をよく読み、準備をする

❶ 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。

○点火／消火ボタンを左右にゆっくりと回してください。

❷ タイマーを設定する

○タイマーキーを押してください。

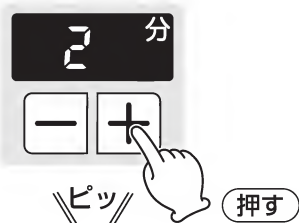
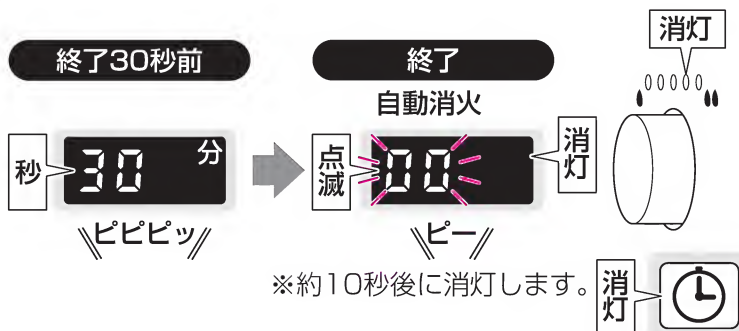
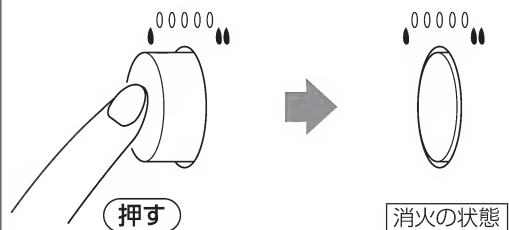
・「＋」か「－」を押すか、約5秒たつと、タイマー表示が点灯に変わり、タイマーがスタートします。
・点火する前にも設定できます。

○取り消すときは、再度、タイマーキーを押してください。

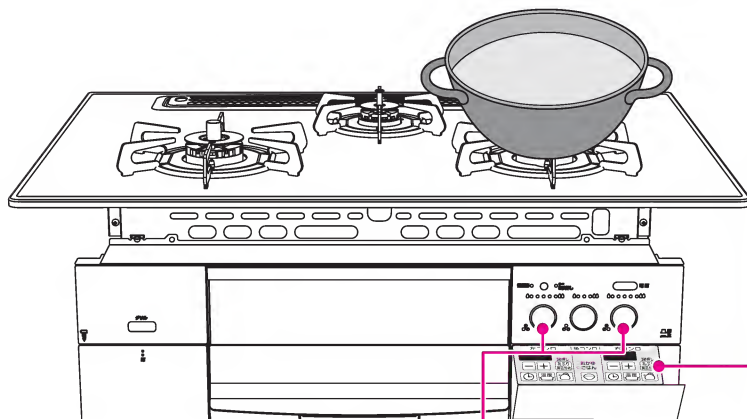
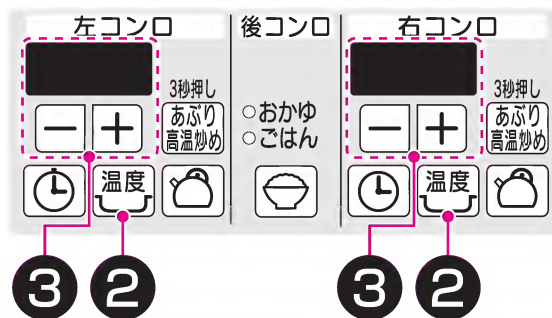
※設定を解除しても消火しません。

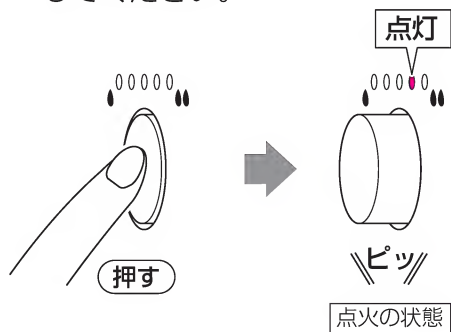
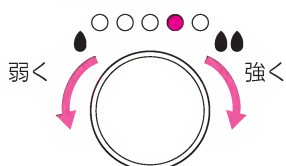
自動で
火が消える

③ 消火の状態に戻す

○タイマーを設定します。（タイマーがスタートします。）

1分刻みで1～99分（最長）に設定できます。
※押し続けると、10分刻みで変わります。
※調理中でも、タイマーの変更は可能です。
※あぶり高温炒めモード使用時は最長60分です。

○点火／消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。

揚げものモード（左右コンロ）

『コンロを使う準備』(25ページ)
をよく読み、準備をする

適した鍋	適した油の量
直径：18〜24cm 材質：鉄、アルミ 種類：天ぷら鍋 中華鍋 （底が平らなもの）	500〜1000mL

❶ 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。

○点火／消火ボタンを左右にゆっくりと回してください。

※火力は鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。
ただし、火力を弱火で使用しますと、機能が正しくはたらきません。

❷ 揚げものを設定する

○着火後すぐに温度キーを押してください。
※最初は180℃に設定されます。

・「＋」か「－」を押すか、約5秒たつと、温度表示が点灯に変わり、数秒後に「℃」表示が点滅に変わります。設定温度になるまで点滅が続きます。
・点火する前にも設定できます。
※使用途中に設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかかり、その間点滅が続きます。

○取り消すときは、再度、温度キーを押してください。

※設定を解除しても消火しません。

ご注意していただきたいこと

・油の温度は天ぷら用鉄製鍋を基準に設定しています。鍋の種類・材質・大きさや厚み、油量などにより、設定温度と異なったり温度変化が大きくなることがあります。
・油の温度が高い状態で温度設定したり途中で油を足すと、設定温度と油の温度が異なることがあります。
・焼きものの焦げの程度は、フライパンの大きさ、材質、調理内容によって異なります。
※弱火から強火に切り替わる瞬間、炎が大きくなりますので注意してください。
※使用途中に設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかかり、その間点滅が続きます。
　複数の揚げものをするときは、温度設定の低いものから調理してください。
※一度に揚げる量は、油の表面積の半分程度にしてください。
※設定温度になっても調理物を入れないと、設定温度より調理油の温度が上昇することがあります。

焼きものにも便利

ハンバーグやギョーザ、ホットケーキなど焦げつきやすい焼きものも、揚げものモードの温度調節を使えば簡単です。ほどよい焦げ色に焼きあげます。

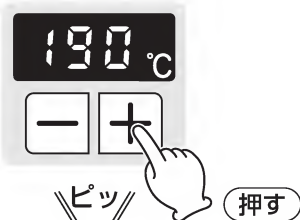
揚げもののコツ

次のような下ごしらえをすると、油の飛び散りをおさえることができます。

・**イカ** 皮をむき、両面に切り目を入れる。	・**ししとう**(中が空洞の野菜など) 切り目を入れる。	・**ドーナツ** 生地には、必ずベーキングパウダーや砂糖を入れる。
・**エビ** 尾は先を切る。	・**うずら**(ゆで卵など) 串などで刺す。	・**魚介類や野菜など** 水分をふき取る。

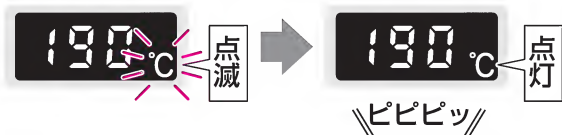
③ 温度を設定し、調理する

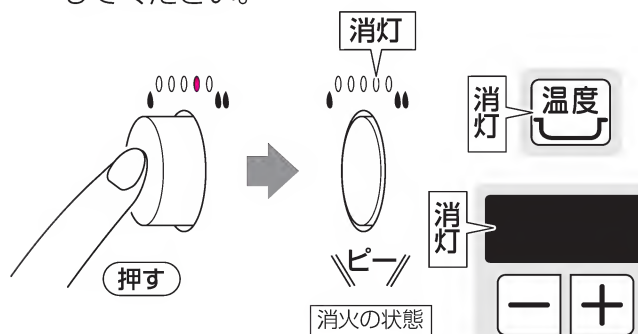
④ 消火する

○温度を設定します。

10℃刻みで140℃～200℃に設定できます。
※調理中でも、温度の変更は可能です。

設定温度のめやす

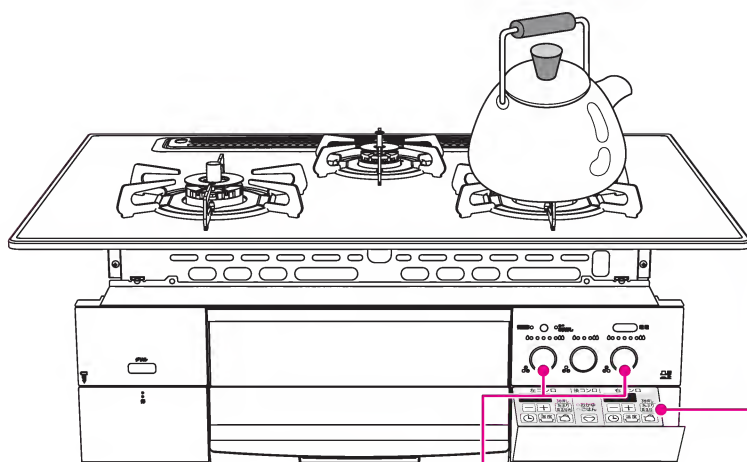
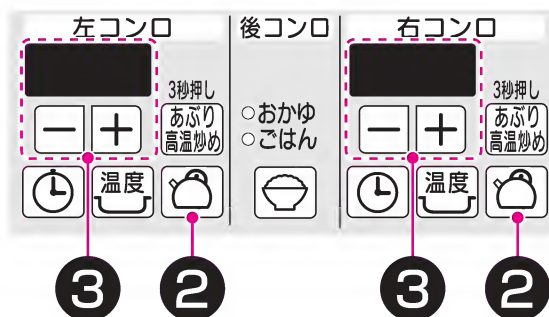
<table>
<tr><th></th><th>160℃</th><th>170℃</th><th>180℃</th><th>190℃</th><th>200℃</th></tr>
<tr><td rowspan="4">揚げもの</td><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">クルトン</td></tr>
<tr><td></td><td></td><td colspan="2">手作りコロッケ</td><td></td></tr>
<tr><td></td><td colspan="3">冷凍食品(コロッケなど)・天ぷら</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="2">ドーナツ・フリッター</td><td></td><td></td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">焼きもの</td><td colspan="3">ギョーザ・お好み焼き</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>ホットケーキ
オムレツ
ハンバーグ</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>

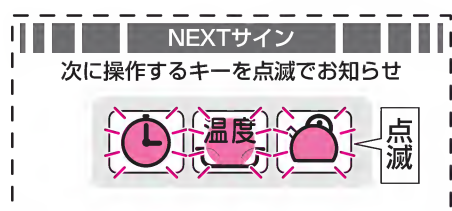
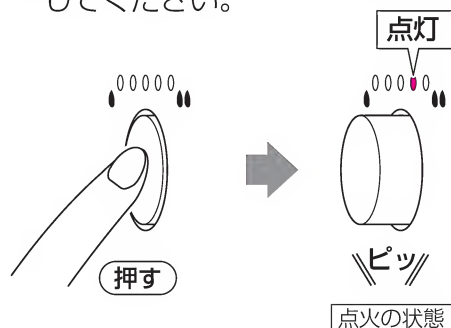
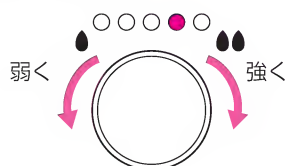
○設定温度になると、「℃」表示が点滅から点灯に変わり、ブザー音『ピピピッ』でお知らせします。調理を始めてください。

・自動的に強火と弱火を繰り返し、設定した温度を保ちます。

○点火／消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。

※必ず火が消えたことを確認してください。

湯わかしモード（左右コンロ）

『コンロを使う準備』(25ページ)をよく読み、準備をする

適した鍋	適した水の量
やかん 底の平らな鍋	500～2000mL ※ふきこぼれを防ぐために、やかんや鍋の大きさに応じた水量（最大容量の6～7割）にしてください。

❶ 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。

○点火／消火ボタンを左右にゆっくりと回してください。

※火力はやかんや鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。
ただし、火力を弱火で使用しますと、ふっとうする前に保温になったり、消火したり、機能が正しくはたらきません。

❷ 湯わかしを設定する

○着火後すぐに湯わかしキーを押してください。

・「＋」か「－」を押すか、約5秒たつと、タイマー表示が点灯に変わります。
・点火する前にも設定できます。

○取り消すときは、再度、湯わかしキーを押してください。

※設定を解除しても消火しません。

ご注意していただきたいこと

・火力はやかんや鍋の径に応じて、炎があふれない程度に調節してください。
・火力を弱火で使用しますと、ふっとうする前に保温になったり、消火したりします。
・お湯から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから消火や弱火になるまで時間を要する場合や、ふっとうする前に消火する場合があります。
・やかんや鍋の材質、水の量、形状などにより消火や弱火になるタイミングが異なる場合があります。
※水の量が多すぎるとふきこぼれる場合がありますので、やけどなどに注意してください。

湯わかしするときのお願い

・やかんや鍋にふたをする
・やかんや鍋のふたの開閉はしない
・やかんや鍋を動かさない
・水をかき混ぜない
・途中で水を入れたり具を入れない
・途中で火力を変えない

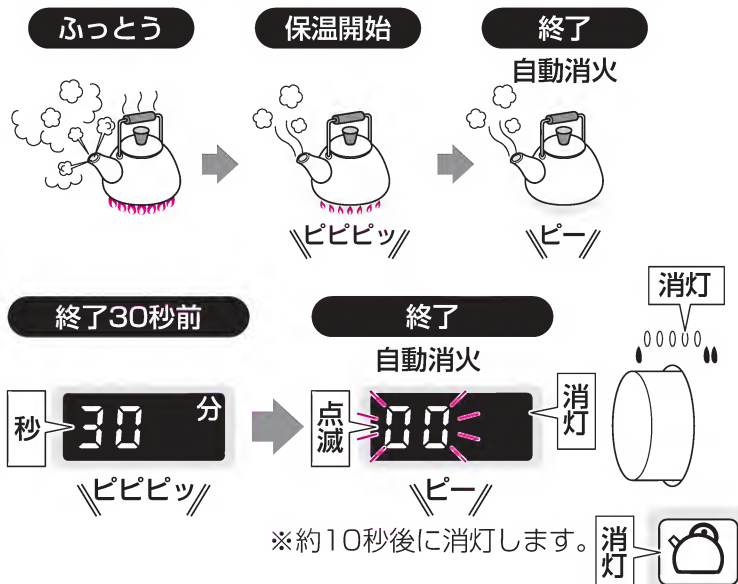
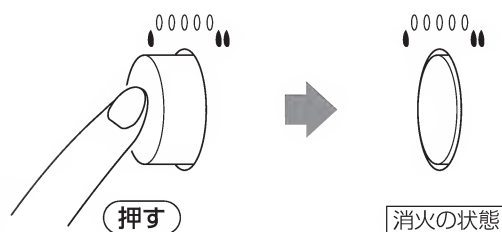
③ 保温時間を設定する

自動で火が消える

④ 消火の状態に戻す

○保温時間を設定します。

1分刻みで0（保温なし）～99分（最長）に設定できます。
※0分に設定した場合、分表示は、消灯します。
※タイマー設定のしかたは、29ページを参照してください。

○ふっとう後、保温開始するとタイマーがスタートします。

○点火／消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。

炊飯モード（後コンロ） 下準備

① お米を正確にはかる

・計量カップやはかりで、炊飯したいお米の量を正しくはかる。

1回で炊ける量

ごはん	1～5合
炊き込みごはん	1～4合
おかゆ	0.5～1合

例）180mLの計量カップ

② お米をとぐ

・たっぷりの水でさっとかき混ぜ、水を素早く捨てる。

・一度目のとぎ水はすぐに流す。
※ぬかを含んだ最初のとぎ水を、乾いたお米が吸わないようにしてください。

・「とぐ→洗い流す」を素早く数回繰り返す。
※といだあとのお米は、よく水を切ってください。
※お米をとぎ足りない場合は、においや着色および、ふきこぼれの原因になり、炊飯がうまくできない場合があります。

③ お米に水を含ませる

お米と水の量のめやす

・ごはんのかたさを調節するときは、水量で調節する。
※増減する水量のめやすは、±10%程度にしてください。
※炊きあがりはお米の種類や質、鍋の種類や水温などによって異なりますので、お好みに応じて加減してください。

ごはん

お米の量	水の量
1.0合(150g)(180mL)	約300mL
1.5合(225g)(270mL)	約400mL
2.0合(300g)(360mL)	約500mL
2.5合(375g)(450mL)	約600mL
3.0合(450g)(540mL)	約700mL
3.5合(525g)(630mL)	約800mL
4.0合(600g)(720mL)	約900mL
4.5合(675g)(810mL)	約1000mL
5.0合(750g)(900mL)	約1100mL

※炊きこみごはんの場合は、ごはんに比べ約1割増の水の量(調味料、だしを含む)とし、具はお米の上にのせて炊いてください。

おかゆ

お米の量	水の量
0.5合(75g)(90mL)	約700mL
1.0合(150g)(180mL)	約1000mL

※おかゆは七分がゆ程度の炊きあがりです。

お米を水に浸す時間

・洗米したあと必ず30分以上、水に浸す。(冬場は1時間程度)
※といだあと、すぐに炊飯をするとごはんがかためになります。
※ごはんに芯が残るので、お湯を使わないでください。
※一度水に浸したお米は砕けやすくなり、砕け米が混じることがあります。
　砕け米・粉米などが混ざった状態で炊飯すると、炊きムラや焦げの原因になります。

無洗米を炊くときのコツ

- **1〜2回すすぐ。**

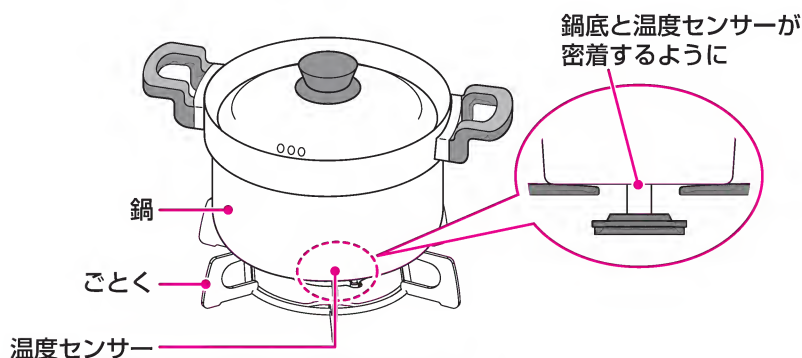
※にごったまま炊飯すると、でんぷん質が沈殿し、上手に炊けない原因になります。

- **洗米したあと必ず30分以上、水に浸す。(冬場は1時間程度)**
- **水の量を3%程度多くする。または、無洗米専用の計量カップを使う。**
- **よく混ぜて気泡をとばす。**

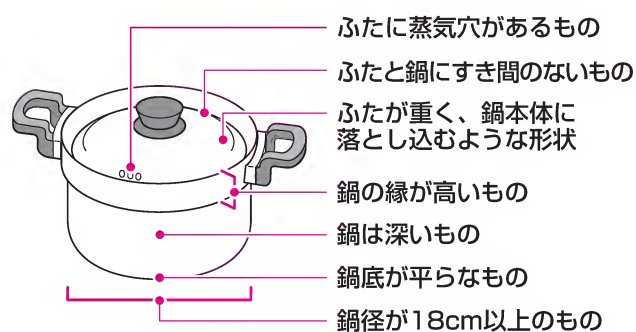
※水を加えただけでは、表面に気泡ができ、水が吸収されず上手に炊けない原因になります。

④ 鍋をセットする

- **水に浸した状態のお米が入っている鍋を、正しくごとくに置く。**

※温度センサーの上面や、鍋底に異物がないことを確認し、鍋底の中心が温度センサーに密着するように正しくセットしてください。

炊飯モードに適した鍋

- **おいしく炊くために、炊飯に適した鍋を選ぶ。**

※市販の炊飯鍋などでも炊くことができます。

※ふたに蒸気穴がない場合や、鍋の材質・形状によっては焦げつきや、ふきこぼれなどを起こし、うまく炊けない場合があります。
このような場合は、別売の炊飯専用鍋を使用してください。

炊飯専用鍋も別売しています。(73ページ)

※別売の炊飯専用鍋のお求めは、お買い上げの販売店または、弊社(裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

炊飯モードに適した鍋	炊飯モード (ごはん：1〜5合 おかゆ：0.5〜1合)
炊飯専用鍋(別売)	○
アルミ製の鍋・文化鍋	○ 深めのもの
ホーロー鍋・ステンレス製の鍋(厚手)(鍋底厚み2mm以上)	○ ※1 深めのもの
ステンレス製の鍋(薄手)(鍋底厚み2mm未満)	○ ※2 深めのもの
ステンレス製の無水鍋・ステンレス製の多層鍋	×
土鍋・圧力鍋・耐熱ガラス容器	×

○：適しています。
×：適していません。(温度を正しく検知しない場合があります。)

※1：ホーロー鍋の場合、焦げつく場合があります。
※2：焦げつきがきつくなります。

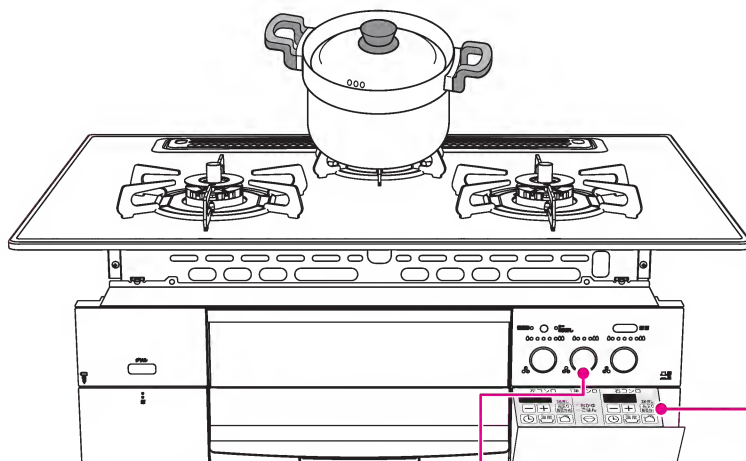
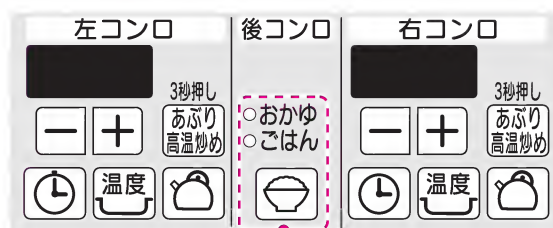
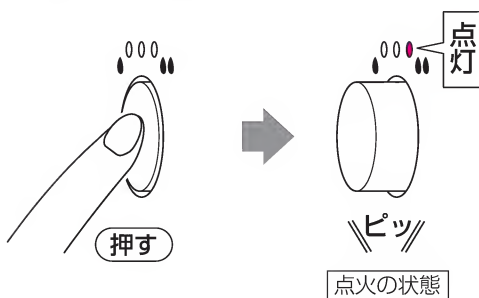
炊飯モード（後コンロ）

『コンロを使う準備』(25ページ)
『炊飯モード 下準備 』(35ページ)
をよく読み、準備をする

❶ 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。

❷ 炊飯を設定する

ごはん

○着火後すぐにごはんを設定します。

○押すたびに、次のように切り替わります。

・点火する前にも設定できます。
※設定を解除しても消火しません。

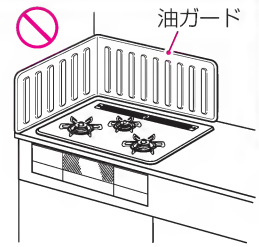
おかゆ

○着火後すぐにおかゆを設定します。

○押すたびに、次のように切り替わります。

・点火する前にも設定できます。
※設定を解除しても消火しません。

ご注意していただきたいこと

・機器を囲う油ガードなどを設置すると排気の流れが変わるため、燃焼不良となり、炊きムラなどの原因になります。炊飯時は油ガードなどを取り除いてください。
・炊飯途中で、水をたしたり、鍋のふたを開けたりしないでください。また、炊飯の途中で炊飯モードを切り替えたり、他のキーやボタンを押さないでください。うまく炊けない場合があります。
・ごはんの場合は、消火後むらし(約10分)を必要とします。むらしをしないとうまく炊きあがりません。
・炊きこみごはんの場合は、具をお米の上にのせて炊いてください。

おかゆについて

おかゆモードはお米からおかゆをつくる機能です。

※ごはんからおかゆをつくる場合は、炊飯モードを使用しないで、下記を参考に手動で調理してください。
※おかゆの味付けは、自動消火してから行ってください。最初から、または炊飯途中に調味料や具を入れると、うまく炊けない場合があります。

ごはんからおかゆの炊きかた(2人分(茶わん約2杯分：300g)の例)
(1) 冷やごはんはザルに入れ、流水でサッと洗ってほぐす。(ぬめりをとります。)
(2) 鍋に水(4カップ強)とごはんを入れ強火で炊く。
(3) 煮立ったらアクを取り、弱火で10〜15分炊く。
(4) 消火し、好みに応じて塩を少々加え、数回かき混ぜてできあがり。

③ 消火の状態に戻す

炊飯時間：約20〜30分

ごはんむらし時間：約10分

※むらし中に点火／消火ボタンを戻すと、むらし終了のお知らせブザー音が鳴りません。

炊飯時間：約40〜50分

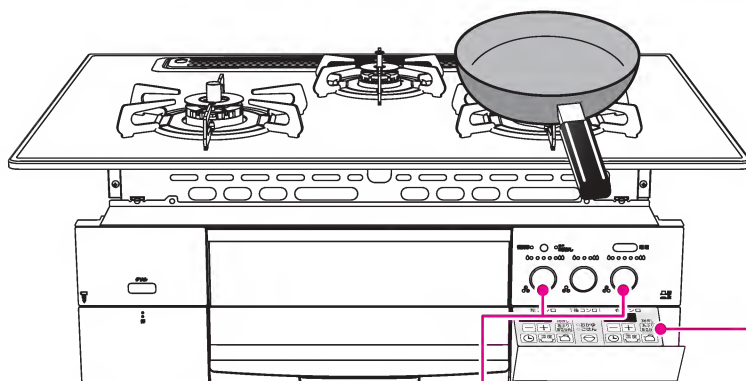
○点火／消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。

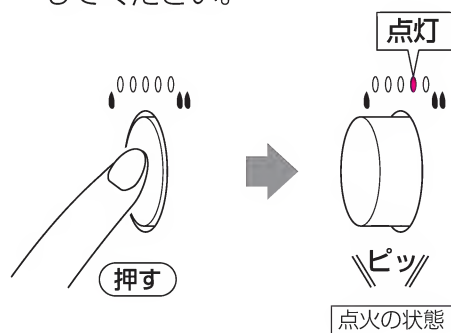
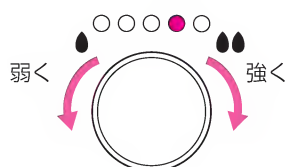
※ごはんの場合は、むらし後、ごはんをほぐしながら底からよくかき混ぜてください。
余分な水分が逃げ、ごはんがおいしくなります。

あぶり高温炒めモード（左右コンロ）

・直火料理（あぶりもの）、いりもの、炒めもの（鍋をひんぱんに上げる料理）をする場合などは、あぶり高温炒めモードをお使いください。

『コンロを使う準備』（25ページ）をよく読み、準備をする

ごとく中央にフライパンなどを置く

❶ 点火し、火力調節する

○点火／消火ボタンを押し、点火の状態にしてください。

○点火／消火ボタンを左右にゆっくりと回してください。

❷ あぶり高温炒めを設定する

○あぶり高温炒めキーを3秒以上押してください。（押している間は点滅します。）

・点火する前にも設定できます。

○取り消すときは、再度、あぶり高温炒めキーを押してください。

※設定を解除しても消火しません。

あぶり高温炒めモードとは

通常時より高い温度まで調理できる機能です。あぶり高温炒めモードを使用しても、鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。
※あぶり高温炒めモードを使用すると、天ぷら油過熱防止機能、焦げつき自動消火機能は作動しません。

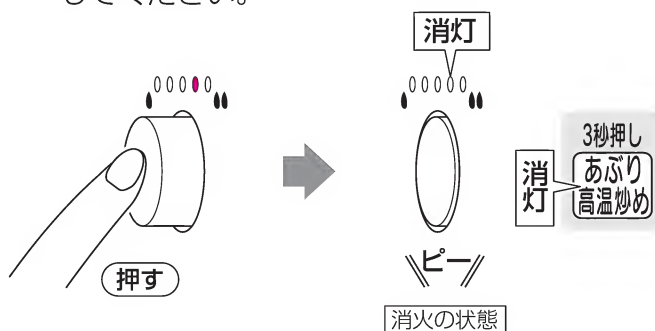
⚠警告

あぶり高温炒めモードを使用するときは、揚げものなどの調理はしない
天ぷら油過熱防止機能が作動せず、調理油が**発火し、火災の原因になります。**

⚠注意

直火料理(あぶりもの)をする場合は、温度センサーの真上を避ける
温度センサー上に焼き汁などが滴下しないよう、温度センサーの真上は避けて調理してください。
温度センサーが汚れると、鍋底の温度を正しく検知できず、**発火や途中消火、機器焼損の原因になります。**
また、焼き汁の滴下量や位置により、温度センサーの**故障の原因になります。**

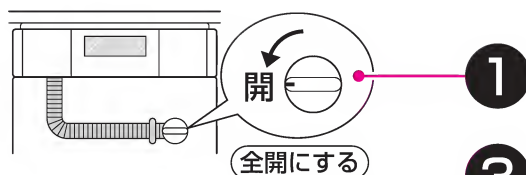
③ 消火する

○点火／消火ボタンを押し、消火の状態にしてください。

※必ず火が消えたことを確認してください。

お知らせ

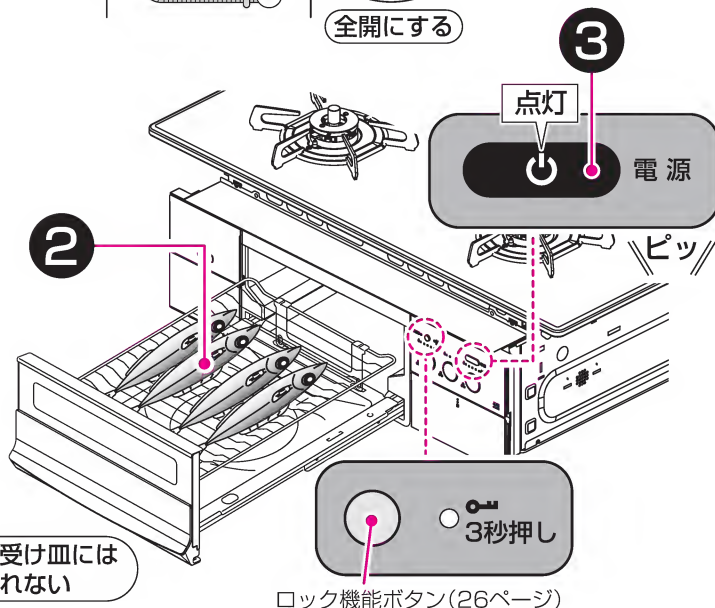
約60分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※あぶり高温炒めモードを取り消して、さらに使用する場合は、点火してから約120分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。
※コンロ消し忘れ消火機能の設定時間は、変更することができます。(55ページ)

グリルを使う準備

❶ ガス栓を全開にする

❷ 調理物を入れて、グリルとびらを閉める

❸ 電源ボタンを押す

・『ピッ』と音がするまで押す。(約0.3秒)

⚠注意

グリルとびらを開けた状態でグリルを点火しない
炎や熱で、**やけどのおそれがあります。**

お知らせ

電源を入れたり、点火操作をすると、操作部の点滅によるサイン機能を搭載しています。

Welcomeサイン機能

・電源を入れると、操作できる操作部の設定キーが全て点滅して、お知らせします。

NEXTサイン機能

・次に操作するキーを点滅でお知らせし、操作性を向上させるナビゲーション機能です。

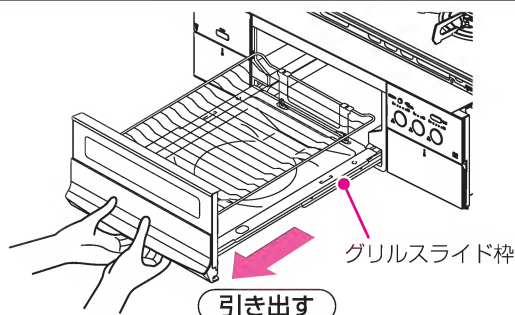
※NEXTサイン機能を解除、または設定する場合は、各種設定の変更を参照してください。(55ページ)

グリルの開けかた

グリルスライド枠は取り外せません

・グリルとびらを水平にゆっくりと手前に止まるまで引き出す。

※グリル焼網、グリル受け皿、グリルとびら、サイドカバーの取り外しかたは、59ページを参照してください。

グリルスライド枠
引き出す

お知らせ

・グリル受け皿をキズつけないように、気をつけてください。キズがつくと、表面に施されたクリアコートがはがれる原因になります。

はじめてグリルを使うとき

・梱包部材が入っていないか確認してください。
・グリル庫内の金属部品に残った加工油を焼き切るため、グリル焼網を取り出し、グリルとびらを閉め、強火(上火：「強」、下火：「強」)で約8分空焼きしてください。煙やにおいが出る場合がありますが、異常ではありません。
空焼きしているときに、グリル過熱防止センサーが作動し、自動消火する場合があります。
消火した場合(タイマー表示部「02⇔_5」点滅表示)は、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。

お知らせ

・グリル焼網、グリル受け皿は消耗部品です。ご使用状態や経年変化などにより、魚や脂汚れがとれにくくなったり、コーティングがはがれる場合があります。交換部品(有料)として準備しております。(72ページ)
お買い上げの販売店または、弊社(裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

食材の準備

魚の下ごしらえ

・冷凍の魚は、しっかりと解凍する。
・冷蔵の魚は、常温でしばらくおく。
※しっかりと解凍したり、常温にしておかないと、調理時間がかかり、生焼けになったり、安全機能がはたらく場合があります。
・生魚は、水洗いしたあと、水気をよくふき取る。
・みそ漬けや、かす漬けの魚は、みそやかすをよくふき取る。

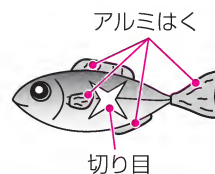
魚以外の下ごしらえ

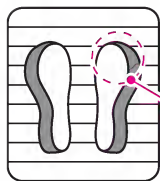
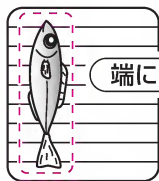
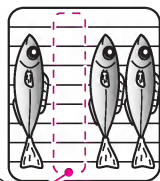
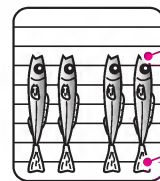
・なすや、ししとうなどの野菜は、表面に切り目を入れる。
・鶏肉など、脂の多い食材は、フォークなどで皮に穴を開け、皮を上にして焼く。
※切り目や穴を開けずに焼いた場合、食材に火がついて、庫内で**発火するおそれがあります。**

塩焼きの下ごしらえ

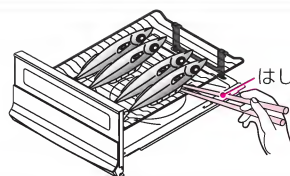
材料にあった塩加減(魚の重量の2%程度)が必要です。塩をつけると、身がしまって身崩れしにくくなります。身の厚いところには厚く、薄いところには薄くつけます。
・さばやいわしなど脂肪分の多い背の青い魚は、多めに塩をして、おき時間は長めにする。
・白身魚は、少なめに塩をして、おき時間は短めにする。
・川魚や、いか、えび、貝などは、焼く直前に塩をふる。

姿焼きなどの場合

・尾やヒレはとくに焦げやすいので、多めに塩をつけたり、アルミはくで包む。
・切り目を入れる。
※切り目を入れると、火の通りがよくなり、皮が破れることによる脂の飛び散りも少なくすることができます。

魚を焼くときは

・魚は身の厚い部分や、頭を奥にして置いてください。

・魚を1尾だけ焼く場合は、左右どちらか端に置いてください。

・魚を3尾以上焼く場合は、まん中を避けて、左右どちらかに寄せて置いてください。

・ししゃもなどの小さな魚は、尾が焦げやすいのでグリル焼網の手前側に置いてください。

魚を取るときのコツ

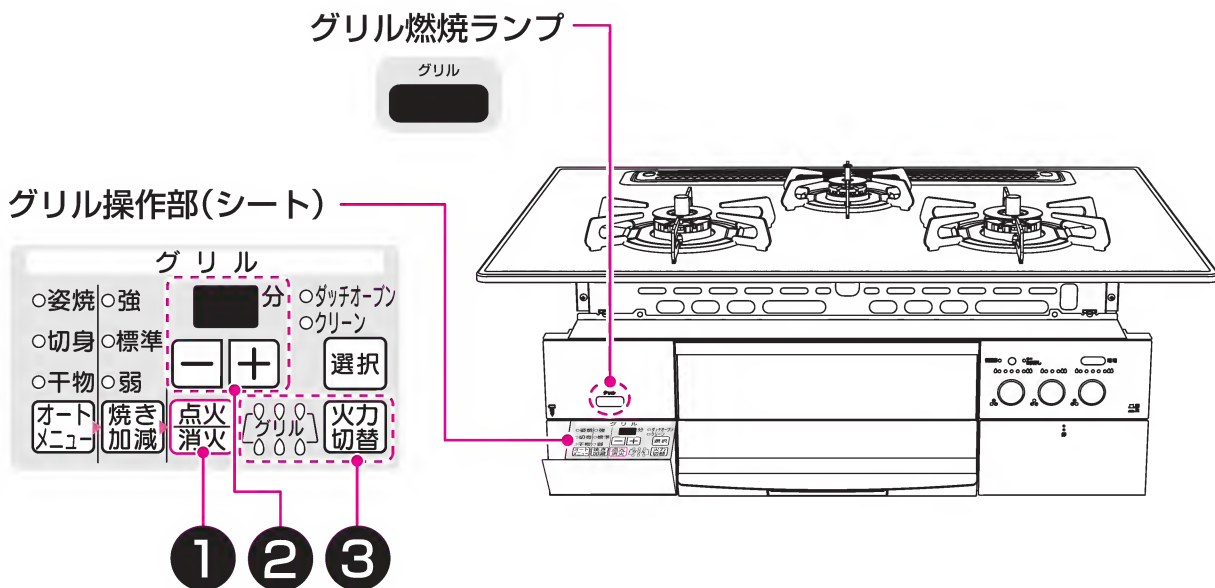
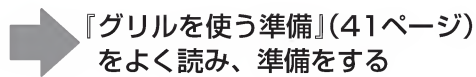
・はしをグリル焼網と平行に入れると、グリル焼網に付着した魚がはがしやすくなります。

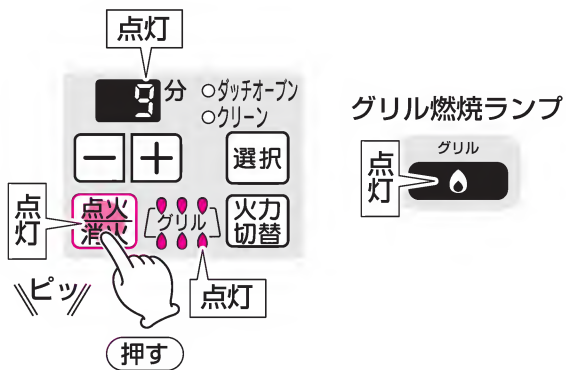
⚠警告

グリル排気口の上に、ふきんやタオルなどをのせたり、ふさがない
グリル排気口の周りには、ものを置かない
火災や不完全燃焼の原因になります。

⚠注意

調理物を取るときなどは、必ず消火し、グリル部周辺に触れない
とくにグリルとびらなどが熱くなっており、**やけどの原因になります。**

グリルの使いかた（マニュアルグリル）

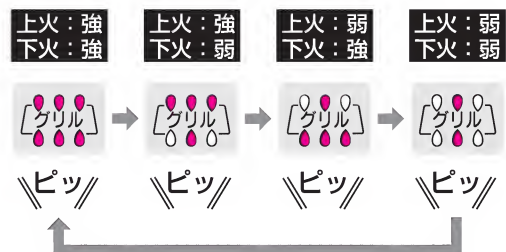
『グリルを使う準備』（41ページ）
をよく読み、準備をする

① 点火する

○点火／消火キーを押し、点火してください。

○着火すると、自動的にグリルタイマーがスタートします。

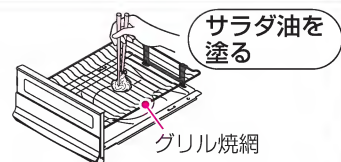
※グリル庫内の温度に応じて、6～9分を自動的に設定します。（設定は変更できます。）
※グリルタイマーは安全のため、解除できません。

② 火力調節する

○火力調節をします。

○押すたびに、次のように切り替わります。

形くずれを防止するコツ

2分程度予熱後、一旦消火してから、グリル焼網にサラダ油を塗ってください。その後、魚をグリル焼網にのせて再度点火し、火力を調節してタイマーを設定してください。（詳しくは付属のクッキングブックをご覧ください。）

⚠警告

鶏肉などの脂の多い食材を調理するときは、上下の火力を『弱』にして焼くようにする
グリル受け皿にたまった脂に引火し、火災のおそれがあります。

⚠注意

焼きすぎに注意する
魚に火がつき火災の原因になります。
グリル庫内で魚などが燃えたり、たまった脂に引火した場合は、すぐに点火／消火キーを押して消火してください。

ご注意していただきたいこと

- 連続の使用などでグリル庫内が高温になると、安全のため消火します。
  グリル過熱防止センサーがはたらいて消火した場合（タイマー表示部「02⇔_5」点滅表示）は、しばらく（約3分）待ってから再度点火してください。
- 脂の多い魚を焼いているときは、煙が多く出る場合があります。

次の魚は、とくに焼きすぎに注意してください。

- **干物や、脂分の多い魚（にしん・塩さばなど）**
  発火しやすいので、調理中は、グリル庫内の状態に十分注意してください。
- **小魚の干物（めざし・うるめなど）**
  焼き時間のめやすは2〜3分です。（グリル庫内の温度が高い場合は1分程度。）

焼きすぎた場合、魚やたまった脂が燃えて、**火災のおそれや機器焼損の原因になります。**

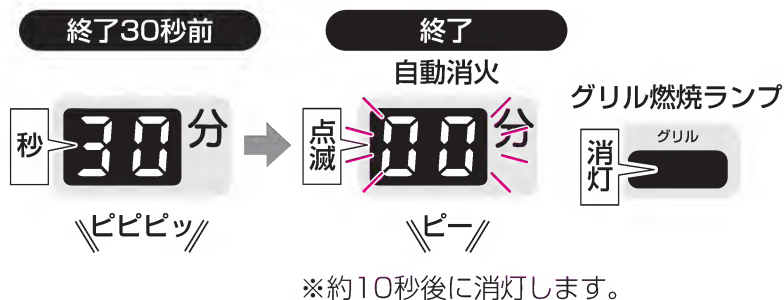
❸ タイマーを設定する

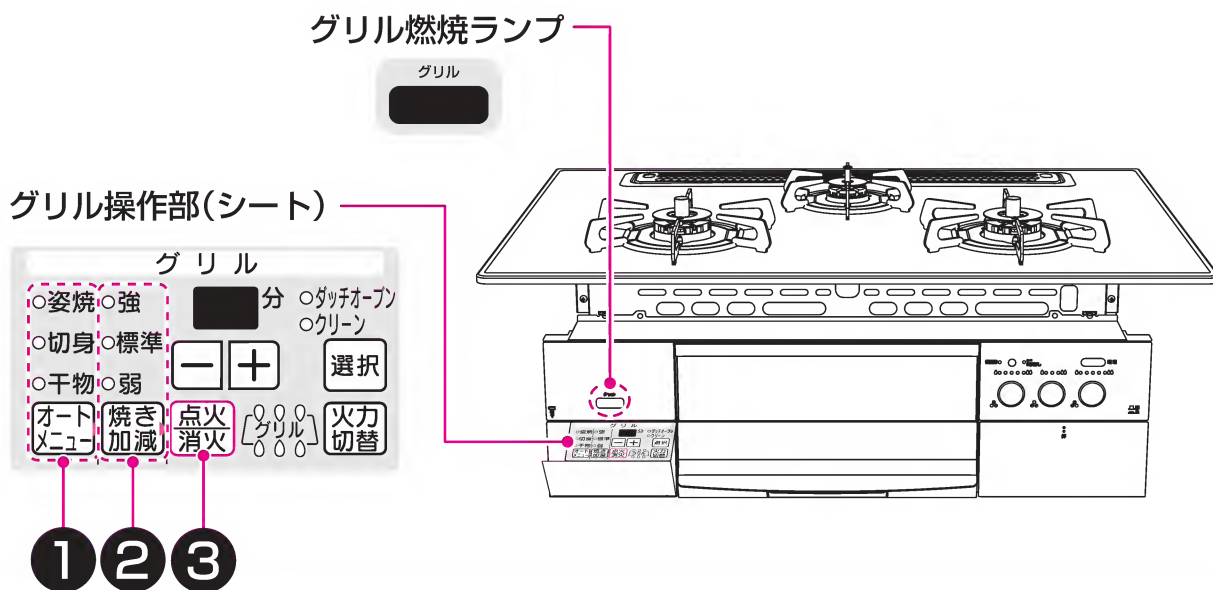
自動で火が消える

○タイマーを設定します。

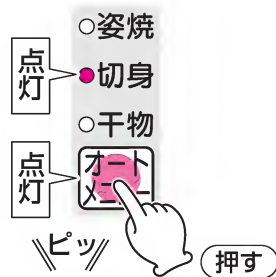
1分刻みで1〜18分（最長）に設定できます。
※調理中でも、タイマーの変更は可能です。
※連続使用可能時間は18分です。

終了30秒前　　終了

※約10秒後に消灯します。

グリルの使いかた（オートグリルモード）①

『グリルを使う準備』（41ページ）をよく読み、準備をする

❶ メニューを設定する

○オートメニューキーを押し、メニューを設定します。

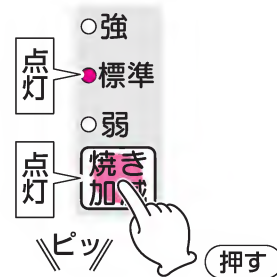
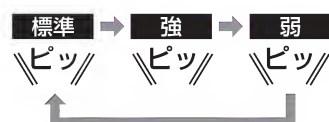
※最初は『切身』に設定されます。

○押すたびに、次のように切り替わります。

❷ 焼き加減を設定する

○焼き加減キーを押し、焼き加減を設定します。

※最初は『標準』に設定されます。

○押すたびに、次のように切り替わります。

⚠注意

・**魚などの焼けかたが浅い場合や、焼き足したい場合はマニュアルグリル(43ページ)で焼く**
その場合、設定時間を短くして焼きすぎに注意してください。
焼きすぎた場合、調理物の脂が燃えて、**火災のおそれや機器焼損の原因になります。**

・**みりん干し・めざし・市販のみりんづけ・うるめいわしの丸干し・身欠きにしんは、マニュアルグリルで焼き、オートグリルモードを使用しない**
発火のおそれがあります。

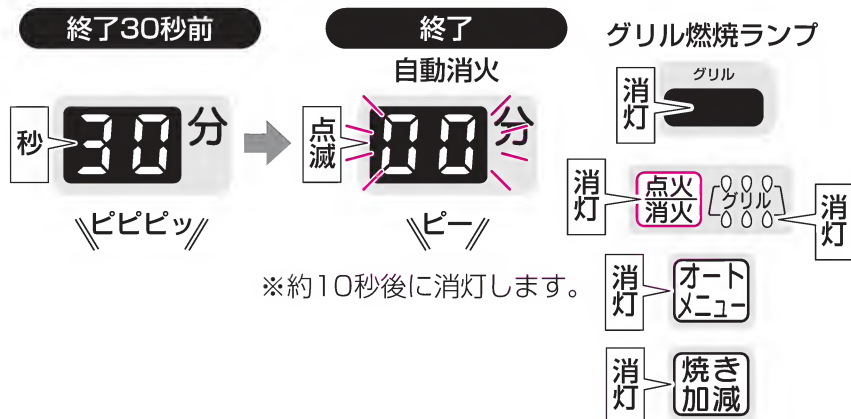
使いかたのお願い

機器が正しい調理時間を予測するため、下記のことをお守りください。
・オートメニューは魚専用です。魚以外は、マニュアルグリルで焼いてください。
・予熱しないで使用してください。
・オートグリル使用中は、グリルとびらを開けないでください。
・種類や大きさの異なる魚を同時に焼かないでください。
連続して調理するときなど、グリル庫内の温度が高い場合は、オートグリルモードを受けつけない場合があります。
オートメニューキーを押すとブザー音『ピピー』と、タイマー表示部『H』(点滅)でお知らせします。
しばらく(約3分)待ってから使用してください。
※すぐに使用したい場合は、マニュアルグリル(43ページ)で様子を見ながら焼いてください。
調理終了のお知らせ後、すぐに調理物を取り出してください。
・余熱で焦げることがあります。

③ 点火する

自動で火が消える

○点火／消火キーを押し、点火してください。

・点火すると機器が調理時間を予測し、時間(分)が表示されるまで、グリルタイマー表示のドットが点滅します。
※自動機能のためグリルタイマー時間の変更はできません。
また、自動的に火力を切り替えます。

※約10秒後に消灯します。

グリルの使いかた（オートグリルモード）

魚の種類や大きさなどにより、オートメニューと焼き加減を選んでください。

オートメニュー	焼き加減 弱	焼き加減 標　準	焼き加減 強
姿焼	※さんま 1～5尾（1尾 180g以下）	※さんま 1～5尾（1尾 180g以上） ※あじ 1～5尾（1尾 200g以下） 鯛 1尾（1尾 250g以下）	※あじ 1～5尾（1尾 200g以上） 鯛 1尾（1尾 250g以上）
切身	ぶり照り焼き 1～6切（1切 80g程度） さわらみそ漬け 1～6切（1切 80g程度）	さば切身 1～6切（1切 80g程度） 鮭切身 1～6切（1切 80g程度）	さば切身 1～2切（1切 150g程度） 太刀魚 1～6切（1切 80g程度）
干物	ししゃも 約10尾 さんま開き 1～2枚（1枚 100g程度）	あじ開き 1～4枚（1枚 70g程度） 干しかれい 1～2枚（1枚 120g程度） ほっけ開き 1～2枚（1枚 180g以下）	ほっけ開き 1～2枚（1枚 180g以上）

※：さんま、あじを5尾焼くと、中央の魚（裏面）の焼き加減が浅くなります。
　　1～4尾で焼くことをおすすめします。

魚の置きかた	ポイント

魚の置きかた

頭を奥に

手前側

手前側

1尾の場合
端に置く

2尾の場合
均等に置く

手前側

3尾以上の場合、中央の魚（裏面）の焼き加減が浅くなるため、中央をあけ、左右どちらかに寄せて置く

皮面を上向きに

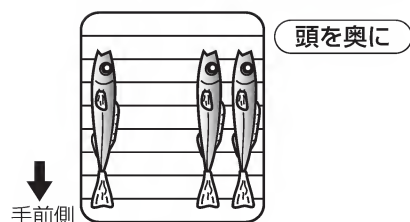
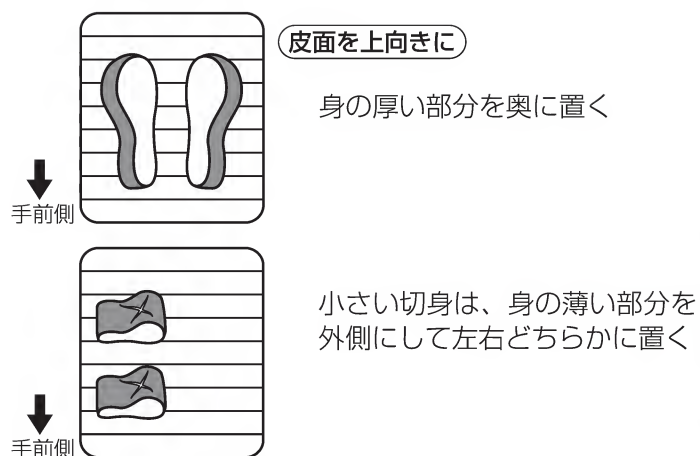
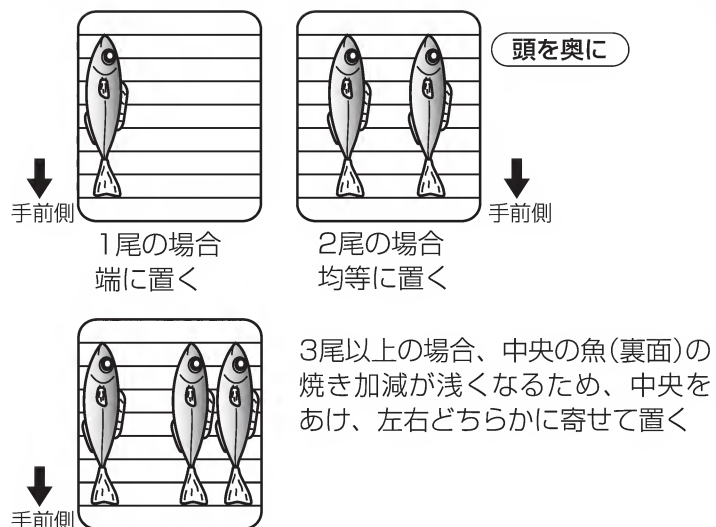
手前側

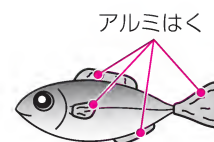
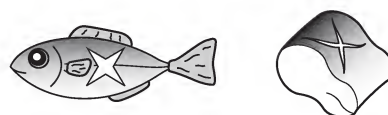
身の厚い部分を奥に置く

手前側

小さい切身は、身の薄い部分を外側にして左右どちらかに置く

頭を奥に

手前側

ポイント

尾・ヒレをきれいに焼く
- 多めに塩をつける
- アルミはくで包む

火通りをよくする
- 皮面に切り目を入れる

みそ漬け・照り焼きをきれいに焼く
- 表面のみそ漬けタレを十分にふき取り、焼き加減を弱めで調理する

ご注意していただきたいこと

- 干物は乾燥しているほど焼けやすくなっています。
- 脂のりがよい場合は焦げやすくなります。

厚みのある魚の場合のお願い

- 厚みのある魚など（切身 2.5cm、姿 4cmを超えるもの）は中まで火が通りにくいので、マニュアルグリル（43ページ）で様子を見ながら焼いてください。

ダッチオーブンモード **ダッチオーブンのセット方法**

ダッチオーブンは必ず専用のダッチオーブンを使用してください。

※ダッチオーブンが付属されていない機器(品名コードの末尾が○○STE、○○STES)をご購入のお客さまは別売のダッチオーブンセットをお買い求めください。(73ページ)
別売のダッチオーブンセットのお求めは、お買い上げの販売店または、弊社(裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

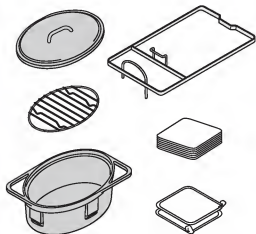
ダッチオーブンでできる料理の例

豚肉のロースト　ローズマリー風味

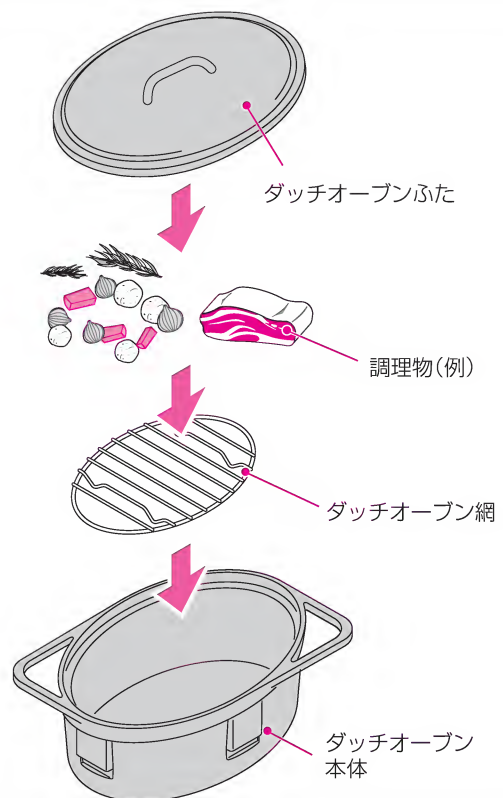
スペアリブ

調理物のセット

ダッチオーブン

専用のダッチオーブンセットを別売しています
(DP0127：73ページ)

①ダッチオーブン網を図のように足が下向きになるように、ダッチオーブン本体にセットする。
(料理の種類によって、セットしない場合もあります。)

②調理物をダッチオーブン網の上にのせる。

③ダッチオーブンふたをダッチオーブンにセットする。

※ダッチオーブンはホーロー加工されているのでシーズニング(油をなじませること)は不要です。

ダッチオーブン本体のセット

ダッチオーブンは必ずダッチオーブン支持枠の上に正しくセットして使用してください。

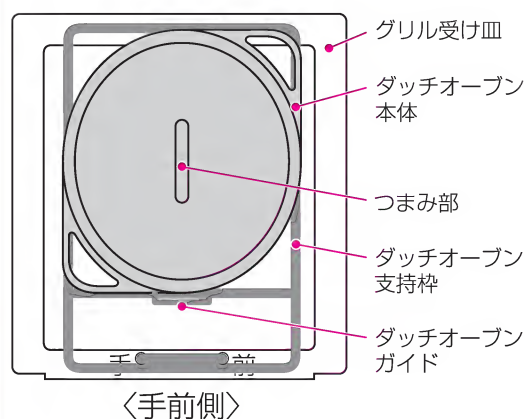
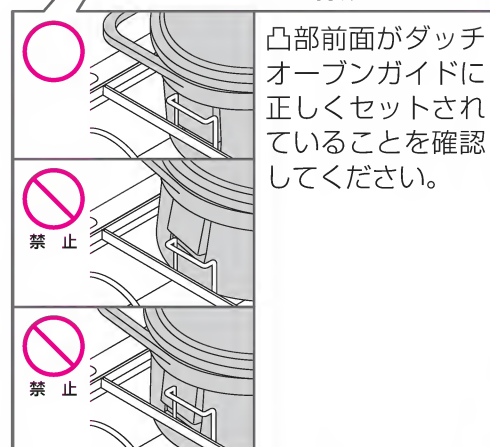
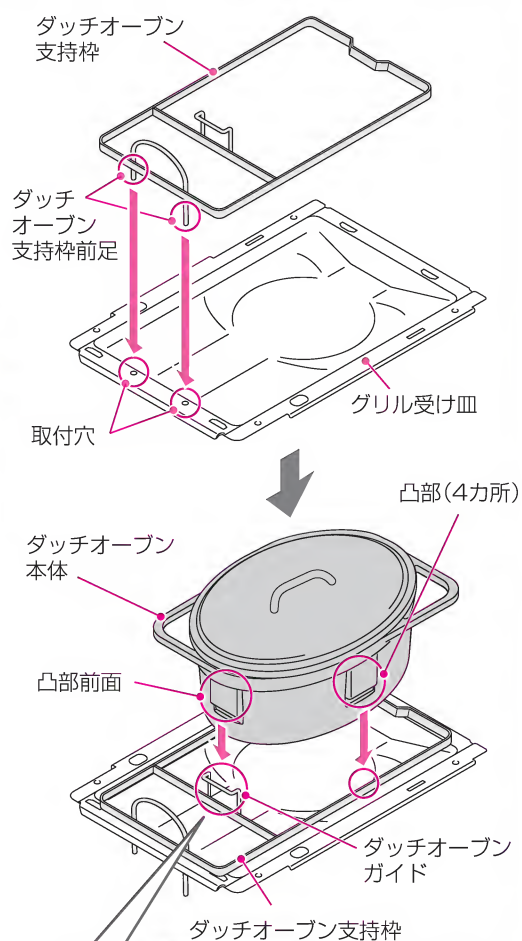
①ダッチオーブン支持枠前足を、グリル受け皿の取付穴に差し込む。
※ダッチオーブン支持枠前足の右側は長くなっています。

②ダッチオーブン本体の凸部4カ所を、ダッチオーブン支持枠にのせる。

⚠注意

ダッチオーブン本体の凸部前面を図のようにダッチオーブンガイドにセットする
正しくセットしないと、ダッチオーブン本体が傾いたり、ダッチオーブン本体を取り出す際にダッチオーブン支持枠が外れず、持ち上がる場合があります。
また、ダッチオーブン支持枠が途中で外れた場合、**落下し、やけどやけがのおそれがあります。また、床をキズつけたりするおそれがあります。**

※ダッチオーブンふたのつまみ部が、図のようにまっすぐになるようにセットしてください。

〈手前側〉

※イラストはわかりやすくするために、グリルとびらを外したイラストになっています。

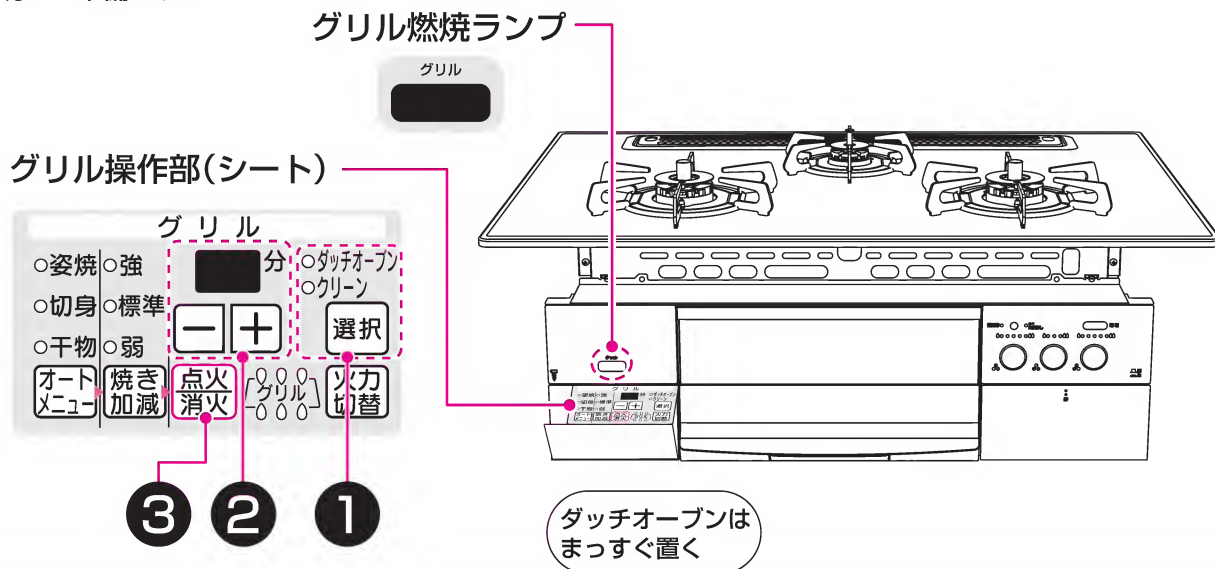
ダッチオーブンに関するお願い

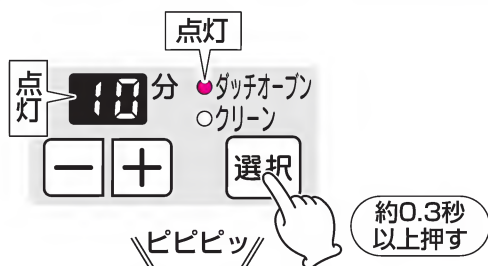
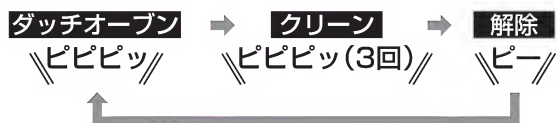
ダッチオーブンを使用する場合は、必ずダッチオーブン支持枠を使用してください。
(ダッチオーブンを直接グリル受け皿にのせると、グリル受け皿にキズがつきグリル受け皿のコーティング(クリアコート)がはがれる原因となります。)

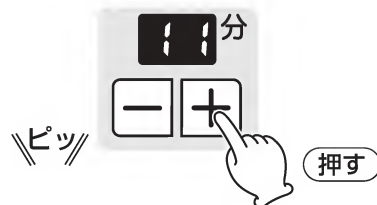
ダッチオーブンモード

・ダッチオーブンモードは、必ず専用のダッチオーブンをお使いください。

※ダッチオーブンのセット方法は50ページを参照してください。

『グリルを使う準備』(41ページ)
をよく読み、準備をする

❶ ダッチオーブンに設定する

○選択キーを約0.3秒以上押してください。

○押すたびに、次のように切り替わります。

❷ タイマー設定する

○タイマー設定をします。

1分刻みで1〜30分(最長)に設定できます。
※調理中でも、タイマーの変更は可能です。
※連続使用可能時間は30分です。

焼き足したい場合は

・消火後、グリル庫内の温度が高い場合は、選択キーを押しても受け付けないので、マニュアルグリル(43ページ)上火：強、下火：強で調理してください。

ダッチオーブンに関するお願い

予熱せずに使用してください。
ダッチオーブン使用中は、グリルとびらを開けないでください。
グリル使用後や、グリル庫内の温度が高い場合は、ダッチオーブンモードを受け付けません。
　選択キーを押すとブザー音『ピピー』と、タイマー表示部『H』(点滅)でお知らせします。
　しばらく待ってから使用してください。
ダッチオーブンが重いため、グリルとびらが閉まりにくい場合があります。
きっちりと奥まで閉めて使用してください。

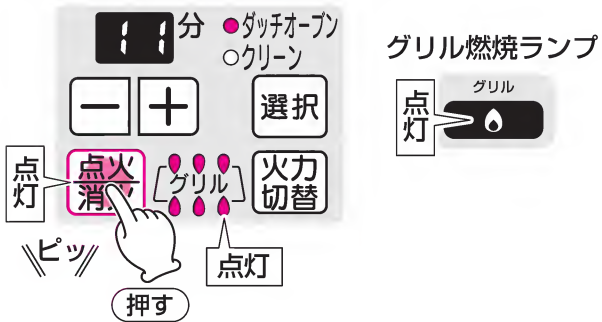
⚠注意

ダッチオーブンモードは必ずダッチオーブンを使用し、グリル焼網を使用した調理はしない
発火の原因となります。

③ 点火する

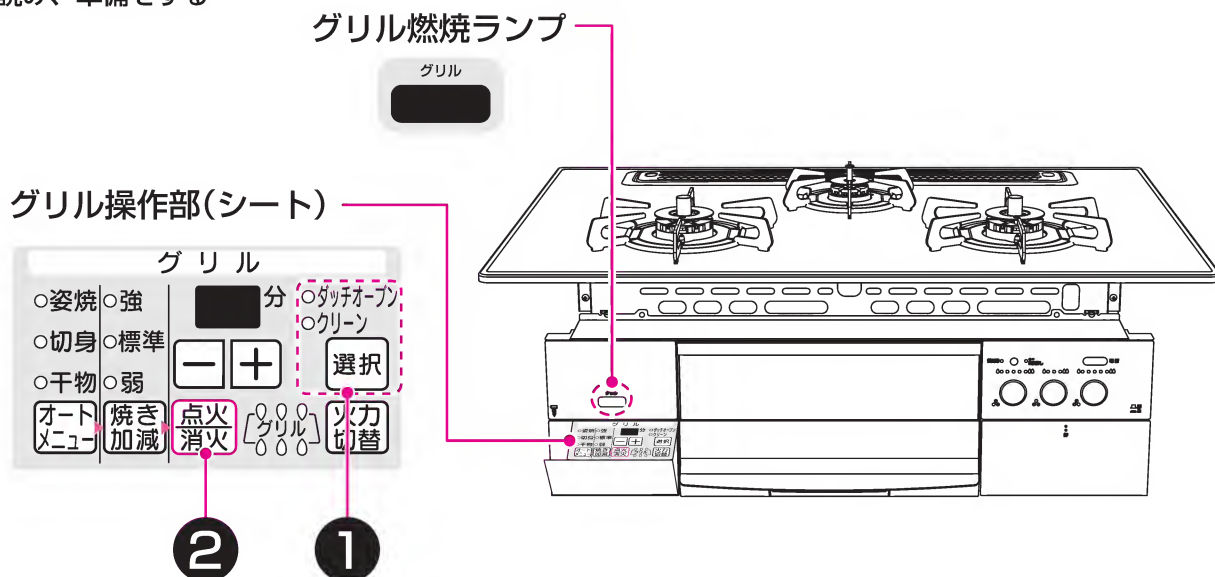
自動で火が消える

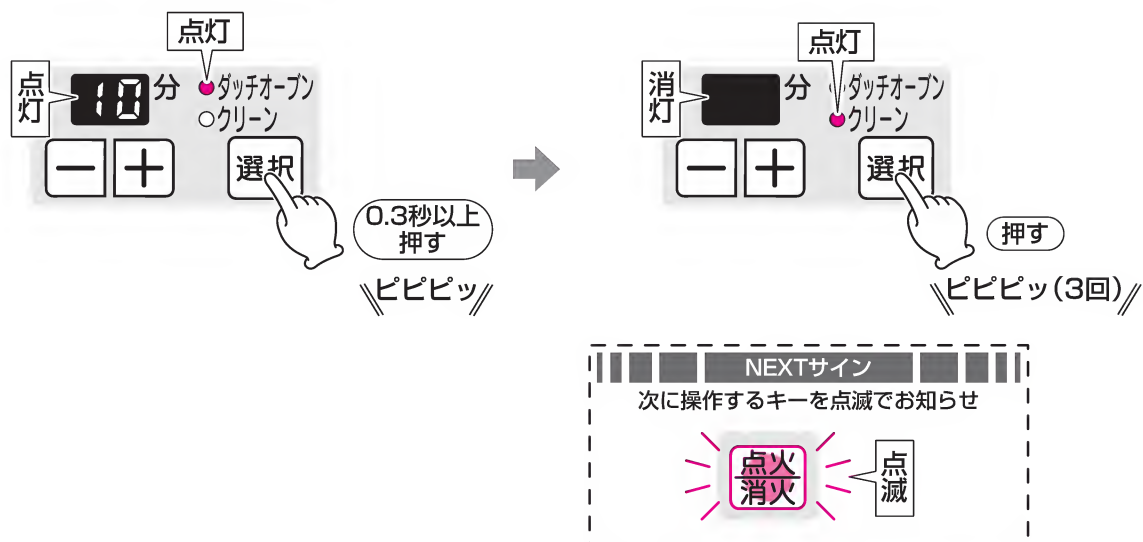
○点火／消火キーを押して、点火してください。

グリル燃焼ランプ

○グリルが点火すると、自動的にグリルタイマーがスタートします。

※約10秒後に消灯します。

クリーンモード

『グリルを使う準備』(41ページ)
をよく読み、準備をする

1 クリーンモードに設定する

○選択キーを2回押してください。
（1回目は、約0.3秒以上押してください。）

・サイドカバーとグリル焼網を取り外してください。(59ページ)
※取り外さなかった場合、サイドカバーの汚れが焼きついたり、グリル焼網のフッ素コートを傷める原因になります。
※サイドカバーとグリル焼網は取り外した際に、お手入れされることをおすすめします。(61ページ)

○押すたびに、次のように切り替わります。

⚠注意

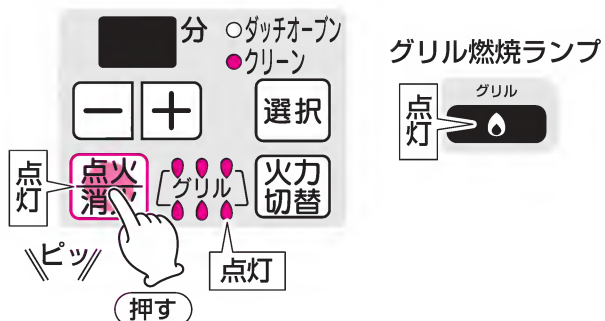
サイドカバーとグリル焼網の取り付け、取り外しをするときは、グリルが冷えてから行う
やけどのおそれがあります。

グリルクリーンモード機能とは

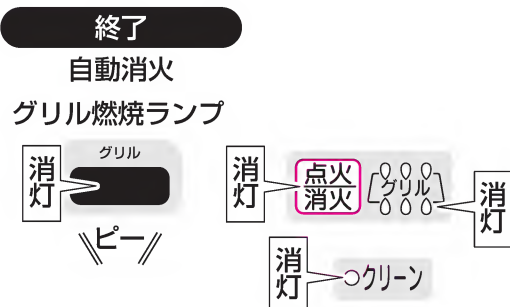
・セルフクリーニング加工を施したグリル庫内を約10～12分間のガスの高温加熱でグリル庫内の気になるにおいを低減します。
・クリーンモードは、グリル庫内のにおいが気になるときや、グリル部のお手入れをされる際にご使用ください。
※においは低減しますが、汚れは除去できません。また、汚れの程度により、においの低減効果が変わります。
※グリル庫内の汚れなどにより、煙が出ることがありますが、異常ではありません。

❷ 点火する

自動で火が消える

○点火／消火キーを押し、点火してください。

・約10～12分、グリルを燃焼します。
※自動機能のため、グリルタイマー時間の変更はできません。

終了

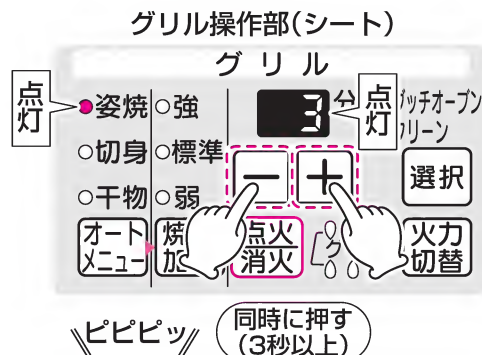
自動消火

クリーンモードが終了すると

・グリルが十分冷えてから、取り外したグリル焼網とサイドカバーを取り付けてください。
(59ページ)

カスタマイズ機能

以下の機能を設定変更することができます。
・電源オートパワーオフ機能時間：初期設定(工場出荷時)は、『3分』に設定されています。
・コンロ消し忘れ消火機能時間：初期設定(工場出荷時)は、『120分』に設定されています。
・レンジフード連動機能の解除『oF』または、設定『on』：初期設定(工場出荷時)は、『on』に設定されています。
・NEXTサイン機能の解除『oF』または、設定『on』：初期設定(工場出荷時)は、『on』に設定されています。

○電源を入れ、10秒以内にグリルタイマーの『＋』と『−』を、3秒以上同時押しする。
※機器を使用していない状態で操作してください。
○火力切替キーを押すたびに、『姿焼』→『強』→『切身』→『標準』→『姿焼』…と切り替わりますので、下を参考に変更したい機能のランプに合わせてください。

姿焼	電源オートパワーオフ機能時間の変更
強	コンロ消し忘れ消火機能時間の変更
切身	レンジフード連動機能の解除・設定
標準	NEXTサイン機能の解除・設定

※各機能の設定変更を決定するには、電源ボタンをOFFにするか約30秒経つと、ブザー音『ピー』でお知らせし、表示されている時間に設定されます。

電源オートパワーオフ機能時間の変更

○グリルタイマーの『＋』・『−』で、設定時間を切り替える。
※1〜5分の間で、1分刻みで設定ができます。
例)『2』にすると、電源オートパワーオフ機能時間は、2分に設定されます。

コンロ消し忘れ消火機能時間の変更

○グリルタイマーの『＋』・『−』で、設定時間を切り替える。
※全てのコンロの消し忘れ消火機能時間が変更になります。
※30〜120分の間で、10分刻みで設定ができます。
例)『9』にすると、コンロ消し忘れ消火機能時間は、90分に設定されます。
※コンロ消し忘れ消火機能時間を変更した場合は、連続使用可能時間も変更されますので注意してください。ただし、タイマーモード使用時は、タイマー設定時間を優先します。
例)コンロ消し忘れ消火機能時間90分の場合、連続使用可能時間：90分、高温炒めモード使用時60分、タイマー設定可能時間：1〜99分となります。

レンジフード連動機能の解除「oF」または、設定「on」

○グリルタイマーの『＋』・『−』で、解除または、設定を切り替える。
例)『oF』にすると、レンジフード連動機能は、解除されます。

NEXTサイン機能の解除「oF」または、設定「on」

○グリルタイマーの『＋』・『−』で、解除または、設定を切り替える。
例)『oF』にすると、NEXTサイン機能は、解除されます。

リセット機能

・初期設定(工場出荷時)の設定に戻す機能です。
○電源を入れ、10秒以内に右コンロタイマーの『＋』と『−』を、3秒以上同時押しする。

お手入れ（その前に）

⚠注意

- お手入れは、ガス栓を閉じ、機器が冷えてから手袋をはめて行う
  とくにグリル排気口の中側(奥側)、グリル庫内をお手入れするときは、十分注意する
  やけどや部品の角などでけがをする原因になります。
- お手入れ後は、機器およびグリル庫内にふきん・紙類などを置き忘れていないか必ず確認する
  火災の原因になります。
- 機器の電源を「切」にする
  誤って点火／消火ボタン・点火／消火キーを押すと、やけどの原因になります。

各部品がいたんでいないか確認してください。**いたんだまま使用されますと、思わぬ事故の原因となります。**
いたんでいる場合は、72ページの交換部品を参照し、部品を交換してください。詳しくは、お買い上げの販売店または、弊社(裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

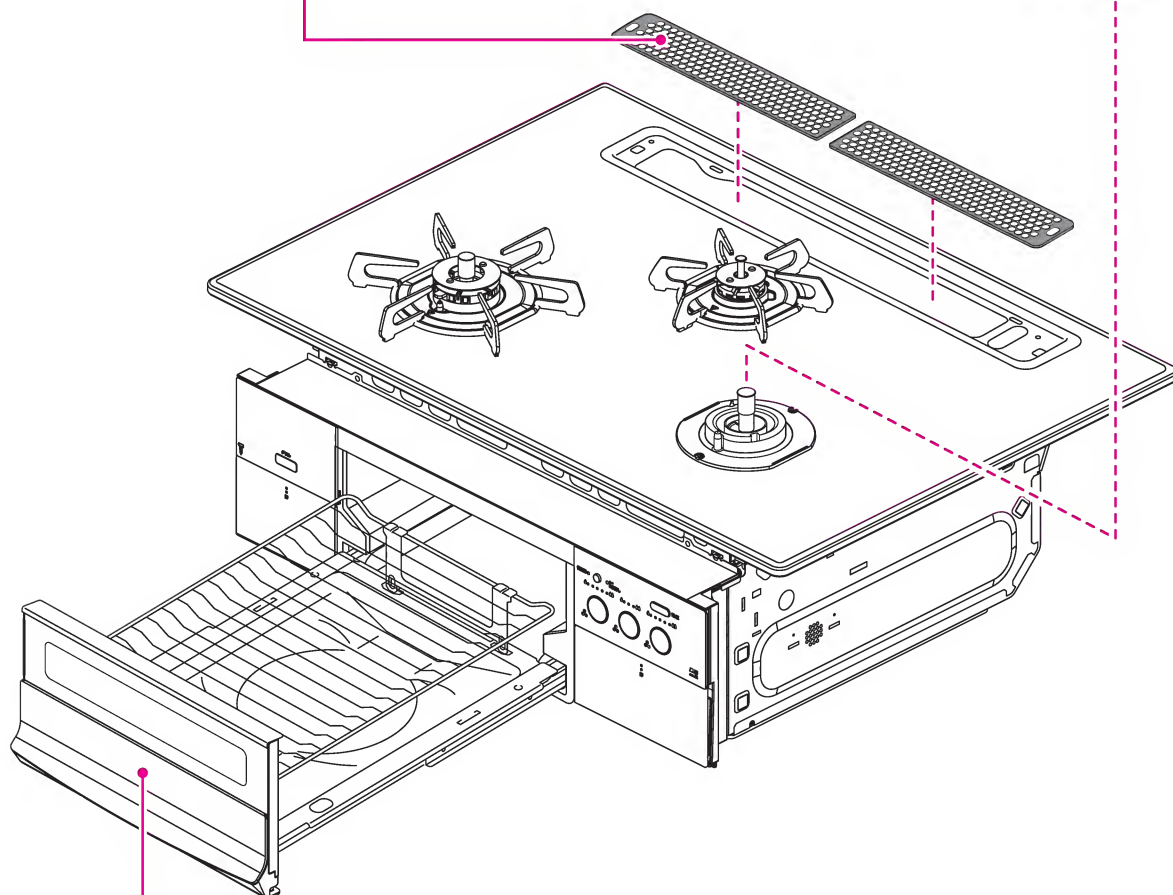
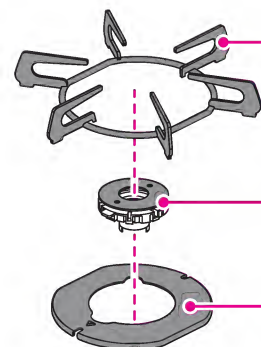
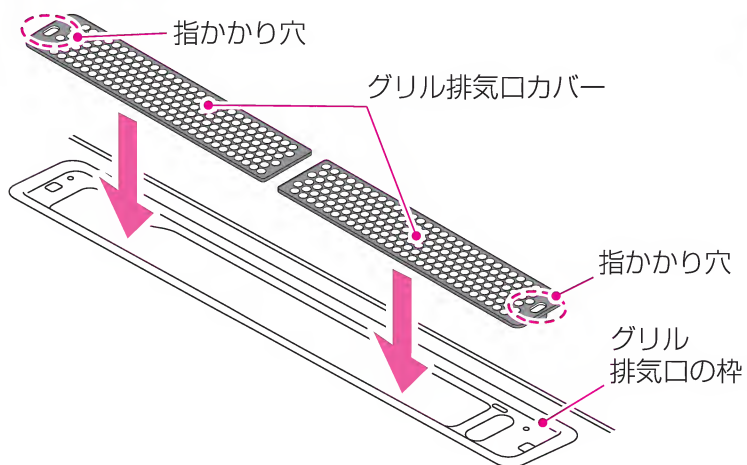
お手入れ道具・洗剤について

使って よい	スポンジたわし やわらかい布 やわらかい歯ブラシ 台所用中性洗剤	**ステンレス製のごとく・バーナーキャップカバーのみ** ステンレス用クリーナー LP 0127A (73ページ) ※ステンレス製のごとく・バーナーキャップカバー以外には使用しないでください。
使ってはいけない	ナイロンたわし クレンザー 亀の子たわし ミガキ粉 金属たわし 硬い歯ブラシ スポンジたわし裏面	**キズの原因になるもの** ※部品・ガラス・ホーロー・アルミ・フッ素コート・クリアコートや塗装の表面にキズがつき、はがれ・欠け・変色・変質・さび・割れの原因になります。
	酸性洗剤・アルカリ性洗剤・漂白剤 シンナー・ベンジン・アルコール	**変質の原因になるもの** ※部品・ホーロー・アルミ・フッ素コート・クリアコートや塗装の表面が変質し、はがれ・変色・さび・樹脂部品の割れの原因になります。
	歯みがき粉 弱酸性洗剤・弱アルカリ性洗剤・クリームクレンザー 重曹	**キズ・変質の原因になるもの** ※樹脂部品の割れ・表面の変質・キズ・変色・さびの原因になります。
	スプレー式洗剤	**故障の原因になるもの** ※直接かけて使用すると機器内部に洗剤が入り、故障の原因になります。必ずやわらかい布やスポンジたわしなどに含ませてから使用してください。
	可燃性スプレー・浸透液・潤滑剤	**火災の原因になるもの** ※引火するので、絶対に使用しないでください。

お手入れするときのお願い

- ご使用の都度、お手入れしてください。汚れたままにすると汚れがこびり付き、落ちにくくなります。
  煮こぼれをしたまま放置するとお手入れする部品が固着し、外れにくくなったり、故障の原因になります。
  とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。焼きついて掃除が困難になります。
- バーナーキャップ・ごとく・バーナーリングカバー・グリル排気口カバー・グリル部品(グリルとびら、グリル焼網、グリル受け皿、サイドカバー)は外せます。それ以外の部品は、絶対に取り外さないでください。

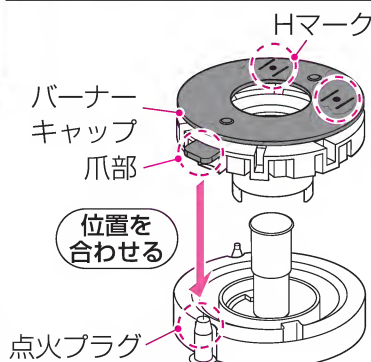
ステンレス製の部品について

- 品名コードの末尾が○○STES(STESD)のごとくおよびバーナーキャップカバーの材質として、ステンレスを採用しています。
- ステンレスは、その美しさに加えて錆や腐食に対し優れた特性を備えていますが、反面、炎で熱せられると変色し、色調が変化する特性も持っています。
- コンロをご使用になると、ごとく、バーナーキャップカバーとも変色しますが、これは異常ではありません。
- この変色は専用のステンレス用クリーナー(73ページ)でお手入れいただくことにより、きれいにすることができます。(ただし、高温となるごとくの先端部分などは変色が残ります。また、コンロをご使用になると再度変色します。)

グリル部の取り付けと取り外しは、59～60ページ参照。

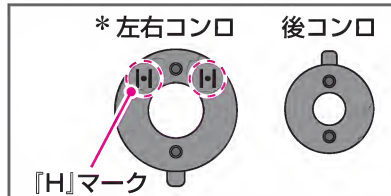
◎お手入れは、
・機器が冷えていることを確認する
・ガス栓を閉める
・機器の電源を『切』にする
・手袋をする

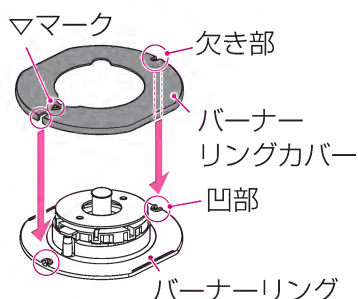
◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
◎部品を取り付けたあとは、傾きがないことを確認する

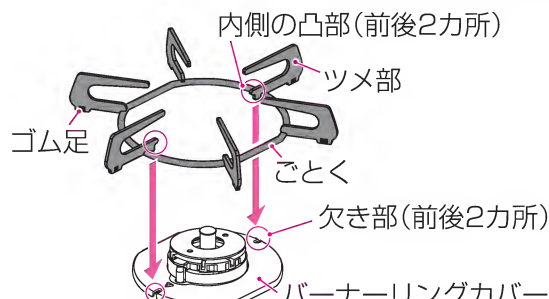
バーナーキャップ・バーナーリングカバー・ごとく

バーナーキャップ

・バーナーキャップの爪部が、点火プラグの真上にくるように合わせ、浮きがないように取り付けてください。（点火プラグに衝撃をあたえないようにしてください。）

※左右コンロ用のバーナーキャップには、『H』マークを表示しています。

バーナーキャップの形状

＊左右コンロの『H』マークは、ガス種・仕様により、異なります。

バーナーリングカバー

・▽マークを手前にし、欠き部（前後2カ所）をバーナーリングの凹部（前後2カ所）に入れて、浮きがないように取り付けてください。

ごとく

・ごとく内側の凸部（前後2カ所）を、バーナーリングカバーの欠き部（前後2カ所）に入れて、浮きがないように取り付けてください。

⚠注意

バーナーキャップは正しく取り付ける
誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、
・点火しない場合があります。
・炎のふぞろいや逆火で**不完全燃焼・一酸化炭素中毒のおそれや変形の原因になります。**
・機器の中に炎がもぐりこんで、**焼損する原因になります。**
・**機器寿命が短くなるおそれがあります。**

バーナーキャップの浮き

バーナーキャップの裏返し

ごとくとバーナーリングカバーは、正しく取り付ける
誤った取り付けかた（浮き、裏返しなど）で使用すると、**鍋の転倒によるやけど・点火不良・不完全燃焼・変形の原因になります。**また、取り付けの際に衝撃を加えると、トッププレートに**キズがつくおそれがあります。**

ごとくの浮き

ごとくの裏返し

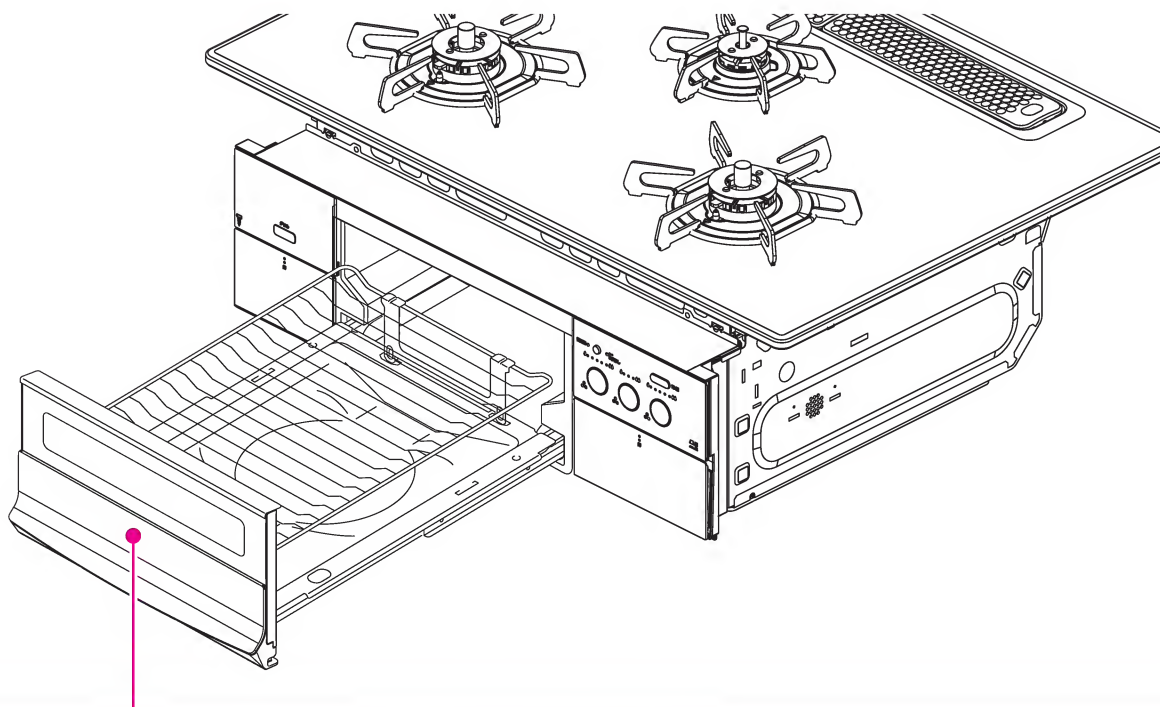
バーナーリングカバーの浮き

バーナーリングカバーの裏返し

必ず守る
ごとくに取り付けてあるゴム足が外れていないか確認する
ゴム足が外れていると、**トッププレートのキズやごとくのガタツキの原因になります。**

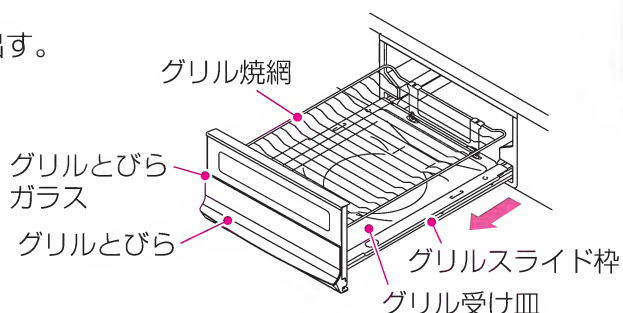
お知らせ

・バーナーキャップ・バーナーリングカバー・ごとくは消耗部品です。
バーナーキャップは厚みが薄くなったり、変形すると炎がふぞろいになります。また、ごとくは、ツメ部がグラグラしていたり、ゴム足が外れていると、ごとくのガタツキが発生し、鍋などの転倒の原因になりますので、交換してください。交換部品（有料）として準備しております。（72ページ）
お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。

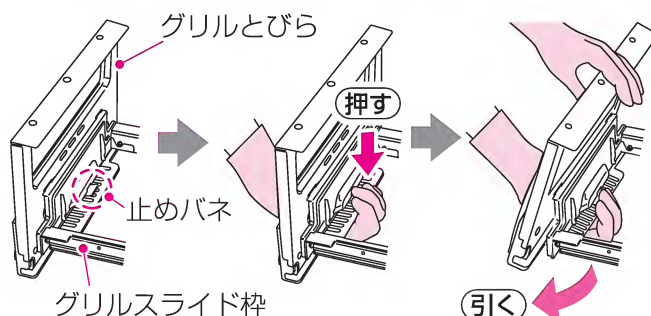
お手入れ（部品の取り付けと取り外し）（グリル部）

グリル部の取り外しかた

グリルスライド枠は取り外せません

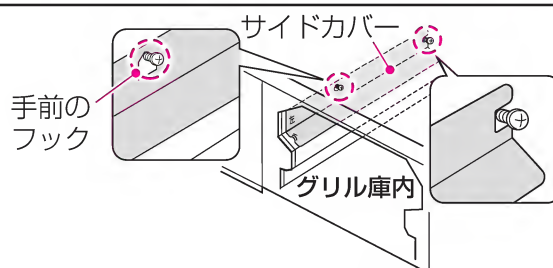
・グリルとびらを水平にゆっくりと手前に止まるまで引き出す。
・グリル焼網・グリル受け皿を持ち上げて取り外す。

※グリル使用直後はグリルとびらやグリルとびらガラス、グリル受け皿、グリル焼網、グリルスライド枠が熱くなっていますので注意してください。
※グリル受け皿にたまった魚の脂などをこぼさないよう注意してください。

グリルとびら

・グリルスライド枠とグリルとびらを固定している止めバネを押し下げ、もう片方の手を添えながら、手前に引く。

※グリル焼網をセットした状態では、グリルとびらは正しく取り外すことができません。
※グリルスライド枠は取り外せません。

サイドカバー

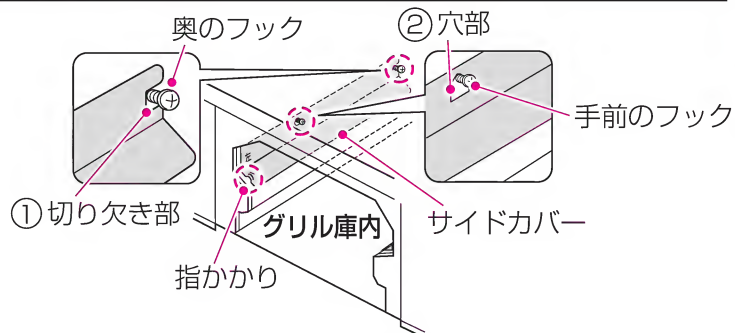
・手前のフックからサイドカバーを取り外す。

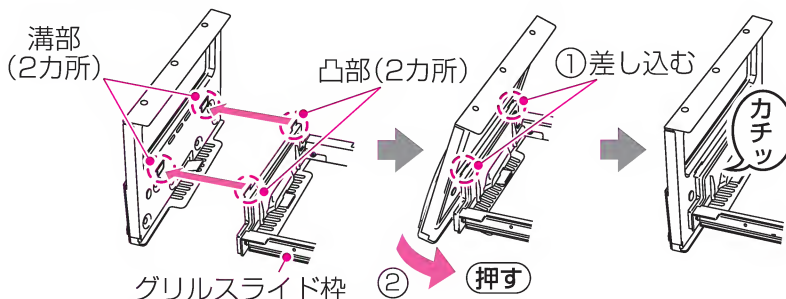
※サイドカバーは、(左)(右)があります。
※図は、サイドカバー(左)の場合です。サイドカバー(右)も同様に取り外してください。

◎お手入れは、
- 機器が冷えていることを確認する
- ガス栓を閉める
- 機器の電源を『切』にする
- 手袋をする

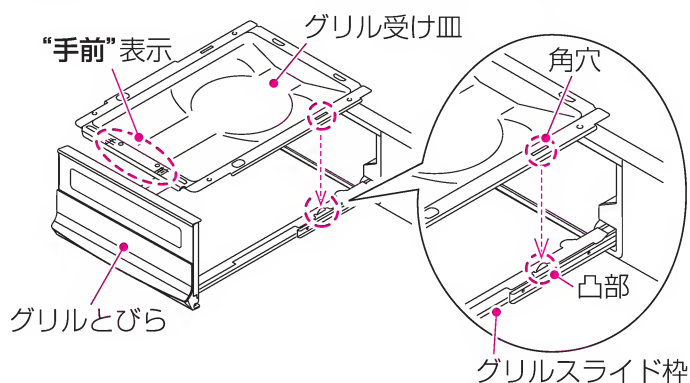
◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
◎部品を取り付けたあとは、スムーズに開閉できることを確認する

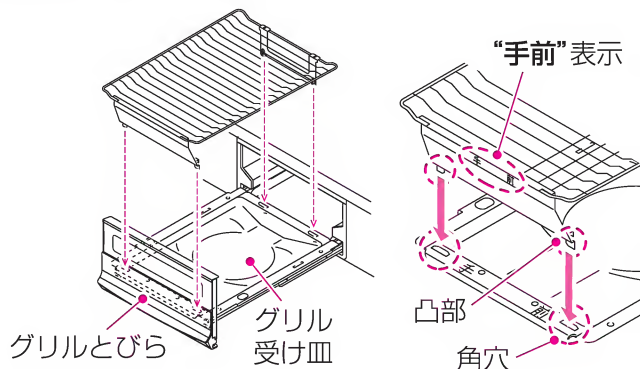
グリル部の取り付けかた

サイドカバー

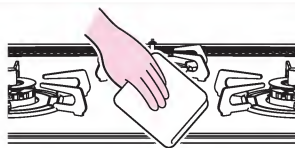
①奥のフックに、切り欠き部を差し込む。
②手前のフックに穴部を引っかける。
※サイドカバーは、(左)(右)がありますので、注意してください。
指かかり側に左または右と表示しています。
※図は、サイドカバー(左)の場合です。サイドカバー(右)も同様に取り付けてください。

グリルとびら

①グリルとびらの溝部(2カ所)に、グリルスライド枠の凸部(2カ所)を差し込む。
②とびらの下部を『カチッ』と音がするまで押す。
※グリル焼網を取り付けた状態では、グリルとびらは正しく取り付けできません。

グリル受け皿

・グリルスライド枠の凸部(左右)にグリル受け皿の角穴が入るように置く。
※"手前"と表示している方をグリルとびら側にしてください。

グリル焼網

・グリル受け皿の角穴(4カ所)にグリル焼網の凸部(4カ所)を差し込む。
※"手前"と表示している方をグリルとびら側にしてください。

グリルとびらが閉まりにくい場合は、サイドカバー、グリルとびら、グリル受け皿、グリル焼網が正しく取り付けされていません。そのまま押し込むと、変形の原因になりますので、再度きっちりと取り付けてください。

トッププレート

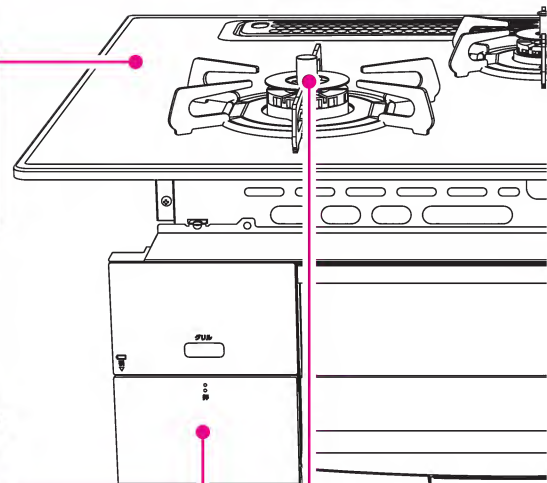
・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

※表面についた煮こぼれなどの汚れをそのままにしておくと、こびりついて取れにくくなり、シミが残ることがあります。
使用のたびにこまめにふき取ってください。
とくに砂糖などを含んだ濃い汁は、すぐにふき取ってください。
焼きついて掃除が困難になります。

機器表面・操作部・赤外線発信部(電源ランプ・グリル燃焼ランプ部)

・乾いた布でよくふいてください。

取れにくい汚れのとき

・台所用中性洗剤を含ませた布でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

※グリルとびら取っ手には、特殊塗装を施していますが、万一表面の塗装がはがれても使用上問題はありません。

バーナー部

バーナーキャップ

・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

・水洗い後は、よく水気を切ってください。

※水分が残ったまま取り付けると、**点火不良や不完全燃焼になります。**

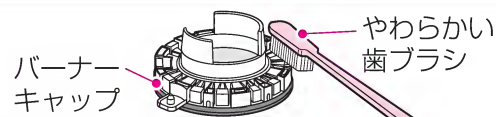
※ステンレス仕様のバーナーキャップカバー(4ページ)が変色した場合のお手入れは、専用のステンレス用クリーナー(73ページ)をやわらかい布やスポンジ、丸めたラップに含ませてこすり、ふき取ってください。ステンレス用クリーナーがバーナーキャップ本体に付いた場合は、すぐに水洗いしてください。そのままにしますとバーナーキャップ本体の腐食や変色、炎口づまりの原因になります。(ごとくも同様にしてください。)

目づまりしたときは

・凹部や溝部は、やわらかい歯ブラシなどでお手入れしてください。
こびり付いた汚れは、つまようじなどで取り除いてください。

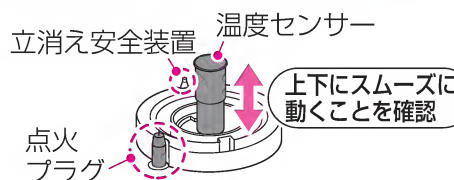
※目づまりや汚れは、**不完全燃焼や点火不良の原因になります。**

バーナーキャップ

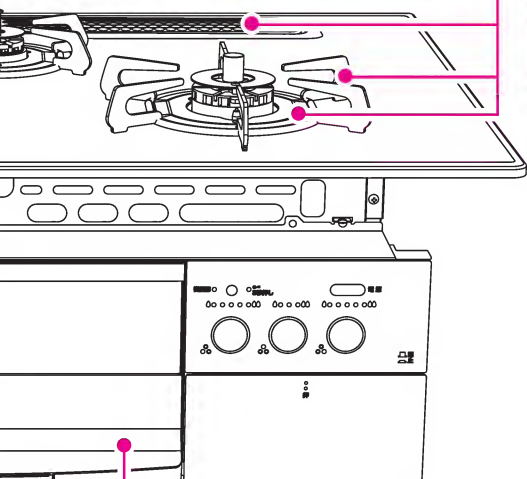
やわらかい歯ブラシ

点火プラグ・立消え安全装置・温度センサー

・水を含ませて、かたくしぼった布で煮こぼれなどの汚れをふき取ったあと、水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

※洗剤などは使用しないでください。

※点火プラグ・立消え安全装置・温度センサーはキズつけたり、衝撃をあたえないようにしてください。位置が変わったり、傾くと安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。

⚠注意

温度センサーは、こまめにお手入れし、上下にスムーズに動くことを確認する
鍋底に温度センサーが密着しなくなり、調理油が**発火する場合があります。**
また、動きが悪いと鍋などが傾き、お湯などがこぼれ、**やけどの原因にもなります。**
密着しない場合、点検・修理を依頼してください。

◎お手入れは、
・機器が冷えていることを確認する
・ガス栓を閉める
・機器の電源を『切』にする
・手袋をする

◎お手入れをしたあとは、洗剤や水分が残らないようにする
◎部品を取り付けたあとは、傾きがないことを確認する

ごとく・グリル排気口カバー・バーナーリングカバー

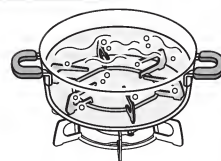
ごとく・グリル排気口カバー

・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。
※汚れがついたまま使用すると、汚れが落ちにくくなります。
※ごとくのゴム足が外れていないか確認してください。
外れている場合は、58ページ(お知らせ)を参照してください。
※ステンレス仕様のごとく(4ページ)が変色した場合のお手入れは、専用のステンレス用クリーナー(73ページ)を使用してください。(ステンレス用クリーナーでのお手入れのしかたは、61ページ(バーナー部)を参照してください。)

取れにくい汚れのとき

・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布でふき取ってください。

煮洗いすると、さらに汚れが落としやすくなります

・水を入れた大きめの鍋に、ごとくやグリル排気口カバーを入れ、約30分加熱し、冷ましてから水洗いして、水気をふき取ってください。
※表面が変色することがありますが、使用上問題ありません。
※取り出すときは、**やけどなどに注意してください。**

バーナーリングカバー

・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。
※汚れがついたまま使用すると、汚れが落ちにくくなります。

取れにくい汚れのとき

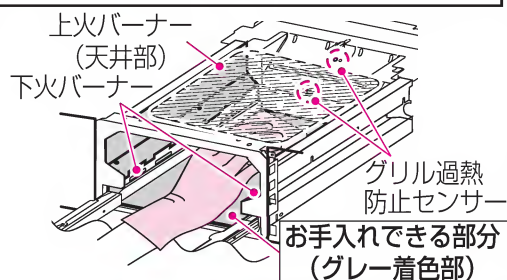
・台所用中性洗剤で丸洗いしたあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布でふき取ってください。

グリル焼網・グリル受け皿・グリルとびら・サイドカバー・グリルスライド枠・グリル庫内

グリル焼網・グリル受け皿・グリルとびら・サイドカバー・グリルスライド枠

・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジ、布などのやわらかい物でふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。
※汚れたまま放置したり、使用したりすると、汚れがとれにくくなり、シミが残ったり、フッ素コート(グリル焼網)やクリアコート(グリル受け皿)のはく離の原因になったり、脂汚れで**発火することがあります。**

グリル庫内(側部・底部)

・台所用中性洗剤や、水を含ませたスポンジでふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。
※グリル庫内天井部の燃焼部(上火バーナー)には触らないでください。炎口がつまり燃焼不良、途中消火の原因になります。また、側部の燃焼部(下火バーナー)の奥には、立消え安全装置と点火プラグ、奥の壁部分にはグリル過熱防止センサーが取り付けてあるので触らないでください。位置が変わったり、傾くと安全機能が正しくはたらかないおそれがあります。

ダッチオーブン(付属品もしくは別売品)のお手入れ

ダッチオーブンふた・ダッチオーブン本体

・ダッチオーブンが十分冷えてから、お手入れを行ってください。
・台所用中性洗剤を含ませたスポンジで丸洗いしてください。その後、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布でふき取ってください。
※金属たわしなどは、細かなキズが付き汚れがこびり付きやすくなるので、使わないでください。

ダッチオーブン網・ダッチオーブン支持枠

・台所用中性洗剤を含ませた布やスポンジで汚れをふき取ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布で再度ふき取ってください。

取れにくい汚れのとき

・スポンジやナイロンたわしに台所用中性洗剤をつけて洗ったあと、洗剤や水分が残らないよう、乾いた布でふき取ってください。

調理プレート(別売品)のお手入れについては、調理プレートクッキングブックを参照してください。

よくあるご質問

とくに多いご質問です

ご質問	回答	参照ページ
・電源が入らない ・電源ランプが点滅している	**乾電池が消耗しているためです。** **乾電池を交換してください。** 乾電池を交換する(電源ランプ点滅)めやすは約1年です。	21
・勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする	**安心・安全機能がはたらいているためです。** 自動的に火力を調節したり、自動消火し、高温になり過ぎることを防止します。	19
・あぶり高温炒めモードを使用しているのに、勝手に火が小さくなったり、火が消えたりする	**安心・安全機能がはたらいているためです。** 温度センサーや鍋などの異常過熱を防止するために、温度センサーの温度が上がりすぎると、自動的に火力を調節したり、自動消火します。 また、約60分間(高温で自動火力調節している状態の場合は約30分間)連続使用すると、消し忘れ消火機能がはたらき自動消火します。	39

全体

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
点火すると他のバーナーも、スパーク(パチパチ)する	–	1カ所の点火操作ですべてのバーナーがスパークします。 異常ではありません。	–
点火しない ご質問の詳細 ① 点火しない ② 点火しにくい ③ スパーク(パチパチ)しない ④ 点火してもすぐ消える	①②③④	乾電池が消耗しています。 新しいアルカリ乾電池(単1形：2個)に交換してください。	21
		バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。	15・57
		アルミはく製しる受けはご使用できません。 使用しないでください。	10
	①②③	バーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	61
	①②	ガス栓を閉めていると点火できません。 ガス栓を全開にしてください。	26・41
		LPガスをご使用の場合、LPガスがなくなりかけているときは、お買い上げの販売店または、もよりのガス事業者(供給業者)にお問い合わせください。	–
		長期間使用していなかったり、朝一番など、ガス配管に空気が残っている場合がありますので、点火操作を繰り返してください。	–
		鍋を置いてください。鍋を置かないと点火しません。	20・26
		鍋底のへこみが大きな(4mm以上)鍋を使用しますと、温度センサーが正しく密着しません。 底がへこんでいない鍋を使用してください。	6・10
	①③	電源が入っているか確認してください。 電源を入れないとすべての操作を受け付けません。	5・26・41
		ロックされていると点火できません。 ロックを解除してください。	26
	②	グリルはコンロにくらべて点火に時間がかかります。 異常ではありません。	–
	④	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで、点火してもすぐ消火します。しばらく(グリルは約3分)待ってから、再度点火してください。	–

全体

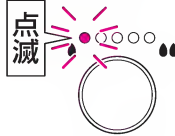
ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
炎の状態がおかしい ご質問の詳細 ① 炎が安定しない ② 炎が黄色い、赤い ③ 異常音をたてて燃える、消える ④ 炎が均一でない ⑤ 使用中炎が消える ⑥ 鍋にすすがつく	①②③④⑤⑥	バーナーの炎口がつまっていたり、点火プラグ、立消え安全装置、バーナーキャップがぬれたり、汚れたりしていると、点火しない場合があります。お手入れしてください。	61
		バーナーキャップが傾いたり、浮いたりしていないか確認し、正しく取り付けてください。	15・57
	①②③④⑤	風が吹き込んだり、扇風機や冷暖房機器の風があたる場所には設置しないでください。風で火が消える場合があります。	12・15
	②④⑤⑥	アルミはく製しる受けはご使用できません。 使用しないでください。	10
	②⑤	使用中は換気してください。	12
	②	加湿器を使用すると水分に含まれるカルシウムが燃えて炎が赤くなることがあります。異常ではありません。	−
		グリル使用時にコンロを使用すると、焼きものの塩分（ナトリウム）やカルシウムが燃えて、コンロの炎も赤くなります。異常ではありません。	−
		火力調節時に一瞬炎が黄色くなったり大きくなる場合があります。異常ではありません。	−
	⑤	弱火の状態で、機器下のキャビネットとびらやグリルとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	17
すぐに消火しない	−	バーナー内部に残ったガスが燃焼しているためです。 異常ではありません。	−
強火になったとき、一瞬炎が大きくなる	−	バーナー内のガスが一度に出されるためです。 異常ではありません。	−
複数のバーナーを連続で操作すると、操作された順番と動作する順番が異なる	−	機器で動作する順番を設定しています。 異常ではありません。	−
電源が入りにくい（または入らない）	−	お手入れなどで誤って電源ボタンに触れても電源が入らないようにしています。他のボタンより長く(約0.3秒)押してください。	5・26・41
電源が入っていないのに、火力表示ランプが点滅する	−	鍋などを置きっぱなしにすると、鍋を長時間置いているのか、温度センサーが故障しているのかを判断するため、自動的にセンサーチェックをします。	20
コンロ・グリル操作部のパネル部が開いた	−	強い力が加わるとパネル部が左右または下に開く構造になっており、故障ではありません。パネル部を元の位置に戻し、すき間ができないように、強く押し込んでください。	−
部品が変色する **トッププレートにキズが付く** ご質問の詳細 ① 表面が変色する ② ごとくが変色する ③ バーナーキャップが変色する ④ トッププレートに光沢、跡、すりキズが付く	①②	酸性やアルカリ性洗剤は使用しないでください。中性洗剤以外の洗剤をご使用になると、変色する場合があります。	56
		ごとくに取り付けてあるゴム足は、変色することがありますが、ご使用上問題ありません。	−
	②③	ごとく先端は、炎が当たり、変色したり、ざらざらになります。異常ではありません。 ※品名コードの末尾が○○STES(STESD)のごとく・バーナーキャップカバーには、ステンレス用クリーナーを使用してください。	−
	④	トッププレートのごとく・バーナーリングカバーを取り付けている場所に、光沢、跡、すりキズなどが付くことがありますが、ご使用上問題ありません。	17
		ごとくのゴム足が外れていないか確認してください。外れている場合は、58ページ(お知らせ)を参照してください。	58

よくあるご質問

コンロ

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
点火／消火ボタンから手を放してもスパーク(パチパチ)する	–	楽々点火方式で、点火／消火ボタンから手を放してもスパークが続きます。(最長約5秒)異常ではありません。	–
焼網が使えない	–	焼きなすやもちはグリルで調理してください。 グリルに入らない大きななすやパプリカなどは、フォークや金串に刺しあぶり高温炒めモードを使用し、コンロ上で直火料理(あぶりもの)してください。	39
コンロ使用時の現象 ご質問の詳細 ① 調理中に消火する ② 油が高温になっていても自動消火しない ③ 点火してもすぐ消える ④ 自動で火力が変わる ⑤ 火力を調節しても変わらなかったり、欲しい火力にならない ⑥ 鍋底がひどく焦げついて消火する ⑦ 弱火になって1分後に消火する	①②③④⑥	鍋の形状や材質が適しているか確認してください。	25
	①②③④⑥	鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	6・10
	①②③④⑥	鍋底や温度センサーが汚れていないか確認し、汚れている場合はお手入れしてください。	6・10
	①③	温度センサーが高温になり、安心・安全機能がはたらいています。温度センサーの温度が下がるまで点火してもすぐ消火します。 しばらく待ってから再度点火してください。	19
	①⑥	焦げつき自動消火機能は、鍋の材質や調理により焦げつきの程度がかわります。 ホーロー製の鍋や、カレー・シチュー・カラメル・みそなどの水分が少ない料理は焦げやすくなります。弱火でときどきかき混ぜながら調理してください。	19
	①⑥	鍋底が焦げついていないか確認してください。 焦げつきや空だきの場合、焦げつき自動消火機能がはたらいて、自動的に消火します。	19
	①	コンロタイマーが終了すると自動的に消火します。 再度点火してください。	29
	①	点火後約120分(高温で自動的に火力調節している場合は約30分)で自動消火し、消し忘れを防ぎます。	19
	①	弱火の状態で、機器下のキャビネットとびらやグリルとびらをはやく開閉すると、消火する場合がありますのでゆっくり開閉してください。	17
	①	冷凍した調理物をそのまま調理した場合、調理中に消火することがありますので、解凍してから調理してください。	–
	①	無水鍋や多層鍋、土鍋や耐熱ガラス容器、圧力鍋を使用すると、まれに焦げつき自動消火機能がはたらき、調理中に消火することがあります。	25
	③	後コンロは、鍋を置かずに点火した場合、しばらくすると消火します。鍋を置いて再度点火してください。	–
	④	鍋の温度が高温になると、過熱防止のため自動的に火力を切り替えます。 弱火と強火を繰り返し、この状態が約30分続くと自動消火します。	19
	④	弱火になると支障のある調理の場合は、あぶり高温炒めキーを押すと、高温での調理ができます。	39
	④	調理中にフライパンや鍋を持ち上げると、弱火になります。	20
	④	弱火になると支障のある調理の場合は、あぶり高温炒めキーを押すと、高温での調理ができます。	39
	④	鍋を戻すと、安全のため、火力を段階的に戻します。 異常ではありません。	20
	⑤	火力微調節状態では、火力の変化が小さい(変化しない)ところがあります。火力が変化する位置まで回してください。	27

コ
ン
ロ

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
コンロ使用時の現象(続き) ご質問の詳細 ⑥ 鍋底がひどく焦げついて消火する ⑦ 弱火になって1分後に消火する	⑥	鍋底にこんぶや竹皮などを敷くと焦げつきがきつくなる場合があります。ときどきかき混ぜて火加減し、様子を見ながら調理してください。	−
	⑦	火をつけたまま、鍋を上げた状態が約1分続くと自動消火します。	20
揚げものモード使用時の現象 ご質問の詳細 ① 揚げものがうまくできない ② 「℃」表示が点滅のまま変わらない	①	油の量は、500〜1000mLが適切です。 鍋の形状や材質、油の量によっては油の温度が設定温度より高めになったり低めになったりする場合があります。設定温度を加減してお使いください。	25・31
		鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	6・10
	②	使用途中に設定温度を下げた場合、設定温度に下がるまで時間がかかり、その間点滅が続きます。	31・32
湯わかしモード使用時の現象 ご質問の詳細 ① お湯がぬるい ② お知らせが遅い ③ ふきこぼれる	①②③	鍋が湯わかしに適しているか確認してください。	25・33
		鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	6・10
		水の量は、500〜2000mLでやかんや鍋の最大容量の6〜7割が適切です。	25・33
	①②	お湯(70℃以上)から湯わかしモードを使用した場合は、ふっとうしてから消火や弱火になるまで時間を要する場合や、ふっとうする前に消火する場合があります。	34
	②③	加熱中に鍋を動かしたり、ふたを開閉したり、水をかき混ぜたりすると、お知らせが遅くなったり、ふきこぼれる原因になります。	
	①	火力を弱火で使用すると、ふっとうする前に保温になったり、消火したりします。	
炊飯モードで上手に炊飯ができない ご質問の詳細 ① ふきこぼれる ② ごはんがかたい ③ ごはんがやわらかい ④ ごはんが焦げる ⑤ 誤って途中で消火してしまった	①②③④	鍋が炊飯に適しているか確認してください。	25・36
		鍋底が温度センサーと密着していることを確認してください。	6・10・36
		お米の量や水量を正しく計量してください。	35
	①②④	よく洗米してください。	
		無洗米を使用する場合は、1〜2回洗米し、3%ぐらい多めに水をいれて、必ず浸しおきをして炊飯してください。	36
	②③	銘柄や産地、保存期間により炊きあがりのかたさや粘り、食味が変わります。	−
	②	洗米したあと必ず30分以上(冬場は1時間程度)、水に浸してください。	35
		炊飯途中にふたを開けると、うまく炊けない場合があります。	38
		消火したあと、約10分むらしが必要です。 むらしをしないとうまく炊きあがりません。	
	③	むらし後、ごはんをほぐしながら底からかき混ぜると、余分な水分がとび、ごはんがおいしくなります。	
	④	炊きこみごはんは、白米にくらべ焦げやすくなります。	35
	⑤	もう一度炊飯モードで炊いてください。 水分が少ない状態で再点火した場合は、やわらかくなる場合や、焦げつきが強くなったり、芯が残る場合があります。(おかゆの場合は、自動では炊けません。様子を見ながら弱火で炊いてください。)	37

よくあるご質問 ③

ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
点火／消火キーから手を放してもスパーク(パチパチ)する	–	楽々点火方式で、点火／消火キーから手を放してもスパークが続きます。(最長約7秒)異常ではありません。	–
グリル使用時の現象 ご質問の詳細 ① 焼けすぎる ② 焼け足りない ③ 焼きムラ ④ 煙が出る ⑤ オートメニューを受け付けない ⑥ 火力が変わる ⑦ 火力が変わらない ⑧ 調理中に消火する	②③④⑧	グリルとびらは確実に閉めてください。	41
	①②③	調理物の数や形状に合わせて、置きかたを調節してください。	42・47・48
		調理物に合った火力に調節してください。	–
	②③	グリル排気口カバーを正しく取り付けてください。	57
	①	みそ漬けやかす漬けの魚を焼くときは、みそやかすは取ってから焼いてください。	42・48
	②	冷凍の魚は、しっかりと解凍し、冷蔵の魚は、常温でしばらく置いてください。	17・42
	④	脂の多い魚などを焼くと煙が多く出るため、グリル排気口以外からも煙が出る場合があります。 異常ではありません。	44
		初めてグリルを使うときは、煙やにおいが出る場合がありますが、グリル庫内の金属部品に残った加工油によるもので、異常ではありません。	42
		グリル庫内やグリル受け皿が汚れていないか確認し、お手入れしてください。 残った調理物などが焦げて、煙やにおいが出る場合があります。	61
	⑤	連続焼きなどでグリル庫内の温度が高くなりすぎると、オートグリルモードは受け付けません。マニュアルグリルは受け付けますが、過熱防止センサーがはたらき、設定したタイマー時間より短い時間で消火することがあります。グリル庫内が冷めるまで(約3分)待ってから使用してください。	46
	⑥	オートグリルモード使用時は、火力を自動的に切り替えます。異常ではありません。	–
	⑦	ダッチオーブンモード使用時は、点火してから火力切替の操作を行っても操作は受け付けますが、最長約8分間は火力は切り替わりません。	–
	⑧	グリルタイマーが終了すると自動的に消火します。 再度点火してください。	43・45
		連続の使用などでグリル庫内が高温になっている場合は、グリル庫内が冷めるまで(約3分)待ってから使用してください。	19・44
グリルの点火操作を受け付けない	–	点火不良が数回続くと安全機能が作動し、前回の点火操作から約10秒間は受け付けません。 しばらく待ってから、再度点火操作してください。	–
グリル使用中に、魚などの脂の「パチパチ・ジュージュー」とはねる音がする	–	魚などに含まれている水分が油と接触して、蒸発する音です。 異常ではありません。	–

	ご質問	詳細の番号	回答	参照ページ
におい	ガスのにおいがする いやなにおいがする	–	**すぐに使用をやめ、ガス栓を閉めてから原因を調べてください。**	7・8
			風が吹き込んだり、扇風機や冷暖房機器の風があたる場所には設置しないでください。風で火が消える場合があります。	12・15
			煮こぼれや水滴がついていないか確認し、お手入れしてください。また、お手入れしたあとは、洗剤や水分が残らないようにしてください。	61
			周囲に燃えやすいものやプラスチック製品などがないか確認してください。	9
音	使用中、消火後に音がする ご質問の詳細 ① 「ポン」と音がする ② 「カチッ」と音がする ③ キシミ音がする ④ 「シャー」と音がする ⑤ 点火初期に「ポッポッ」と音がする	①	コンロバーナー使用後の火の消えたときの音です。異常ではありません。	–
			バーナーキャップが正しく取り付けされていないと、音がする場合があります。	15・57
		②	火力を切り替える動作音です。異常ではありません。	–
		③	点火後や消火後にキシミ音がでますが、加熱や冷却されるときに、金属が膨張収縮して起こる音です。異常ではありません。	
		④	コンロバーナー使用中「シャー」と音がしますが、燃焼するガスの通過音です。異常ではありません。	
		⑤	機器が冷えている状態で点火すると、しばらく音がする場合がありますが、温まると音はなくなります。異常ではありません。	
乾電池	使用時に『ピーピーピー』というブザー音とともに、電源ランプが点滅する	–	乾電池が消耗しているためです。乾電池を交換してください。 乾電池を交換する（電源ランプ点滅）めやすは約1年です。	21
	乾電池を交換しても電源ランプが点滅する	–	乾電池に記載されている使用推奨期限を確認してください。未使用の乾電池でも、古くなった乾電池は消耗していますので、新しいアルカリ乾電池（単1形：2個）に交換してください。	21
※レンジフード	レンジフードが動作しない（赤外線反射方式）	–	換気連動がOFF（解除）になっていないか確認してください。	55
			赤外線発信部が汚れていると動作しない場合があります。お手入れしてください。	61
			赤外線発信部の正面で操作してください。	23
			赤外線発信部からの信号が、手や顔でさえぎられないように操作してください。	
	レンジフードが停止しない	–	消火してから約3分後に自動停止または、常時換気となります。 レンジフードの種類により、停止方法が異なります。 レンジフードの取扱説明書を参照してください。	23
			赤外線発信部の正面で操作してください。	
			赤外線発信部からの信号が、手や顔でさえぎられないように操作してください。	
			コンロ使用時に自動消火（立消え安全装置作動、コンロ消し忘れ消火機能作動など）した場合、レンジフードは停止しません。 点火／消火ボタンを「消火の状態」にするか、レンジフード側の操作部で停止してください。	

※対応しているレンジフードファンとの組み合わせが必要です。

ブザー報知・お知らせ表示

ブザー音	表　示(10回点滅)	部　位	内　　容
ピー (1回)	—	コンロ	消し忘れ消火機能の作動
		左右コンロ	あぶり高温炒めモード終了
	00	左右コンロ	コンロタイマー終了
		グリル	グリルタイマー終了
	点滅 電源ランプ ※電池交換するまで点滅が続きます	—	電池交換のお知らせ
ピピー (1回)	H	グリル	グリル庫内の高温検知
ピー (2回)	12 交互点滅 _1	左コンロ	立消え安全装置の作動
	12 交互点滅 _2	右コンロ	
	12 交互点滅 _3	後コンロ	
	12 交互点滅 _5	グリル	
ピー (3回)	11 交互点滅 _1	左コンロ	点火時に着火しなかった
	11 交互点滅 _2	右コンロ	
	11 交互点滅 _3	後コンロ	
	11 交互点滅 _5	グリル	
	点滅	左右コンロ	鍋なし検知タイマーの作動
ピー (4回)	02 交互点滅 _1	左コンロ	天ぷら油過熱防止機能の作動 焦げつき自動消火機能の作動
	02 交互点滅 _2	右コンロ	
	02 交互点滅 _3	後コンロ	
	02 交互点滅 _5	グリル	グリル過熱防止センサーの作動
ピー (10秒間繰り返し)	23 交互点滅 _1	左コンロ	鍋なし検知センサーチェック
	23 交互点滅 _2	右コンロ	
	20 24 30 31 32 51 66 交互点滅 _1	左コンロ	操作部・温度センサー・ グリル過熱防止センサーの故障
	_2	右コンロ	
	_3	後コンロ	
	_5	グリル	
	_0	コンロ・グリル	
ブザーが鳴り続ける ピー (約10秒連続)	70 71 72 73 交互点滅 _1	左コンロ	電子部品の故障
	_2	右コンロ	
	_3	後コンロ	
	_5	グリル	
	_0	コンロ・グリル	

交互点滅　2パターンの表示が交互に点滅します。

原　　因	処置と再使用時の注意	参照ページ
点火後、約120分間連続使用した場合など。	コンロは点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。 グリルは続けて使用する場合、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。	19
設定後、約60分間連続使用した場合など。		29
タイマー設定時間が終了したとき。		43・45・51
乾電池の消耗。	乾電池を交換してください。	21
オートグリルモード、ダッチオーブンモード使用時にグリル庫内の温度が高い場合など。	しばらく(約3分)待ってから再度設定するか、マニュアルグリルを使用してください。	43
炎のふき消え・煮こぼれした場合など。	コンロは点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。 グリルは続けて使用する場合、しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。	19
炎のふき消えなど。		
炎のふき消え・点火しなかった場合など。		
点火後に鍋などを上げた状態が約1分続いた場合など。	鍋などをのせてから、再度点火してくさい。	20
調理油の過熱・焦げつき・消し忘れによる過熱・空焼きなど。	点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻してください。 続けて使用する場合は、十分換気をしてから、再度点火してください。	19
グリルの空焼き・消し忘れ・調理物が少ない場合・連続して使用した場合など。	消火してすぐ(グリル過熱防止センサーが高温のままの状態)は、点火してもすぐに消火します。 しばらく(約3分)待ってから再度点火してください。	
鍋などを長時間置いた場合か温度センサーの故障。	鍋などを一旦上げてください。 ブザー報知が止まらない場合は、点検が必要です。お買い上げの販売店または、弊社(裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。	20
部品が故障しています。	点検が必要です。 使用をやめ(コンロは点火／消火ボタンを「消火の状態」に戻し)、ガス栓を閉じ、お買い上げの販売店または、弊社(裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。	−

仕様・アフターサービス

仕様

品名	ガスビルトインコンロ	
トッププレート	60cm幅	75cm幅
型式名	C3WL1PWA	C3WL2PWA
点火方式	連続スパーク点火	
安心・安全機能	・立消え安全装置 ・電源オートパワーオフ機能 ・ロック機能 }（全バーナー） ・焦げつき自動消火機能 ・天ぷら油過熱防止機能 ・コンロ消し忘れ消火機能 }（コンロバーナー） ・鍋なし検知機能 （左右バーナー） ・グリル過熱防止センサー ・グリル消し忘れ消火機能 }（グリルバーナー）	
付属品	・取扱説明書（保証書付） ・工事説明書 ・クッキングブック ・アルカリ乾電池（単1形：2個） ・ダッチオーブン（同こんタイプのみ）	
外形寸法	高さ264mm×幅598mm×奥行492mm（トッププレート幅592mm）	高さ264mm×幅598mm×奥行492mm（トッププレート幅737mm）
質量	27kg（本体） 4.5kg（ダッチオーブン）	28kg（本体） 4.5kg（ダッチオーブン）

使用ガス 使用ガスグループ		1時間当たりのガス消費量kW				ガス接続
		個別ガス消費量			全点火時ガス消費量	
		左右コンロ	後コンロ	グリル		
都市ガス用	13A	4.20 {3,610kcal/h}	1.28 {1,100kcal/h}	2.21 {1,900kcal/h}	10.6 {9,100kcal/h}	Rc1/2（メネジ）
	12A	3.90 {3,350kcal/h}	1.20 {1,030kcal/h}	2.06 {1,770kcal/h}	9.86 {8,480kcal/h}	
LPガス用		4.20 {0.301kg/h}	1.28 {0.092kg/h}	2.28 {0.163kg/h}	10.6 {0.757kg/h}	

※本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがありますがご了承ください。

アフターサービス

サービスのお申し込み

・『よくあるご質問』（63ページ）、『ブザー報知・お知らせ表示』（69ページ）を見て、もう一度確認してください。
・確認のうえ、それでも不都合な場合あるいは、ご不明な場合はご自分で修理しないでお買い上げの販売店、ガス事業者（供給業者）または、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。なお、連絡されるときは、右記のことをお知らせください。

1. 品　名：ガスビルトインコンロ
2. 型式名・品名コード：電池ケースふた裏面に貼付の銘板をご覧ください。（8ページ）
3. 故障または異常の内容（できるだけ詳しく）
4. ご住所・お名前・電話番号・道順（できるだけ詳しく）

転居される場合

ガスには都市ガス（数種類）およびＬＰガスの区分があります。

・ガスの種類が異なる地域へ転居される場合には、部品の交換や調整が必要となりますので転居先のガスの種類を確認のうえ、お買い上げの販売店または、転居先のガス事業者（供給業者）にお問い合わせください。この場合、調整・改造に要する費用は保証期間中でも有料となります。
・この機器は13A（12A）・LPガスのみの仕様です。他のガス種には調整・改造できません。

保証書

取扱説明書の74ページが保証書になっています。

・保証書に記載されているように機器の故障については、一定期間・一定条件のもとに修理いたします。保証書を紛失されますと、無料修理期間内であっても修理費をいただくことがありますので、大切に保管してください。
・無料修理期間経過後の修理については、お買い上げの販売店または、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。修理によって性能が維持できる場合は修理（有料）いたします。

補修用性能部品の保有期間

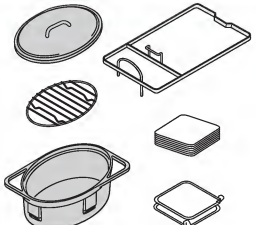
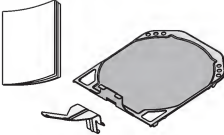
・この製品の補修用性能部品《機能を維持するための必要な部品》の保有期限は、製造打ち切り後5年間です。ただし、保有期間経過後であっても補修用性能部品の在庫がある場合は、有料修理いたします。

交換部品（お客さまにて取り替え可能な部品）

・下記の部品（有料）は、お客さまご自身にてお取り替えしていただくことができます。お求めの場合は、インターネットの販売サイト（http://ec.harman.co.jp/）、0120-38-8180（電話料金無料）、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

ご存じですか？ 簡単！ 手軽に
交換部品や便利グッズがご購入できます。
詳しくは ▶▶▶ **http://ec.harman.co.jp/**

部品がいたんだり、汚れが落ちにくくなってきたら、お早めに交換してください。

名　称	形　状	現金標準価格：税込	部品コード	
ごとく（大）※ゴム足付（左右コンロ用）		￥2,625（本体価格￥2,500）	ホーロー	DW4E12124106
		￥3,570（本体価格￥3,400）	ステンレス	DW4E12106100
ごとく（小）※ゴム足付（後コンロ用）		￥2,520（本体価格￥2,400）	ホーロー	DW4E12125103
		￥3,255（本体価格￥3,100）	ステンレス	DW4E12115108
バーナーキャップ（大）（左右コンロ）12A・13A用		￥1,575（本体価格￥1,500）	ホーロー	DW4E32007200
		￥2,310（本体価格￥2,200）	ステンレス	DW4E32013109
バーナーキャップ（大）（左右コンロ用）LP用		￥1,575（本体価格￥1,500）	ホーロー	DW4E32005206
		￥2,310（本体価格￥2,200）	ステンレス	DW4E32012102
バーナーキャップ（小）（後コンロ用）		￥1,050（本体価格￥1,000）	ホーロー	DW1F320187103
		￥1,890（本体価格￥1,800）	ステンレス	DW3E320140107
バーナーリングカバー（大）（左右コンロ用）		￥　840（本体価格￥　800）	ブラック	DW3M120260303
			シルバー	DW3M120260107
バーナーリングカバー（小）（後コンロ用）		￥　735（本体価格￥　700）	ブラック	DW3M120270308
			シルバー	DW3M120270102
グリル排気口カバー		￥　788（本体価格￥　750）	ホーロー	DW3C120050109
		￥1,890（本体価格￥1,800）	クロムメッキ	DW3C120050305
グリル焼網		￥5,775（本体価格￥5,500）		DW2T33049105
グリル受け皿		￥3,675（本体価格￥3,500）		DW2T33048108
サイドカバー（左）		￥　630（本体価格￥　600）		DW2T33058005
サイドカバー（右）		￥　630（本体価格￥　600）		DW2T33060004
ダッチオーブンふた		￥6,825（本体価格￥6,500）		DW2T65014100
ダッチオーブン本体		￥8,925（本体価格￥8,500）		DW2T65013103
ダッチオーブン網		￥　840（本体価格￥　800）		DW2T65015009
ダッチオーブン支持枠		￥1,575（本体価格￥1,500）		DW2T65016006
レシピカードセット		￥1,260（本体価格￥1,200）		DW2T65008103

2011年10月現在の価格です。価格・仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
上記部品の価格には、配送費は含まれておりません。詳しくは、弊社（裏表紙連絡先参照）にお問い合わせください。
乾電池は電気店などでお買い求めください。
※イラストは参考です。
詳しくは『各部のなまえ』（3～4ページ）、ダッチオーブンについては、49ページを参照してください。

別売部品

・お買い上げの販売店または、弊社(裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

名　称	形　状	現金標準価格：税込	部品コード
ダッチオーブンセット ・ダッチオーブンふた ・ダッチオーブン網 ・ダッチオーブン本体 ・ダッチオーブン支持枠 ・レシピカードセット ・鍋つかみ		￥15,750（本体価格 ￥15,000）	DP 0127
グリルでダッチオーブン100メニュー		￥1,575（本体価格 ￥1,500）	LP 0302A
調理プレートセット ・調理プレート ・ホルダー ・調理プレート クッキングブック		￥3,990（本体価格 ￥3,800）	LP 0132
ステンレス用クリーナー	（1本）	￥1,050（本体価格 ￥1,000）	LP 0127A（1本）
	（6本セット）	￥6,300（本体価格 ￥6,000）	LP 0127（6本セット）
炊飯専用鍋(3合)		￥4,410（本体価格 ￥4,200）	LP 0134
炊飯専用鍋(5合)		￥5,460（本体価格 ￥5,200）	LP 0135

2011年10月現在の価格です。価格・仕様は、予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。
上記部品の価格には、配送費は含まれておりません。詳しくは、弊社(裏表紙連絡先参照)にお問い合わせください。

保証書

保　証　書

品　　　名	ガスビルトインコンロ

このたびは当社製品をお買上げいただきましてありがとうございます。この保証書はお客様の正常な使用状態において万一、機器本体が故障した場合には、本書の記載内容で無料修理を行うことを約束するものです。

＜無料修理規定＞

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店または、弊社が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障し、無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社にご依頼のうえ、本書をご提示ください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、弊社にご相談ください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）
6. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。
7. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   - （イ）　住宅用途以外（業務用：喫茶店、飲食店など）でご使用になられた場合による故障および損傷。
   - （ロ）　車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障および損傷。
   - （ハ）　工事説明書および取扱説明書などに指示する方法以外の工事設計または取付工事などが原因で生じた不具合、故障および損傷。
   - （ニ）　お買い上げ後、取付場所の移動・落下などによる故障および損傷。
   - （ホ）　建築躯体の変形など住宅部品本体以外の不具合に起因する機器の不具合および塗装の退色、メッキの軽微な傷、錆など設計仕様の範囲内の感覚的な現象の場合。
   - （ヘ）　適切な使用、維持管理を行わなかった場合および不当な修理や改造による故障および損傷。
   - （ト）　ガスの供給事情による故障および損傷。
   - （チ）　指定規格以外のガス（ガスグループ）および電気（指定外の電池含む）で使用された場合。
   - （リ）　火災・爆発などの事故、落雷・地震・噴火・風水害・煤煙・異常気象などの天災・地変および戦争・暴動など破壊行為による故障および損傷。
   - （ヌ）　海岸付近・温泉地などの地域における塩害・腐食性の有害ガスおよびほこりなどの空気環境に起因する故障および損傷。
   - （ル）　ねずみ・鳥・くも・ゴキブリなどの動物の侵入および行為に起因する故障および損傷。
   - （ヲ）　消耗部品の取り替えおよび保守などの費用。
   - （ワ）　熱量変更に伴なう改造・調整の場合。
   - （カ）　本書の提示がない場合。
   - （ヨ）　本書に保証期間、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。

お　客　様	お　名　前	TEL
	ご　住　所〒	
保　証　期　間	**お買い上げ　　年　　月　　日から１年間**	
販　売　店	店　　名	TEL
	住　　所〒	

※保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために、お客様の記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、弊社にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくはアフターサービス欄をご覧ください。

株式会社ハーマン　〒554-0023
大阪市此花区春日出南3－2－10

年　月　日	修　理　記　録　（　修　理　内　容　）	サービス員㊞

長年ご使用のガス機器の点検をぜひ！

・ときどきガスくさい。
・焦げくさいにおいがする。
・キーやボタンの操作が不確実。
・コンロ部、グリル部が点火しにくい。
・その他の異常や故障がある。

以上のような症状のときは、ガス栓を閉め、故障や事故防止のため、必ず販売店に点検・修理を相談してください。

修理 点検 商品についてのお問い合わせは・・・

株式会社ハーマン コンタクトセンター

電話料金無料

0120-38-8180

携帯電話からのお問い合わせは・・・

0570-064-780

（通話料がかかります）

コンタクトセンターにおかけいただくと音声ガイダンスが流れますので、お問い合わせの内容によって下記の番号をお選びください。

1 修理の受付・故障に関するお問い合わせ	2 点検・所有者情報に関するお問い合わせ	3 商品に関するお問い合わせ・その他
■ 修理受付センター	■ 点検受付センター	■ お客さま相談センター
【受付時間】 **365日24時間 修理受付** ※修理訪問は日中、地域により休日有り **FAX (078)928-5499**	【受付時間】 ※土・日・祝日、弊社指定休日を除く **〈平日〉月～金 9：00から17：30**	【受付時間】 ※日・祝日、弊社指定休日を除く **月～土 9：00から18：00** **FAX (078)927-5070**

(1103)